DRAGON COMICS

神星記ヴァグランツ1・2 VAGRANTS
●STORY/ヴォクソール・プロ ●ART/麻宮騎亜

ザナドゥ1 XANADU
●都築和彦(日本ファルコム株式会社)

帝都物語 BABYLON TOKYO
●ORIGINAL/荒俣宏 ●COMIC/藤原カムイ

帝都物語 TOKIO WARS
●ORIGINAL/荒俣宏 ●COMIC/高橋葉介

ロマンシア ROMANCIA
●STORY/寺田憲史 ●COMIC/円英智

超新世 モンスターロード MONSTER LOAD
●COMIC/増田晴彦

ルーンワース1・2 RUNE WORTH
●COMIC/迎夏生

魍魎戦記 摩陀羅 MADARA
●COMIC/田島昭宇
1 胎蔵編
2 両界編
3 変成編
4 輪廻編
5 捨て童子の章

悠久の風伝説 ファイナルファンタジーIIIより
●STORY/寺田憲史 ●COMIC/衣谷遊

ISBN4-04-926028-X C0379 P950E 定価950円(本体922円) 角川書店

ドラゴンコミックス

悠久の風伝説 ファイナルファンタジーIIIより 1

●原作 寺田憲史 ●作画 衣谷遊

Ⓟ DC-9-1 角川書店

悠久の風伝説 1

ファイナルファンタジーIIIより

●原作
寺田憲史
●作画
衣谷遊



DRAGON COMICS

ドラゴンコミックス



悠久の風伝説

ファイナルファンタジーⅢより

1

●原作 寺田憲史
●作画 衣谷遊

P
DC-9-1
角川書店

悠久の風伝説

ファイナルファンタジーⅢより





まだ幼いころに両親を失い、同様の境遇にあったタグ、J・ボウイと共に僧侶トババによって育てられた。逆境に負けないタフさ、明るさを持つ。裏表のない単純明解な性格のため、リーダー的役割を担っている。15歳。



ムウチ以上の明るい性格と、４人の中で最年少という気軽さからか、しばしば道化者を演じている。また、ムウチにはないしたたかな面を持っており、イタズラを仕掛けることでは誰にもひけはとらない。14歳。



マイペースで口数が少なく、常に冷静な態度を崩さないため、一見しただけでは何を考えているのかわからないタイプ。他の3人とは異なった浅黒い肌は、遠い国からやってきた旅人が父親であるためだという。17歳。



ウル地方一帯の大地主の一人娘だったが、あの大異変のために両親も財産も失ってしまった。男の子とも張り合うほど負けん気が強いが、ムウチたちと旅を続けるにつれて本来の心優しい面を取り戻してくる。16歳。

悠久の彼方から

旅を続けし者たちよ・・・

常に　〈風〉とともに戯れん——

〈風〉のこころ　聴き止め

〈風〉の願い　侮らねば

〈風〉はやがて　光さえ　かいま見せん

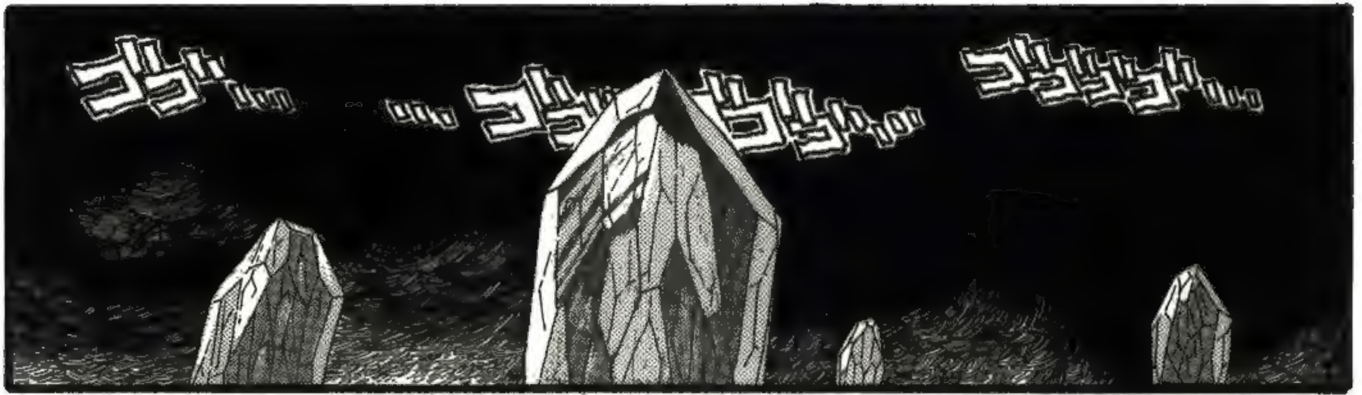
“怖がるでない”

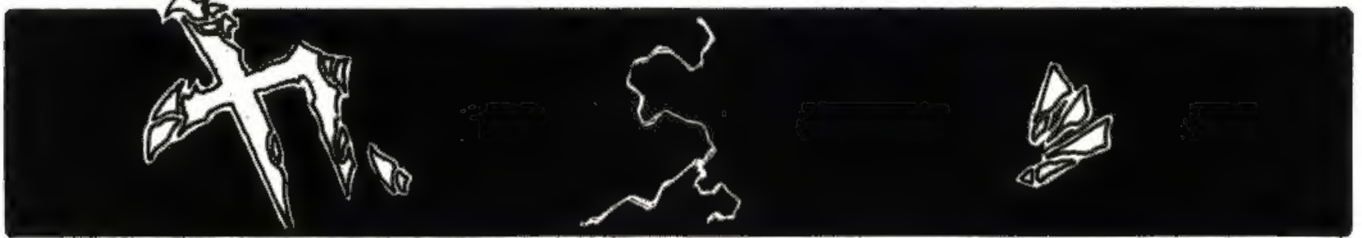
そなたの魂　〈風〉に　委ねてみることだ

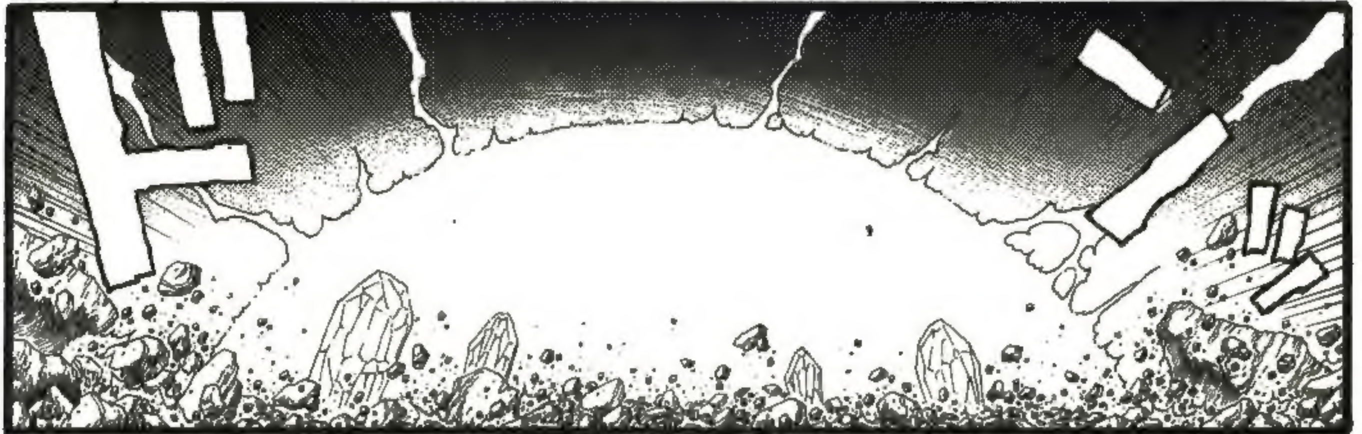




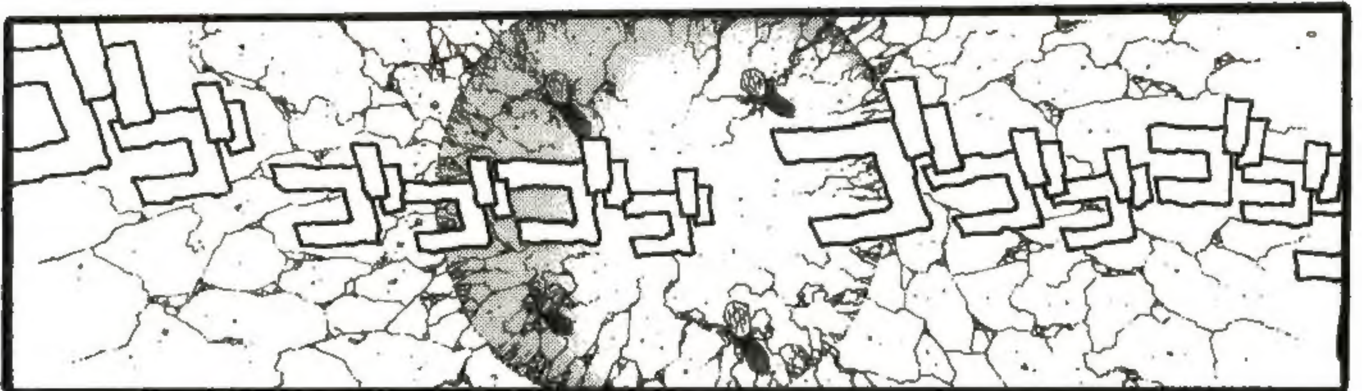
ゴゴ…
ゴゴゴ…







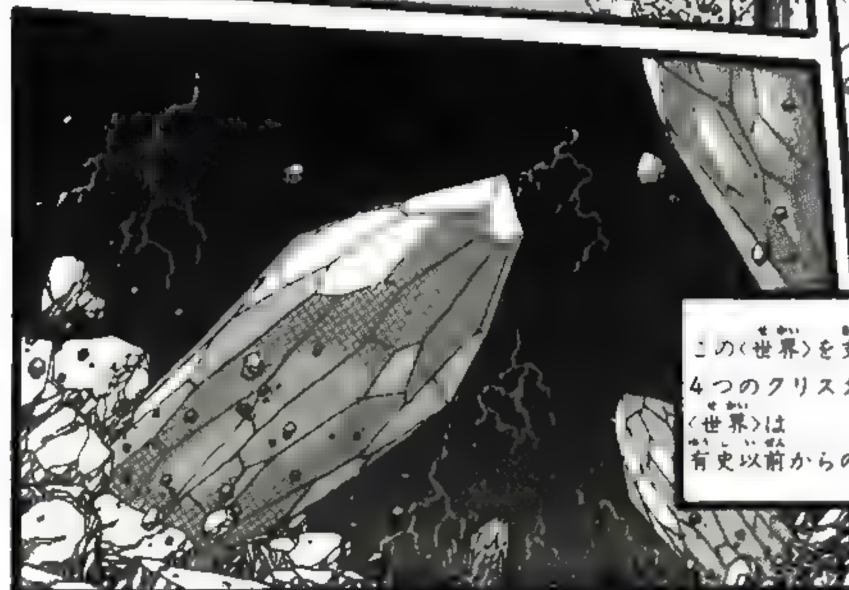




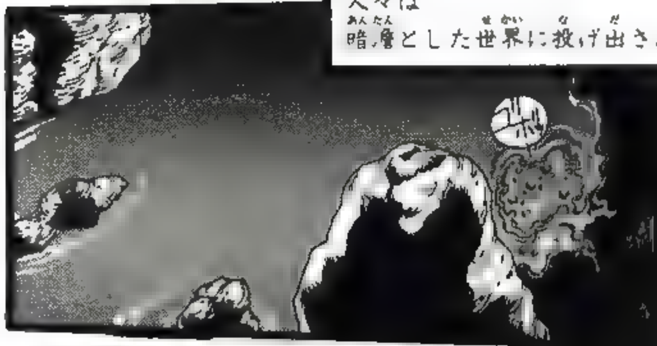

〈世界〉は突然
巨大なエネルギーを帯びた
大地震に襲われ
一瞬にして暗黒の大陸と化した



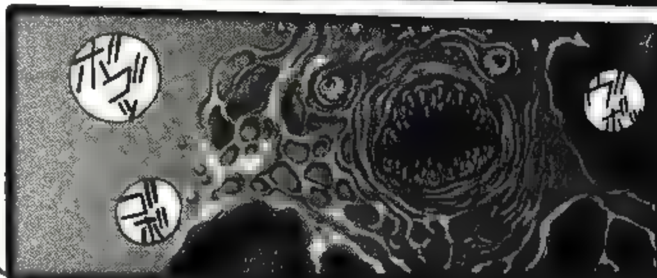

この〈世界〉を支えていたといわれる
4つのクリスタルは何処かに消え去り
〈世界〉は
有史以前からの均衡を失うことになった

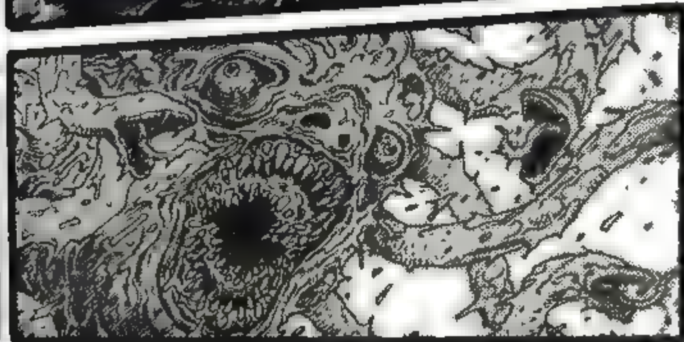



クリスタルによって
今まで封じ込められていた妖魔たちは
各地で甦り
人々は
暗澹とした世界に投げ出されたのであった

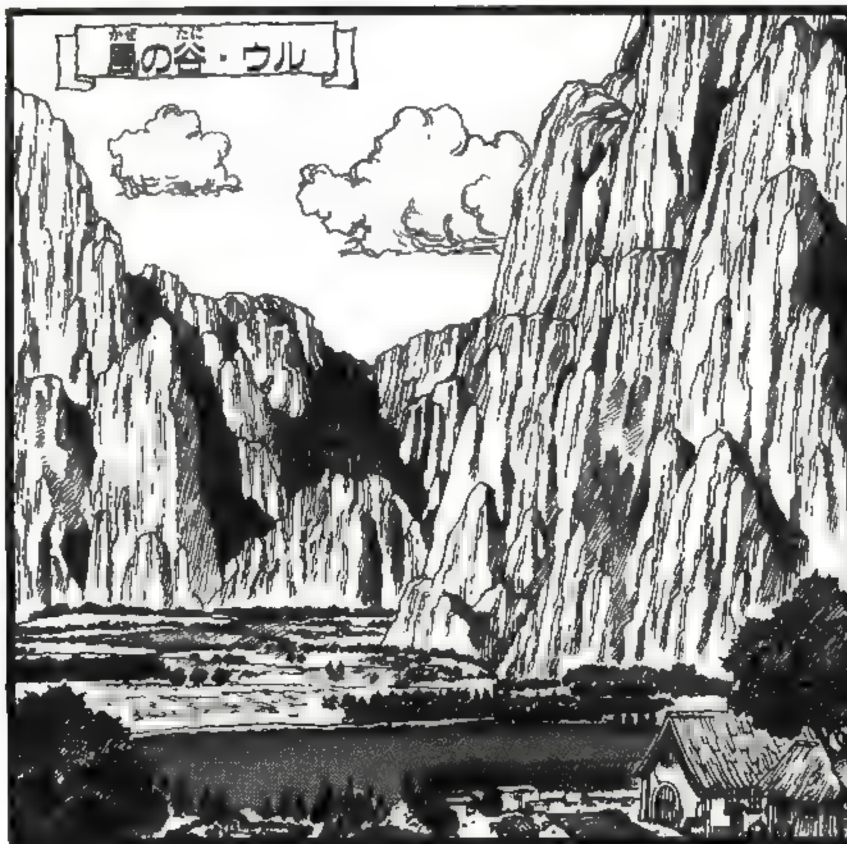


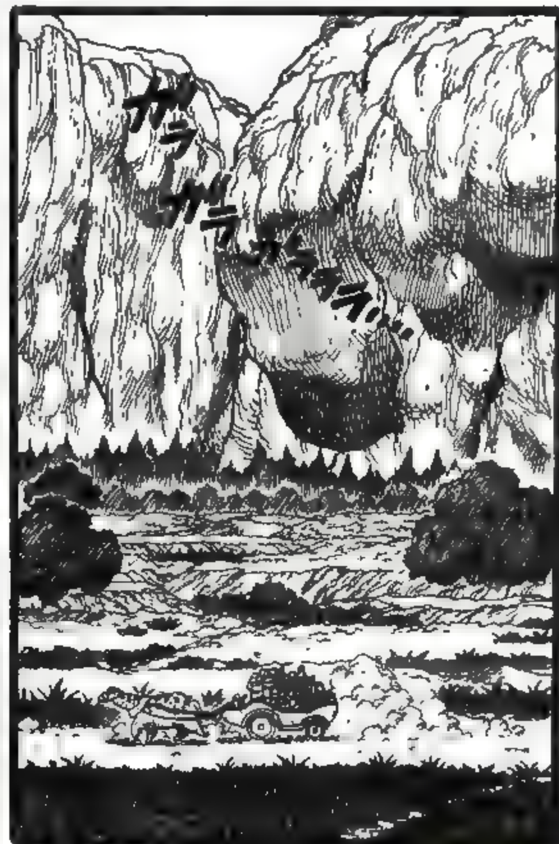









風の谷・ウル


ガラガラ

悠久の彼方から
旅を続ける者たちよ
常に風とたわむれん……

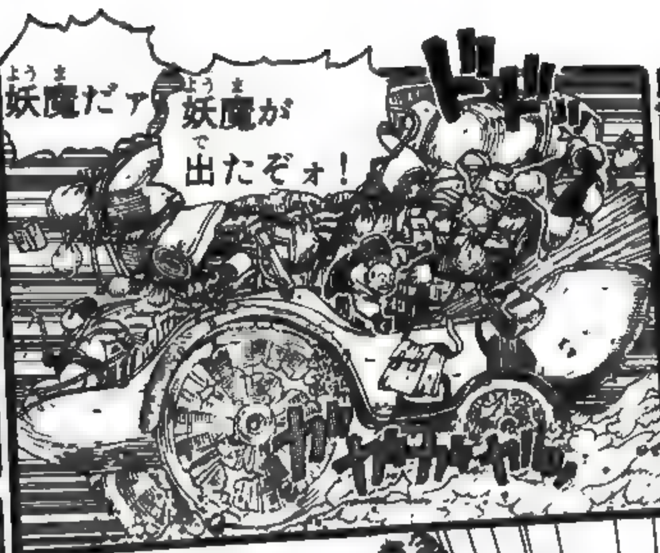
風の心聴き
風の願い侮らねば
風はやがて〈光〉さえ運ばん











妖魔だァ
妖魔が出たぞォ！


ケケケ――ッ！
やったねェ――だッ!!

ギャアアァアーッ

うわあァッ！

ケ


ぬぁ――っはは――っ！
どうだ驚いたか！ ねへへっ…
〈風の村〉ウルの三騎士様の
お出ましだぜいッ!!


チェッ！
早いとこずらかる
手だぜェ ダク！

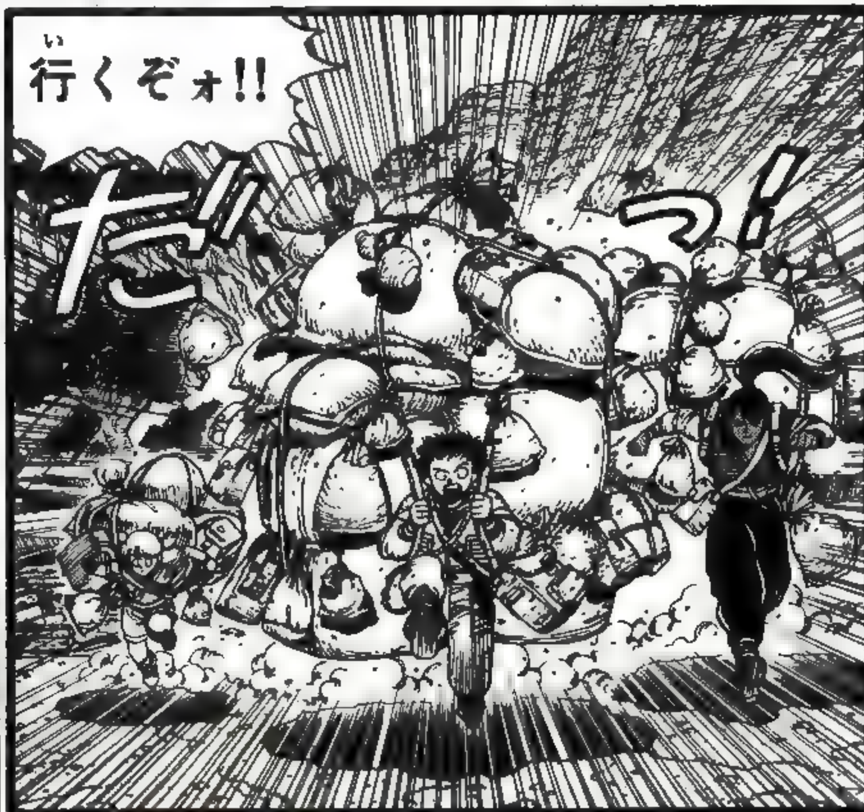

こら〜〜ッ!!
どだだたダ


へへッ
違ぇーねー
違ぇーねーッて


ん？

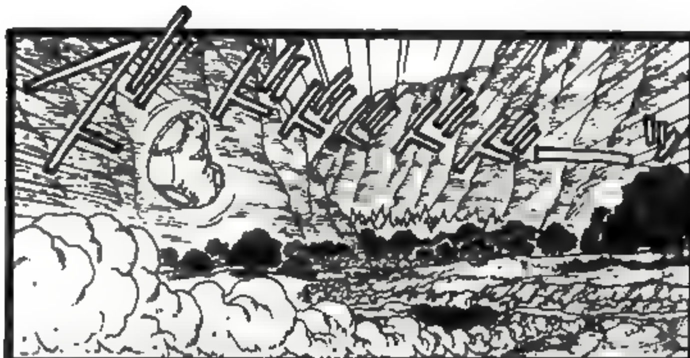

じっ
オウットト…
J・ボウイさんよォ！
食いもんかっさらいに
来たんだぜ
食・い・も・ん!!


ものは…
ついでだ
……

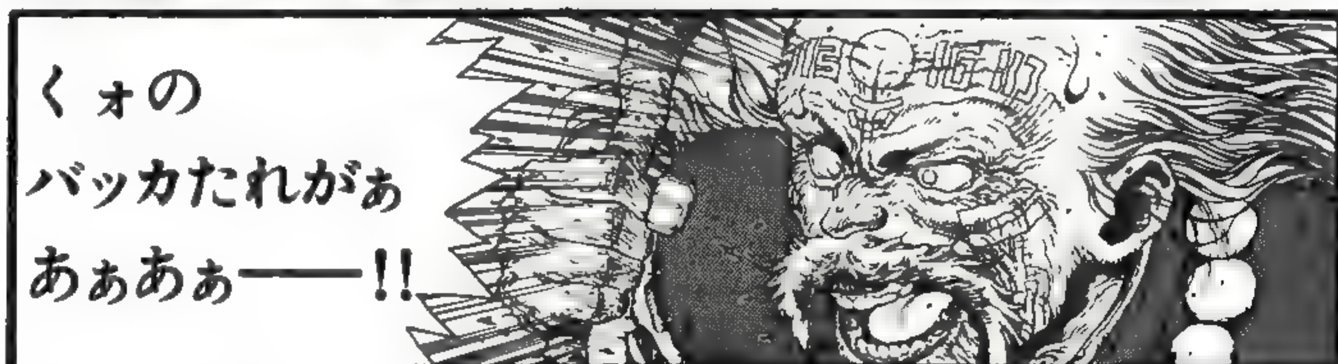

行くぞォ!!
だ!!
っ!


こらぁ――ッ
小僧ども
許さんぞォ!!


な…なんつー
逃げ足の速い…
はぁ
ひい
ふう
はー
ふー
ひー
はーはー






くぉの
バッカたれがぁ
あぁあぁ――!!


チェ! でもさあ
ここんとこ
ぜぇ〜〜んぜん
うまいもん
食ってないんだぜぇ


よりによって人々を
妖魔に化けて脅かすとは……
日々の教会の教えを
なんと心得ておるんじゃい!
このバァタレどもがァ!!
でっ
ひッ


そうだよ そうそー!
じっちゃんと違ってさぁ
若いもンにはヒジョーに
キツイわけなのよね
これがぁ!!


あのバカ……
あららら……


ギギギ……
なッ…


こ…こ…
こッここッ
ココココ
ココココ


うむ…うまいぞこれは！
爺ィ どうだひとつ？


くぉォのォ
バァタレがぁぁ
――――!!
ひッ









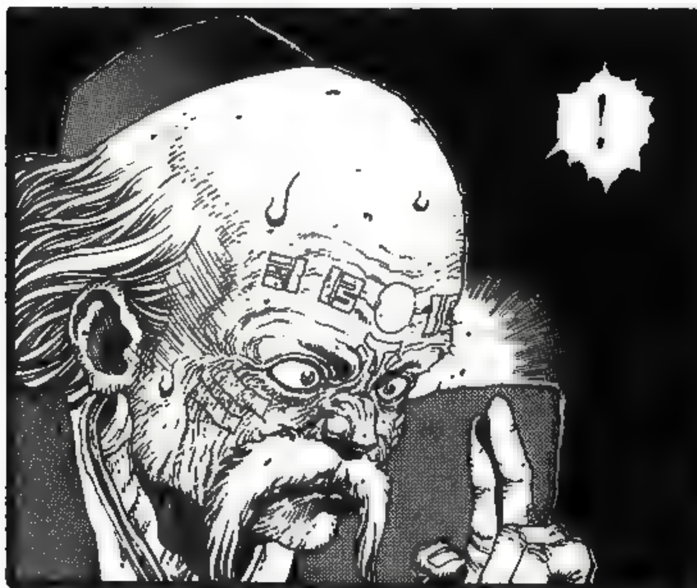


わしに
語りかけておる
風が…

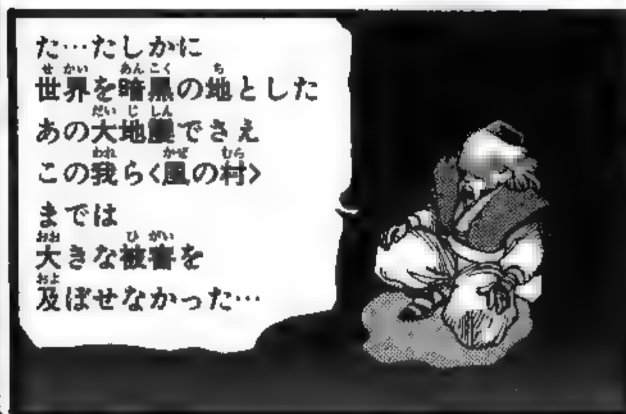


この〈風の村〉に埋もれし
ひとつのクリスタル…それを
捜し出さんことを…
そして……
暗黒の大地
切り開くべき
若者よ
立ち上がらん
ことを…





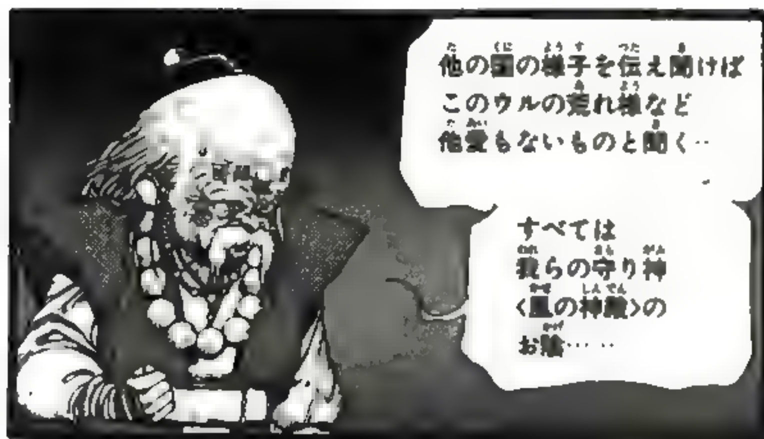
!



た…たしかに
世界を暗黒の地とした
あの大地震でさえ
この我ら〈風の村〉
までは
大きな被害を
及ぼせなかった…



か…
風のクリスタル
…だと…!?


他の国の様子を伝え聞けば
このウルの荒れ様など
他愛もないものと聞く…
すべては
我らの守り神
〈風の神殿〉の
お陰……

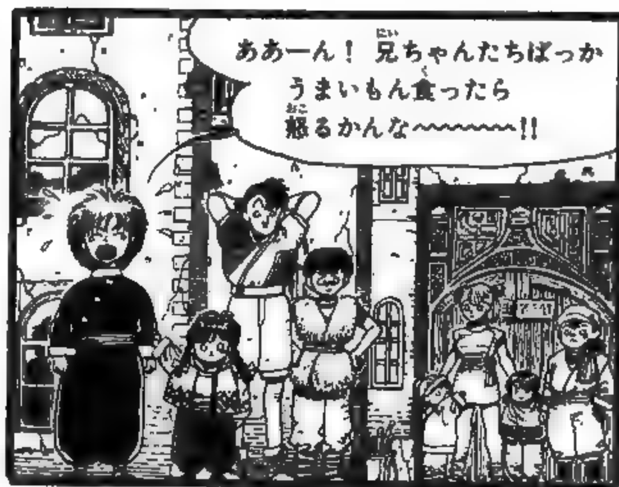

風の神殿
……….!?
そッ…
そうか!


ギリ
ギリ


おお……
だ、だが
……
一体
どうやって…!


うあッ!?


こッ……
これは…!?


ああーん！ 兄ちゃんたちばっか
うまいもん食ったら
怒るかんな〜〜〜〜!!


ンなコトしねーから
元気でいろよォ
じゃ——な!!


チョコボ


何故!?


しかし…何故…何故
あの3人を神は選ばれたのだ！


やっぱしね！
神様ッつうのは
さすが 人のこと
よく見てるもんだよ!
ヒエ——ッ！
俺たちがねェ

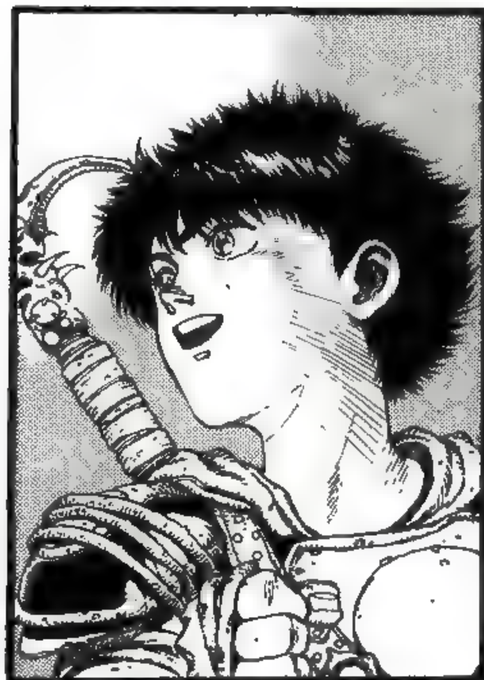

そのクリスタルを
探して来いってんだろ？
まっかせなさーいッ
てなもんよォ!!
ドン!


なーはははは
すげーぜ
このこのこのこのッ！
………


風よ… 風の神よ…
あの若者たちに
一体どのような試練を
お与えなさろうというの
ですか!?


…少年たちにとって
初めての旅であった――

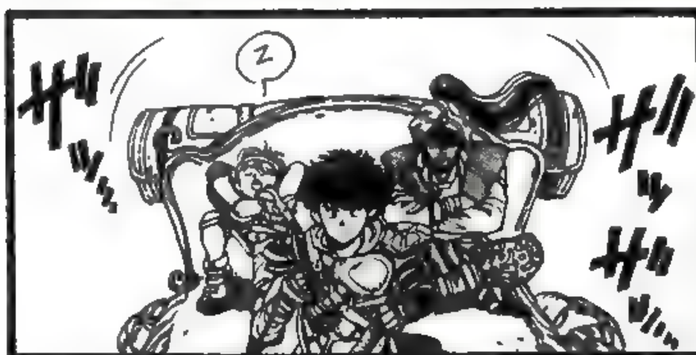
見るもの全てが珍しく
あふれんばかりの好奇心が彼らの全身を包んでいた

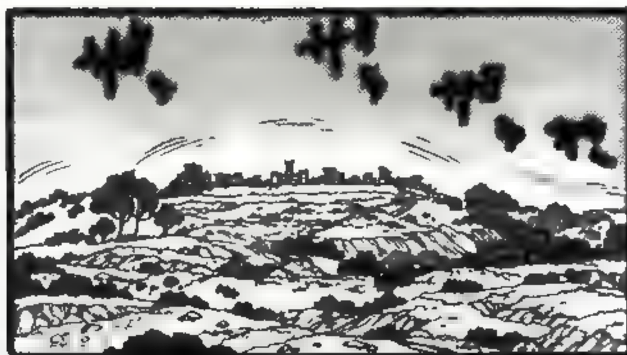



ホイ
ホホイ




今、彼らには自分たちが
世界の果てまで旅して行けると思えていたし
怖いものは何もなかった…

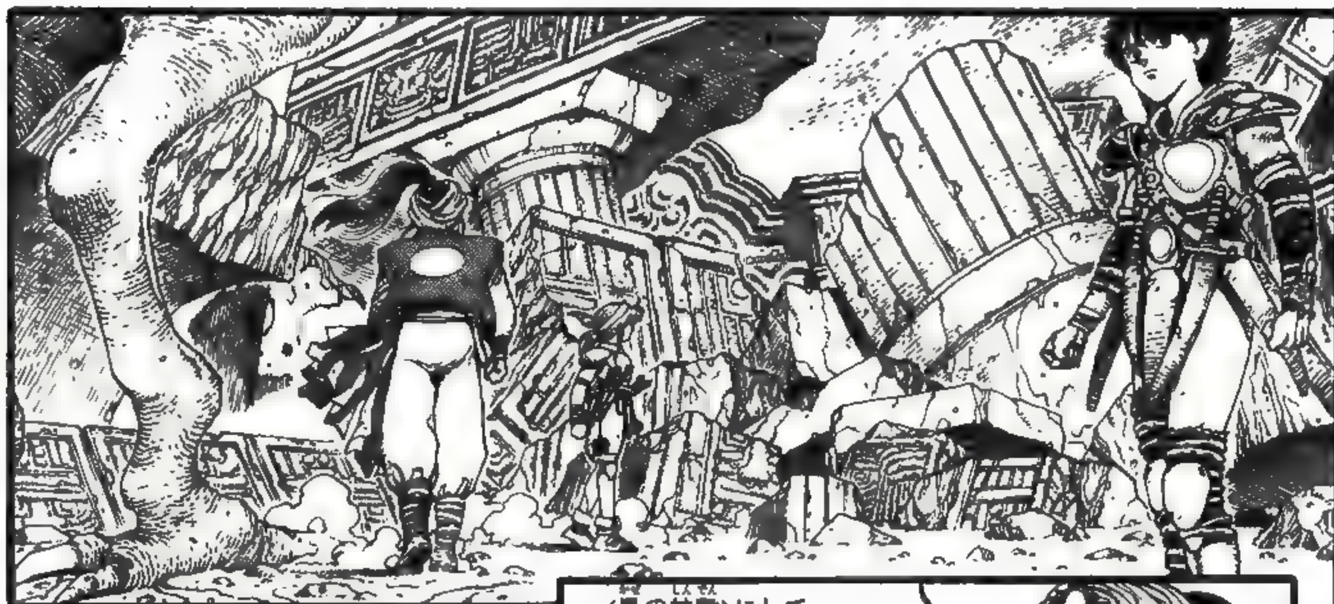

Z




あ…
あれが……
〈風の神殿〉
か……!!


〈風の神殿〉
……!
ふァ〜〜ア
あ〜〜〜
腹へったァ!



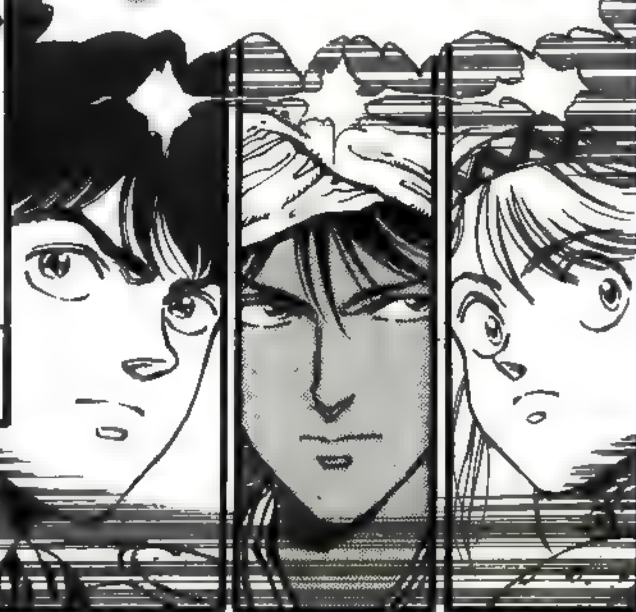



〈風の神殿〉にして この有様とは…ひどい ものだな……
まったくだぜ ……






一体 爺ィの言ってた クリスタルってのは 何処にあるって いうんだよォ!!




お前らよかちょい年増と見たな…
みたいだぜ!!
ぶん!!
あひょお〜〜〜ッ女の子だあッ!!

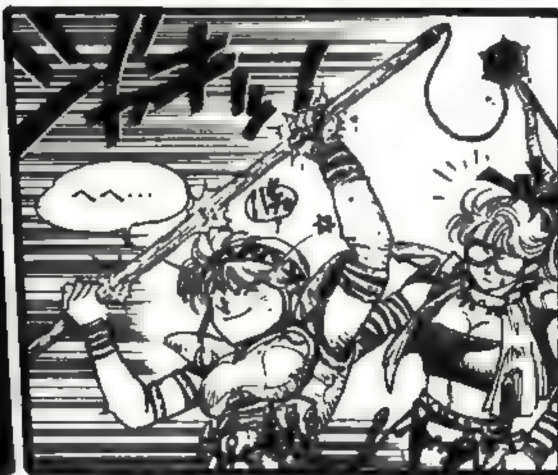

いくぜェ!!


どいつもこいつも
あの大地震のおかげで
甦りやがってよォ!!


はちょわわ～～ッ!!



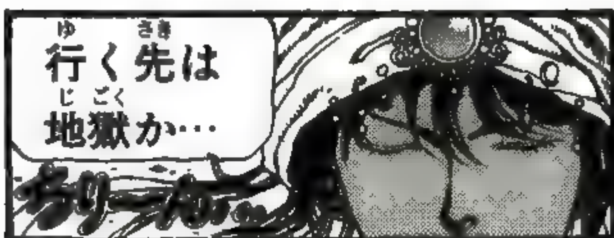



へへ…




ちゃりん!


助けてなんて
言ってません
からね！


行く先は
地獄か…


へへッ！ どんなもんだい
ダテに乱暴モンしてんじゃ
ねェんだぞってんだァ!!


ちッ！
あの大地震で
あっちこっちの妖魔が
目覚めちゃってんだ
今のなんかまだ
ちょろいモンの
うちで……


よけいなお世話ッ！
あなたたちこそ
気をつけた方が
いいわよ！
わたしと違うんだから!!


わたしと
違うって……？
あん？
ゴゴゴ


でっ…
出やがったァ!!




ひいいッ!!
急げェ
ダグ!


どひえええ










神殿の陰に
隠れるんだあッ!!

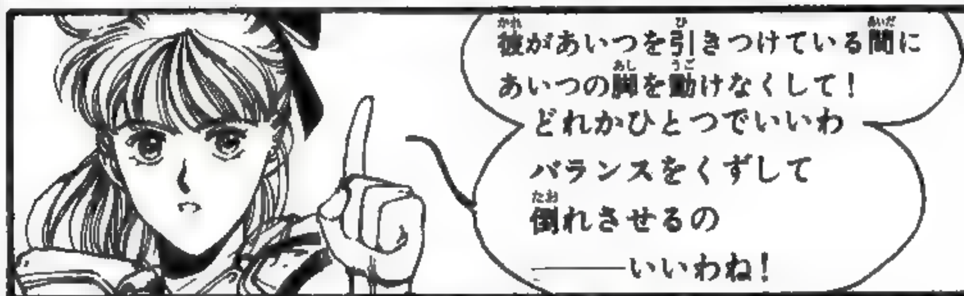

いい考えが
あるわ!!


くそう……
あんなバカでっけえの
どうやって


あん?


そこのチビっこいキミ!
キミがおとりになって
あいつをひきつけて!


そしてあなた!
ピクッ


彼があいつを引きつけている間に
あいつの脚を動けなくして!
どれかひとつでいいわ
バランスをくずして
倒れさせるの
――いいわね!


いい考えだ
おまえなァ!
お…


…………
聞き受けたぞ!


…………
急いでね!




WOOOWM
どひゃあッ!
ドドド


どわわわわわわ


FIRE!






いッ!?


J・ボウイぃ 早くしてくれよッたく!!
おわっちちち
ちちちッ




ボケッとしてないで 少しは手伝ったら どうなのよ




ギリ
御自由にどうぞ！それよりあなたも矢につけたロープを神殿の柱に結びつけてよ！

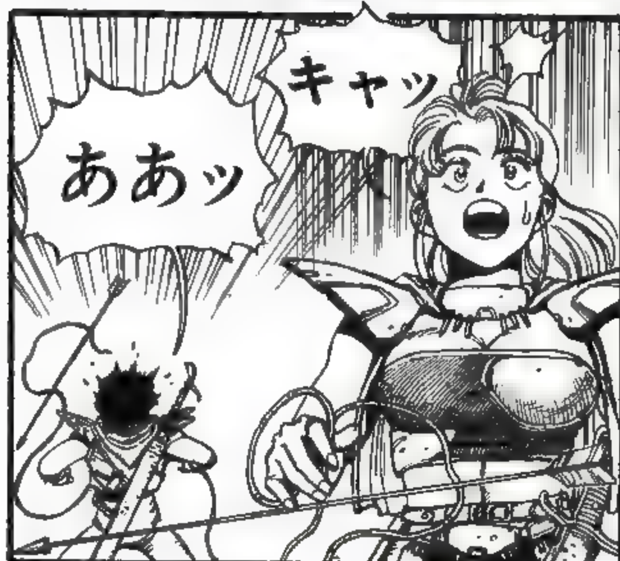

あによ？
ひとつ…言っとくけどさ……


ガキが!!ッたく！


うぎぎぎ


このオレなんだかんなァ!!
リーダーは


想い出したぜッ!!
なッ…何よ…


キャッ
ああッ


どっかで見た顔だと思ったら……メル…メルフィ…そうだ 確かメルフィといったな！

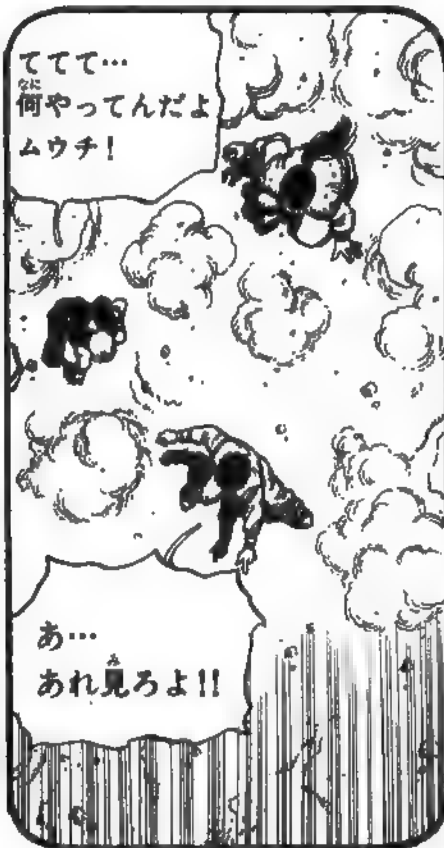

ちょっとあなたねぇ！いいかげんに…


ありゃ無理だ
ムウチ
あきらめろ
なんて速ェ
チョコボだあッ


ここまできて
あきらめられっか
よォ!!






てててて…
何やってんだよ
ムウチ!
あ…
あれ見ろよ!!


ああッ!
わッ
ザザッ!


ぐえッ



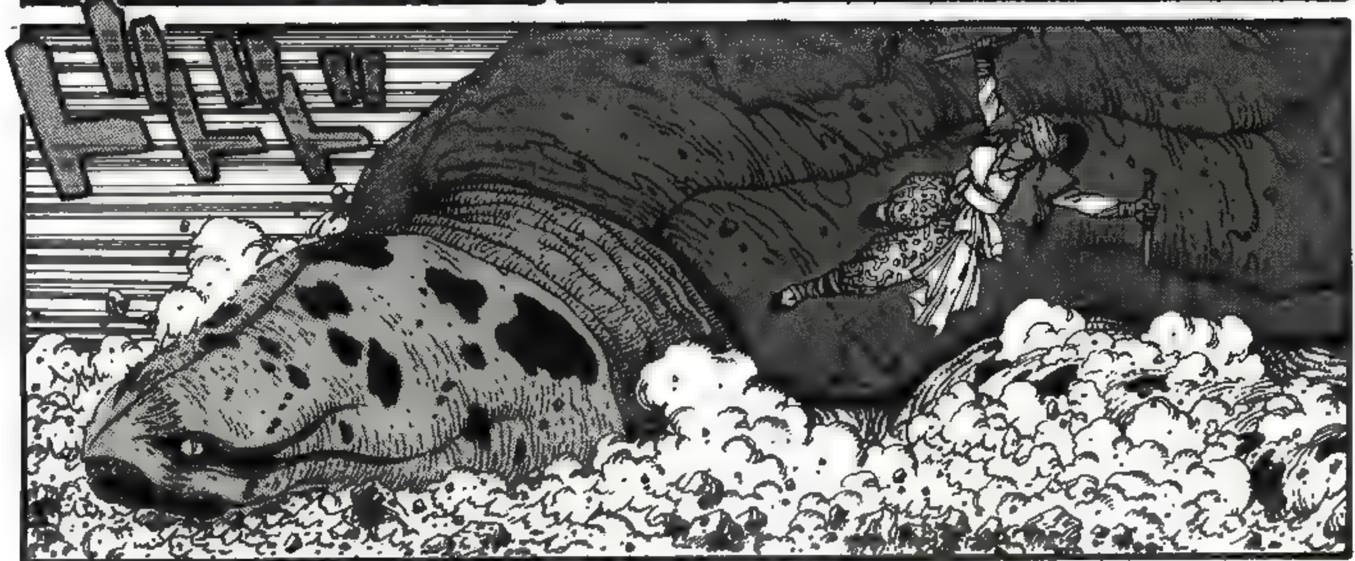


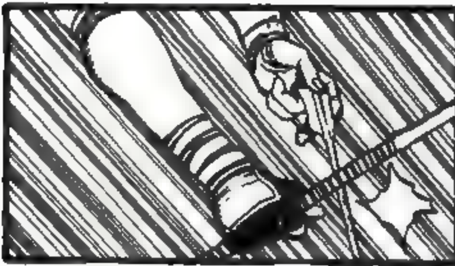


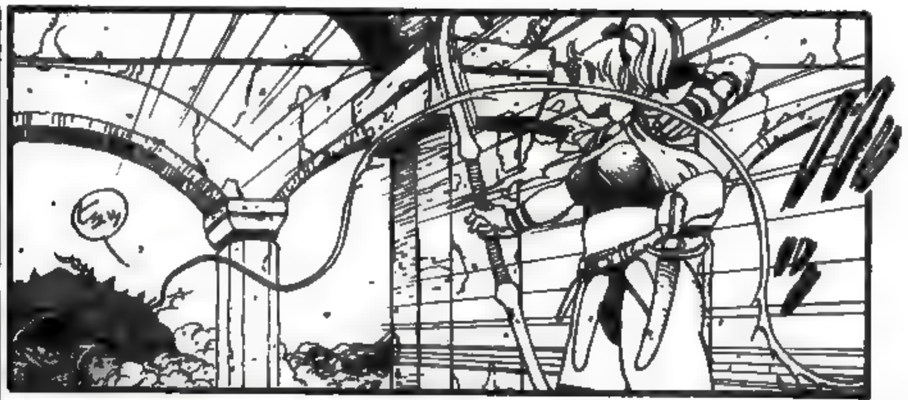
何をしている！
さっさと
弓を引けェ!!

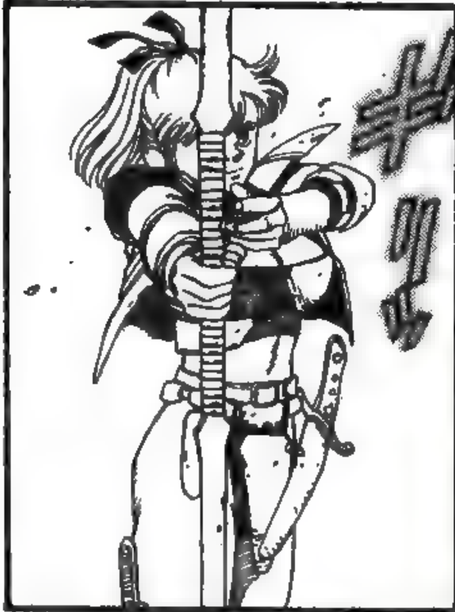








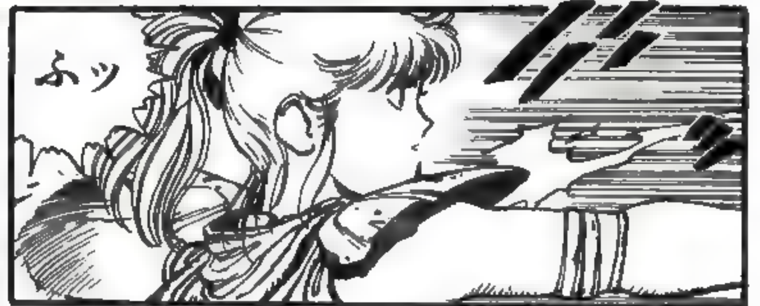




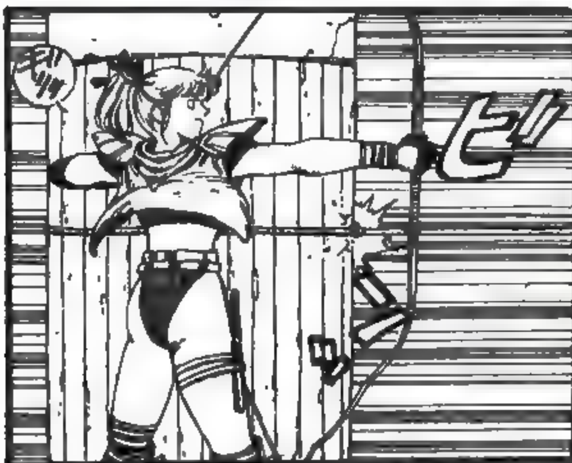

ビィイイン!


BRRRR RROOOOWW


シュルルルル
ルルルッ


ふッ





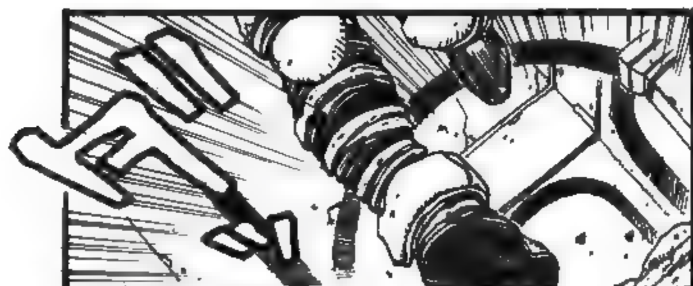

BRRROWWNN..


さあ 出番よ リーダーさん!


よっく見てろォ
ばっ!




J・ボウイ!!






グッ



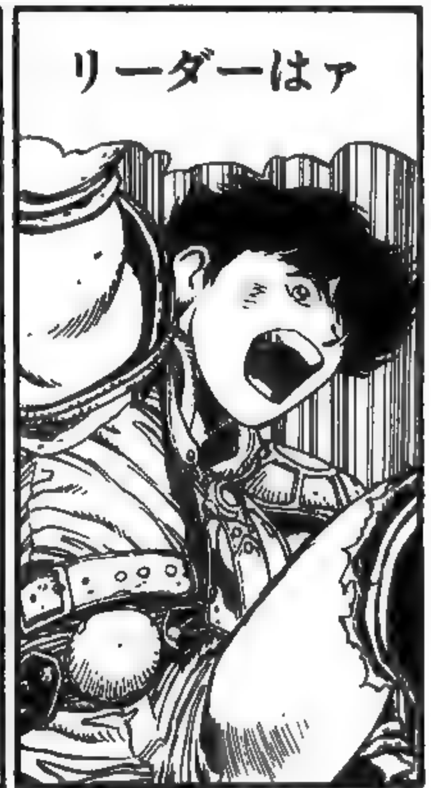







でえええええい!!



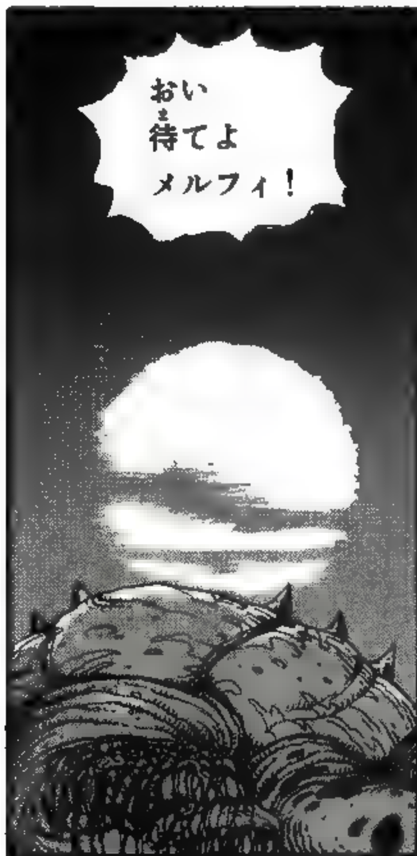

リーダーはァ


妖魔(ようま)め!

このオレだあ!!






おい
待てよ
メルフィ！


オイ！
メルフィ！ 待てってんだよォ


気やすく……
呼ばないでくれる？


質問に答えろよ！ なんだって大地主のお嬢様がこんなところをうろついてるんだ


風の…
魔道士に聞いたのよ！


魔道士だと…？


そうよ！
"メイフの方角へ行け そこにはお前を待っている〈風〉がある…そして失われたクリスタルを甦らせるのだ！"
……ってね！


けッ！ いいかげんなコト言ってんじゃねェ 何だってお前みてェなお嬢さまが…


何が オジョウサマよォ!!

うッ……

父も母も土地も……
みんなあの大地震に
飲み込まれてしまったわ!!

今の私には
もう何もない……

誇り以外には
もう何もないのよ!!

何が……何が
お嬢サマなもんですか
……

そ…
そうだったの
か…

済まなかった
……
謝るよ!

君も…
オレたちと
おんなじ!

ムウチ!
ダグ!

見ろ…
神殿のようだ!!

あ…あわッ!

まッ…
まさか…

あれは…!?

ゴゥン ゴゥン ゴゥン ゴゥン ゴゥン ゴゥン ゴゥン





カッ



〈風〉に選ばれし者たちよ……

限りなき〈悪意〉と〈欲望〉に
汚された世界で
唯一〈風〉の声を聞け

——されば
やがて世界を支えしものに
出会わん

せッ…
世界を支えし……
モノ？

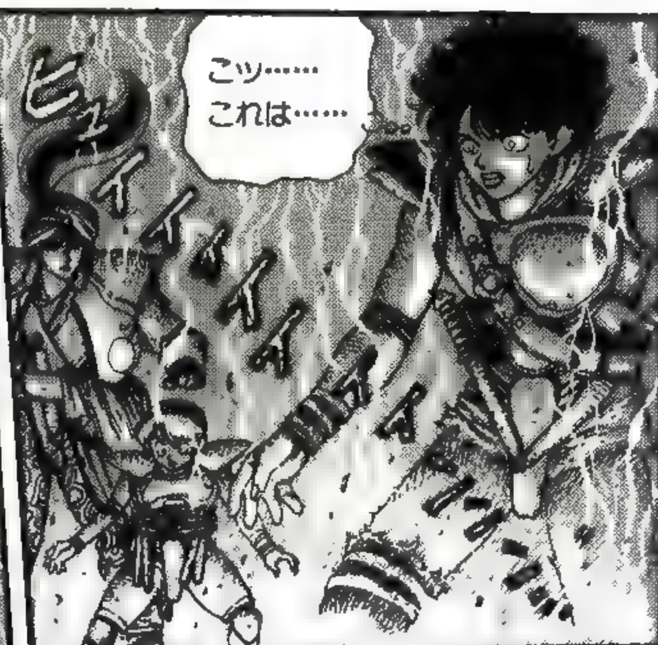
クリスタル
だわ……!!

ヒョイイイイイイイイ

あ…
ああッ…

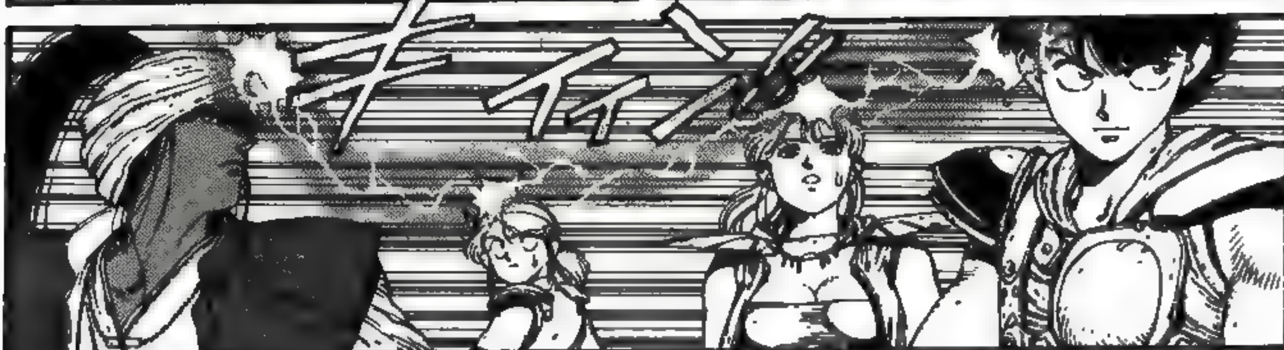
メルフィ!?

きゃッ！


こッ……
これは……
ヒュイイイイイイィィィ


うッ
メッ……
メルフィ
……


！


キイィーン


〈風〉〈火〉〈水〉…〈大地〉
その４つのクリスタルを
探し出せ…そう言ってるのか
……!!


〈風〉…〈火〉
…〈水〉…？


そして
〈大地〉
か…！
そして…


ミシュウウウウウウウウ……
訪…ね……


失われし……
古代人……
失われし…
古代人……を


かつて…


風が
………!?
かっ……
風が……
ヒョウウウウウ


〈風の谷〉ウルでは
風が止んだことが無かった……


風が…
止まる…！


幼い頃から常に優しく
吹き続けていた風が止んだ……
それは彼らを不安に陥れた
………

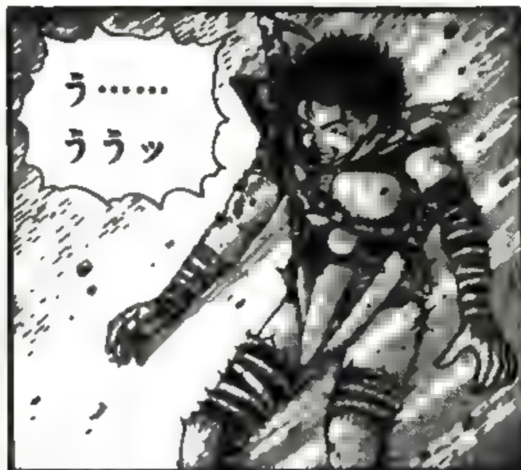


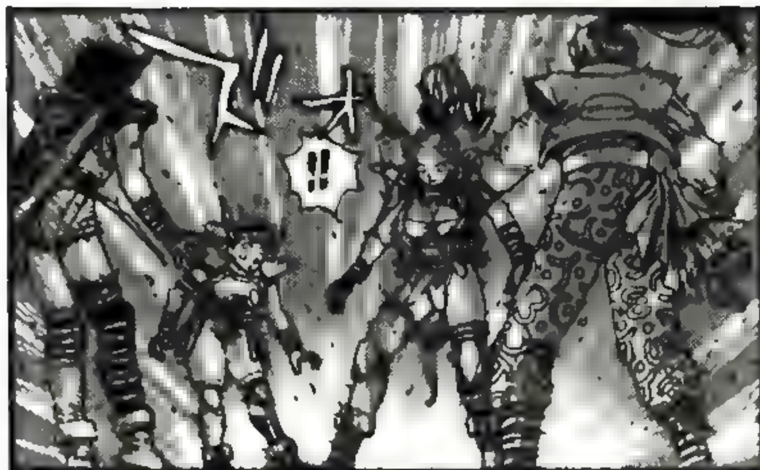
つまり……何か想像もつかない〈力〉に
風が一瞬封じ込められたのではないかと……




















泣いてやがる
………









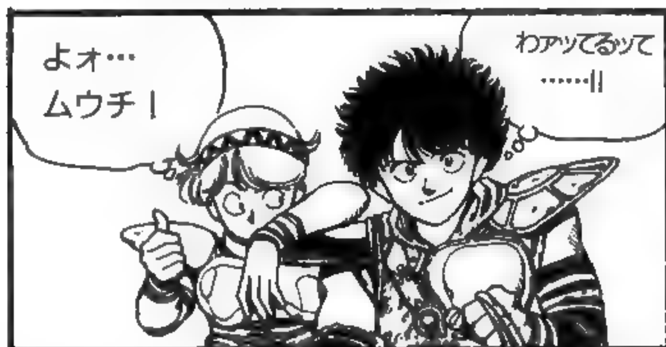


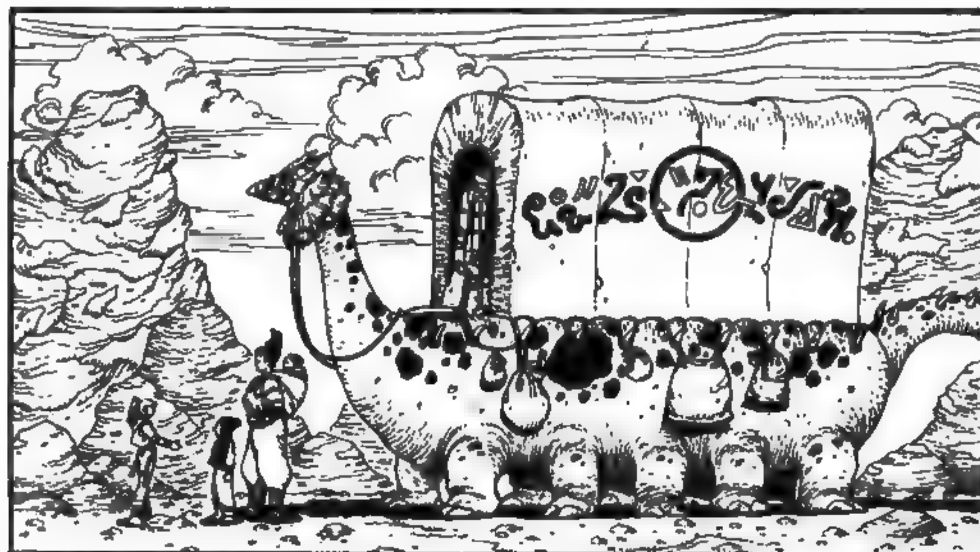

しっかしまぁ〈失われた古代人〉を探せって言われてもなァ… 一体何のことだか…

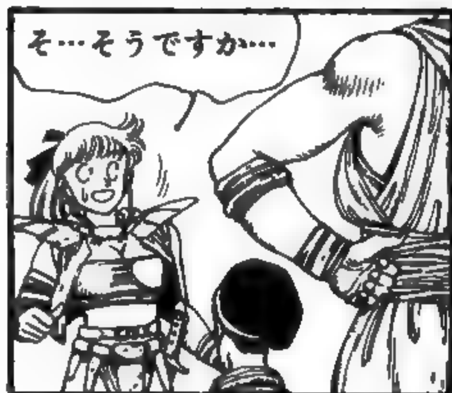

チラ

………
ザッザッザッザッ

チェッ！元気だね
お嬢さ……ッと！
あー腹減った！
!


わかッてるって
……!!
よォ…
ムウチ！

おーいメルフィ！
旅の商人だぜェ
何か知ってるかも
しんね——ぞォ！


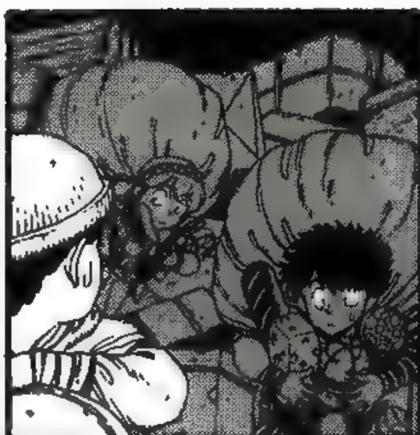
〈失われし古代人〉
……さあねェ？
聞いたことないなァ
……

そ…そうですか…

………

?
コトッ


どッ…
どどど
どど…
どどどどどど
どろぼ〜ッ!!


や……
やあ!






なッ……


ダグ!
ムウチ!

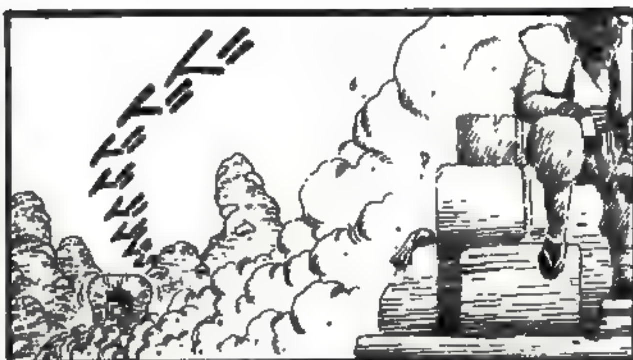

何ィ!!
ザッ!

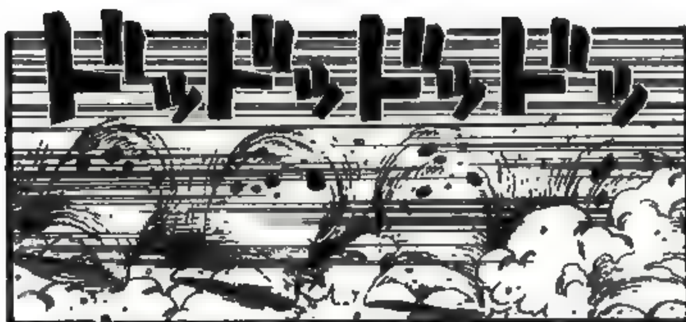

うッひょおッ!!
ズギューン!!
ズキューン!!


待てェ!!


ええい
逃がすかァ!


ッたく
何てこと…!!




ドッドッドッドッ




しゃりっ


そりゃあッ!!


ッたくもォ
あんたたちと
きたら！


うまい……


助け合い 助け合い！
かたい事言うなって
ケケケ……

ホレ！ お前にも
分けてやっから！

ぱん！

………

ンのヤロー！
女だからってェ
容しゃしねェ
ぞォ!!

………

ジャキッ！

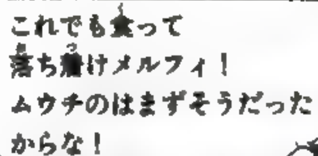
ちり～ん…
ぐりん

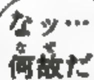
………

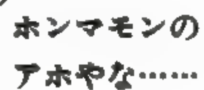
こいつ
また……

お前たち
………
今は
仲間割れ
している時じゃ
なかろう！

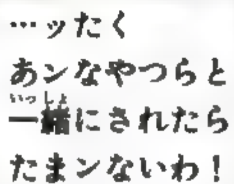
ほれ！


これでも食って
落ち着けメルフィ！
ムウチのはまずそうだった
からな！


なッ…
何故だ
……

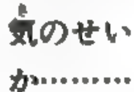

ホンマモンの
アホやな……


はーーっ


…ッたく
あンなやつらと
一緒にされたら
たまンないわ！


何を
考えてんだか…
ザッ


………


気のせい
か………
GGGRRRR
BRRRRJUJ


ザッック
ザッックザッ

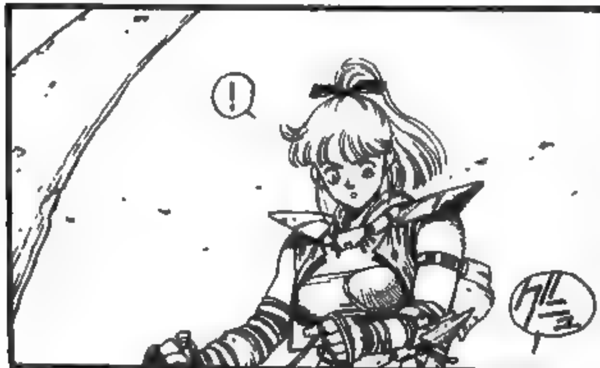




びひゃァ〜〜〜〜
なんだよここァ!?



まるっきり
ゴーストタウンって
感じじゃねーか



!









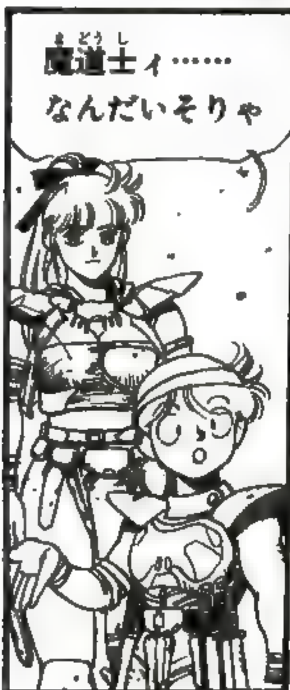

まさに……ゴーストタウンだぜ……


そう思ったら……早うここから立ち去ることじゃ
ザッ




何だよてめェ〜はァ!?


わたしゃただの魔道士じゃよ
にたーっ


魔道士ィ……なんだいそりゃ


さーてね…もう何の事だか忘れたよ… 今はこうしてこの町のさまよえる魂どもと暮らしてるただの老いぼれさ!


悪い事ァ言わんさっさとこの町を出て行くがよい!!


さっきから出て行け出て行けと……
何故ですか?


人々を恐怖のどん底に
つき落とした
かの大地震!!
そのために
命をうばわれた
人々の魂は
永遠の眠りにつくことができず…
この町一帯を
通りかかる人々を
襲っておるのじゃ!!
それじゃあ
何だっててめェは
襲われねェんだァ？

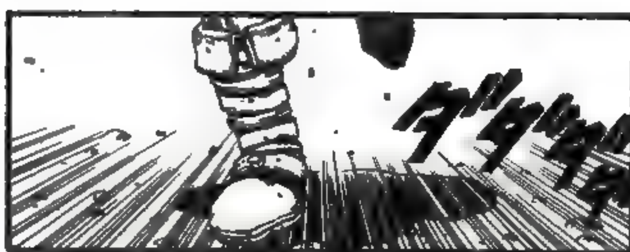

わたしが
どうして襲われない
かって？
はッ！
そんなことは
知らないね!!
さあどいたどいた！
そんな所に
突ッ立っておると
死体の片づけを
手伝ってもらうぞい
ずるずる ずるずる ずりっ


それとも…
片づけられる側に
なりたいのかえ？
キヒヒャハハハ！


ケッ！
口の減らねェ
ババァだ
—メルフィが
見えんぞ
ムウチ！

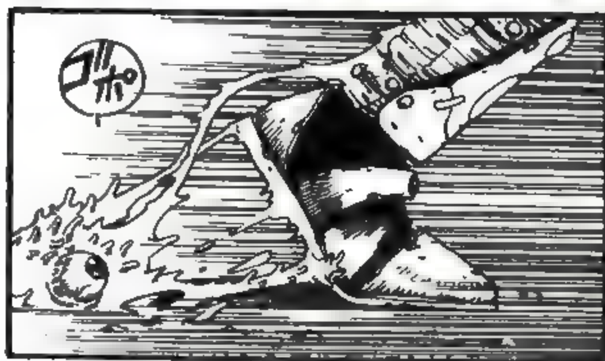

ヘッ！
ほっときゃいいさ
あんなやつ


!




パパもママも
もしかしたら
この町の人々と
同じように……
死にきれずに
さ迷い続けて
いるのかも
しれない!!

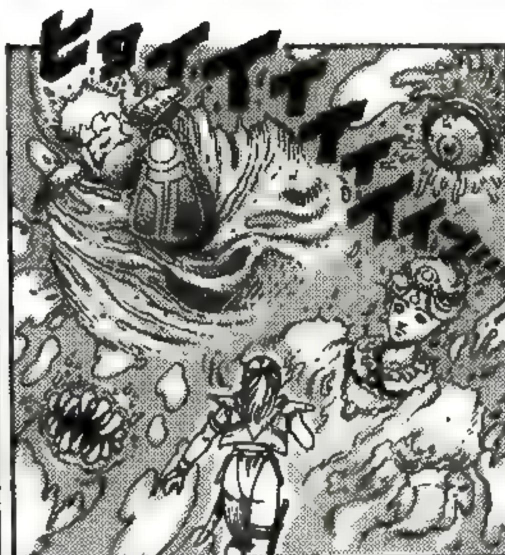

パパ……
ママ……!!


ゴポ


!?


きゃあああッ


めるふぃ……
オオ
ワガ娘ヨ………
アア
めるふぃ……
会イタカッタ
ワ……



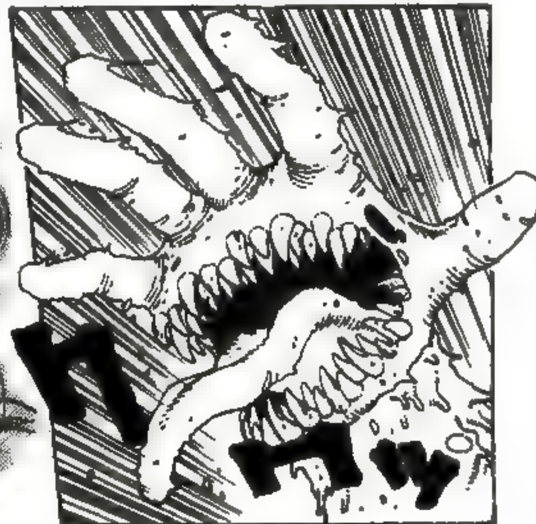

あ……
ああッ……!?

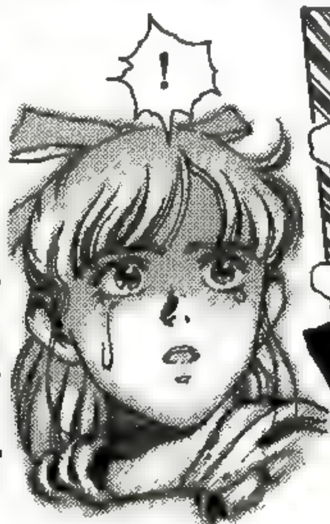

手ヲ…
手ヲ差シノベテ
クレ……
コノ霊体群カラ
私タチヲ
救イ出シテ
クレ…!


救けてあげたい…
パパ…ママ!
でもどうやって…!?


パッ……
パパ!
ママ!
やっぱり!?


ク…苦シイ…
苦シイノダめるふぃ
救ッテクレ
私タチヲ…
タノム…娘ヨ…

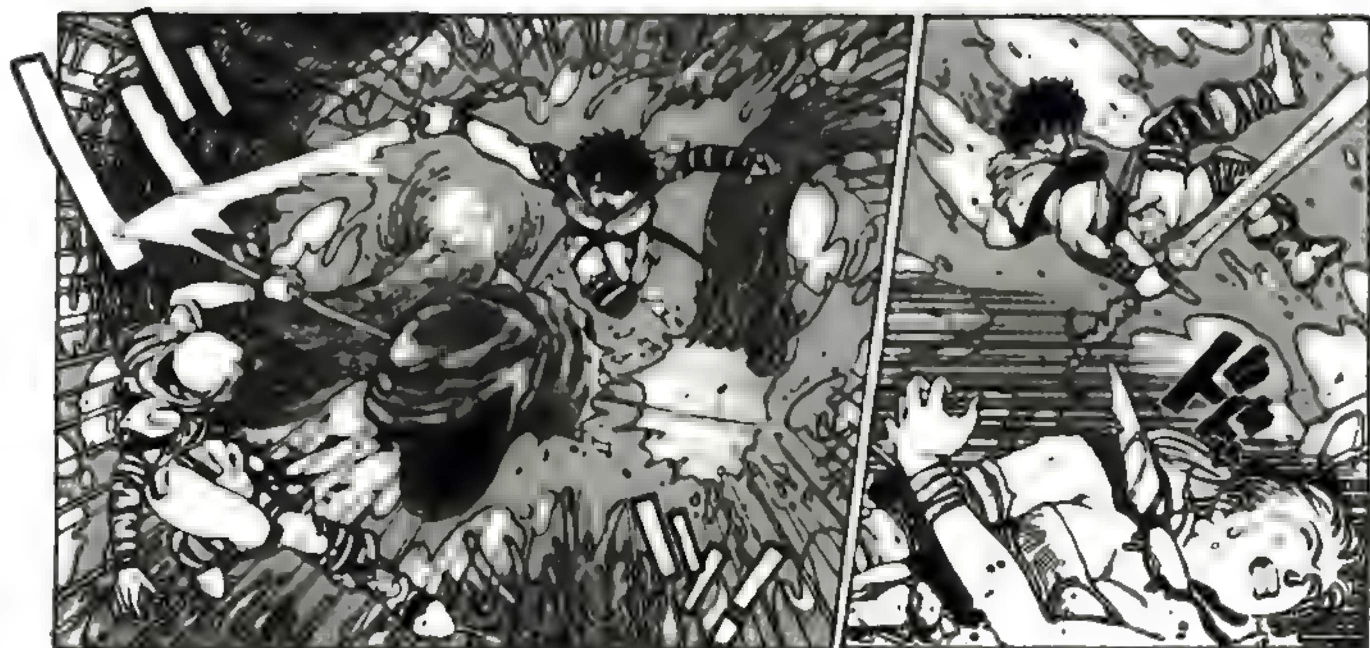



!


パパ!
ママ!!


めるふぃ……


ドオッ
きゃあッ
BRRRROOOOOOMWWW...

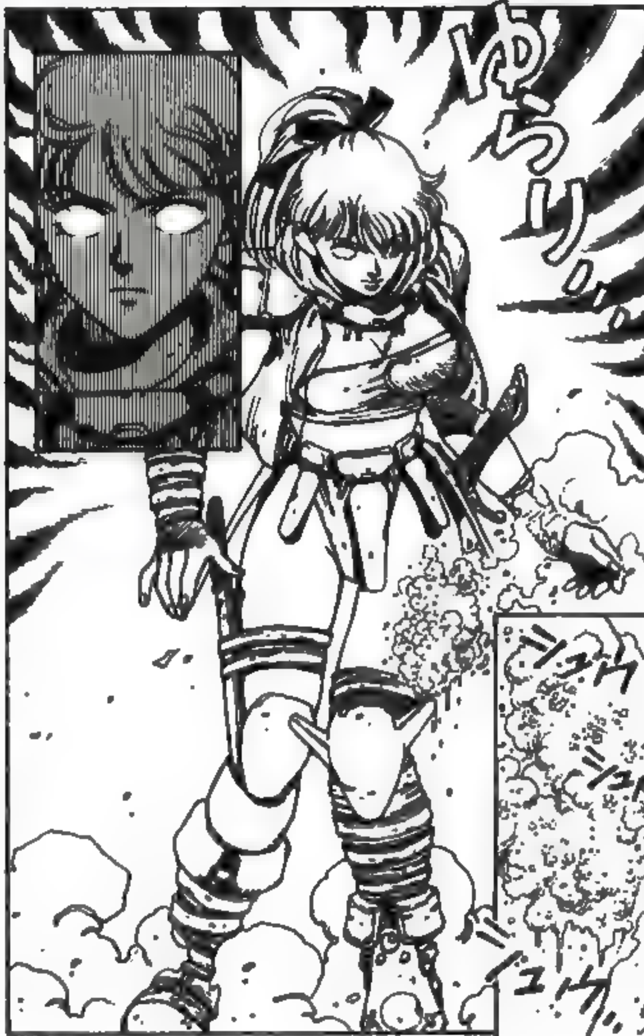
メルフィッ!!
ああああ
ああああッ！


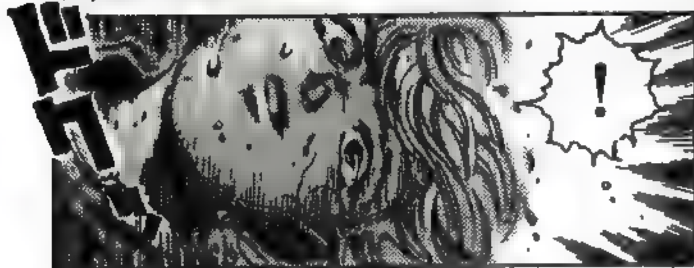

立ち上がって
こいつらを
よく見ろ
メルフィ!!


お前は
俺たちなんかと違って
お上品な生まれ
なんだろうが!!
こんな下品な奴らの
どこにお前の
父ちゃん母ちゃんが
いるッてんだよォ!!
ZZZWOOOOOWWWMM


う…ぐッ……


立てよォ
メルフィ!!


ゆらり…
シュウ
シュウ
シュウ…


ドクン
!


あ…





治ってく……?
キッ……傷が……!?



なんと……その娘 白魔術を使うのか!?
!?



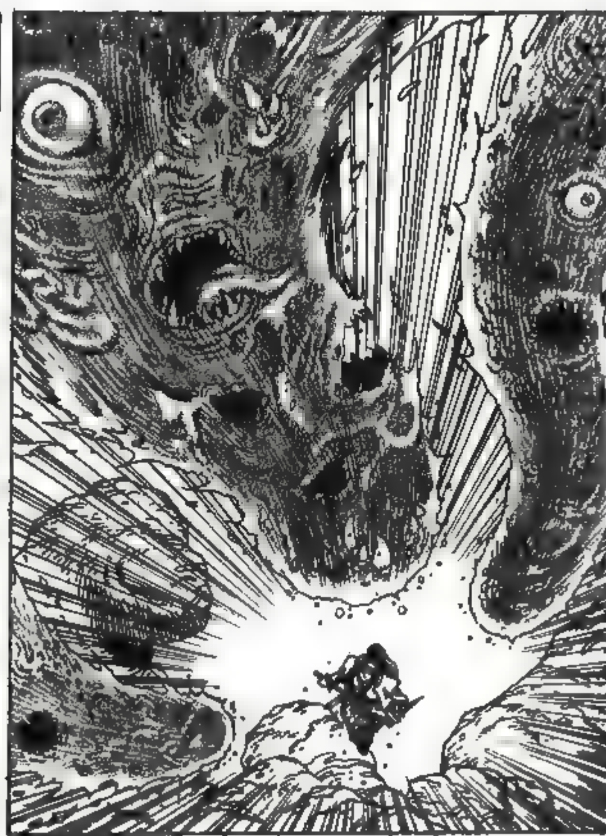
し……白魔術だって…!?



わ…わたし…

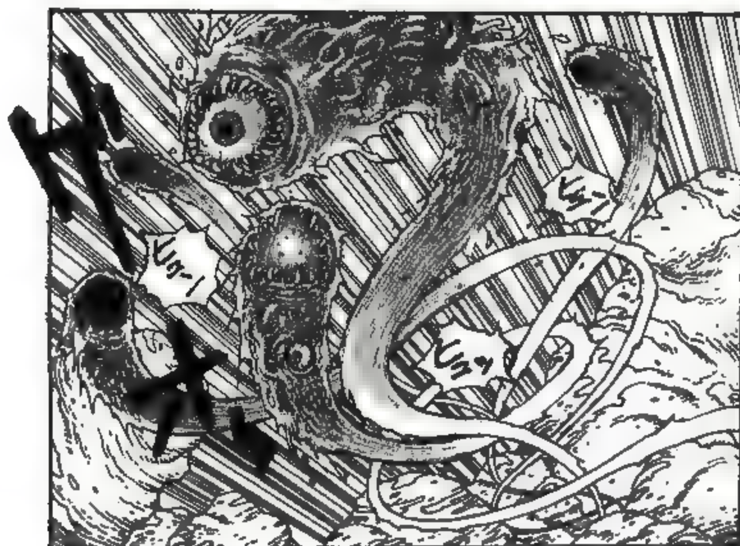


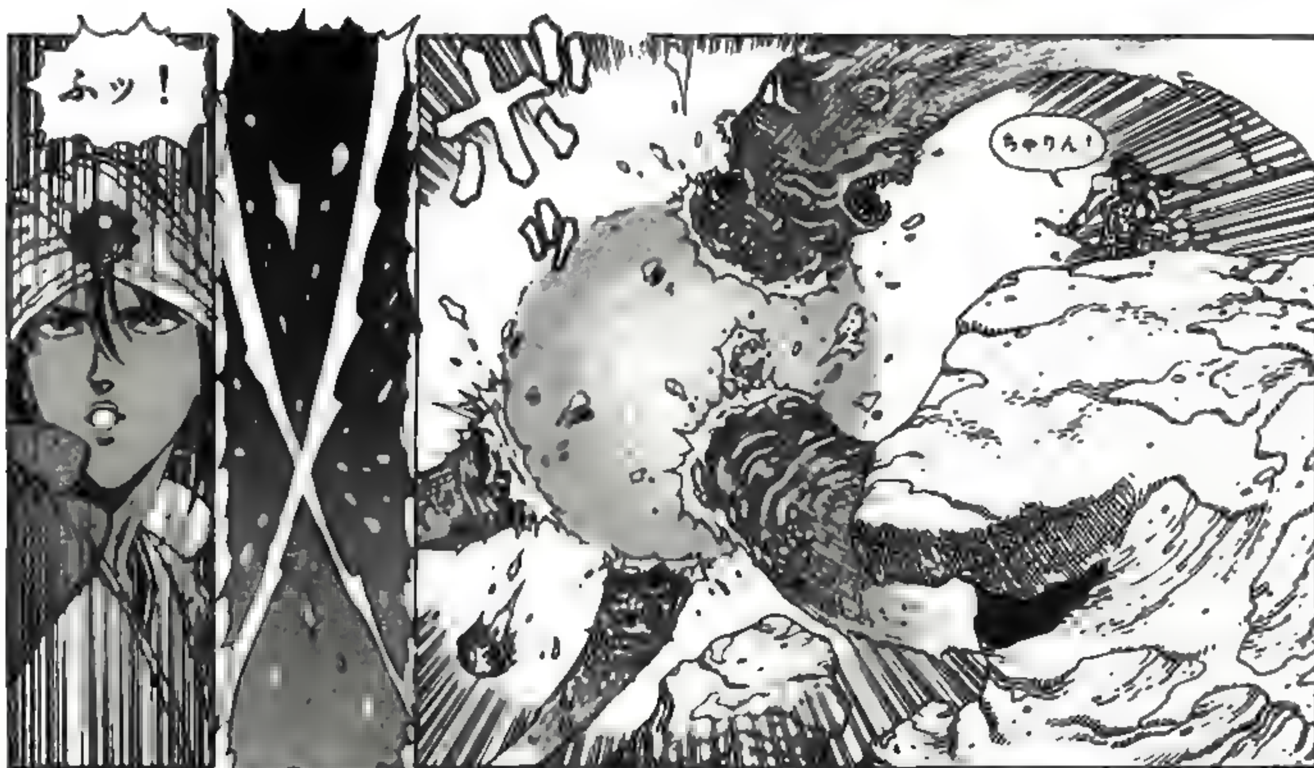
はッ!



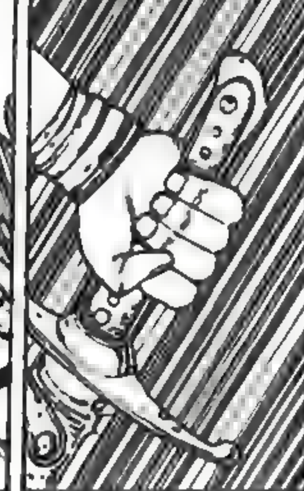


来るぞォ!!

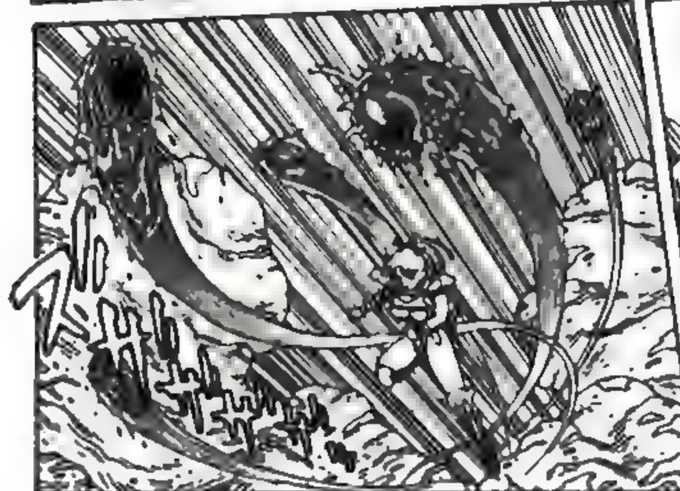


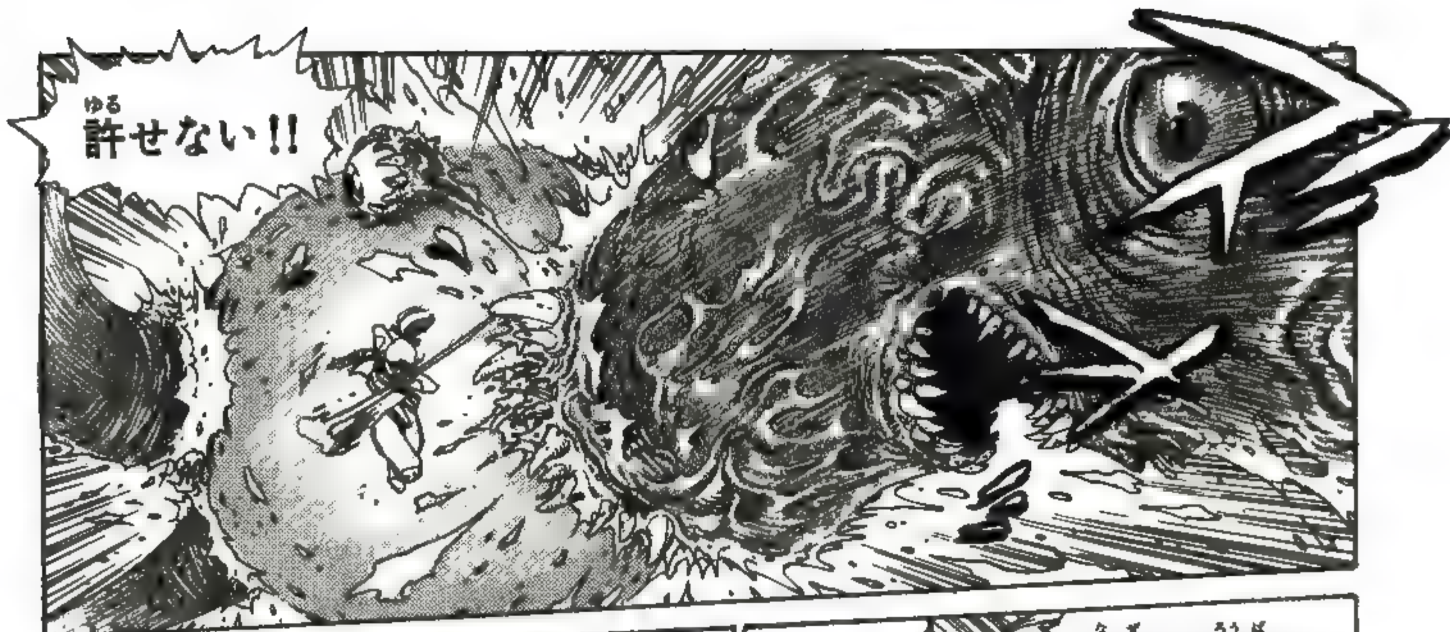

ボッ
ちゃりん!
ふッ!


お楽しみは
これからだぜェ!!




父と母の名を騙るなんて
…よくも…よくも!!





許せない!!



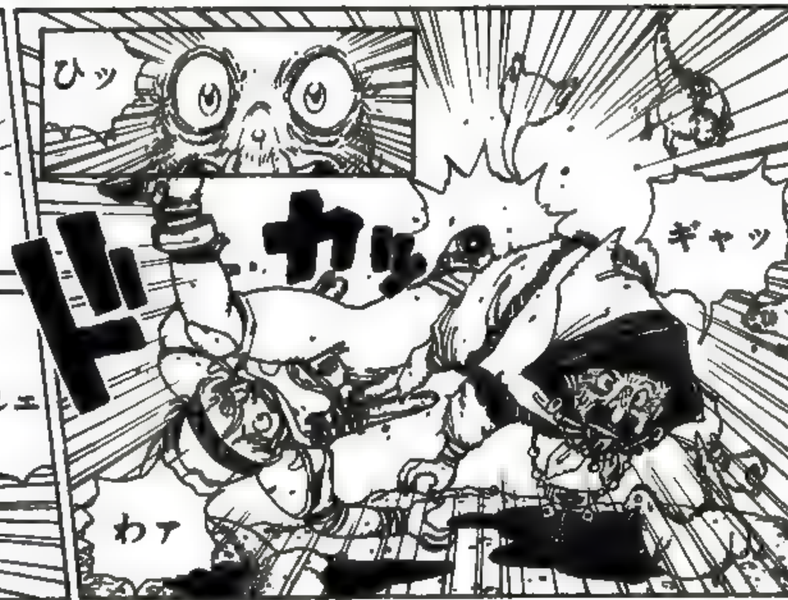
何故あの老婆だけ襲われずにいる!?
何故だ



キュン



にょほほー
オッ



ひッ
ギャッ
ドカッ
わァ

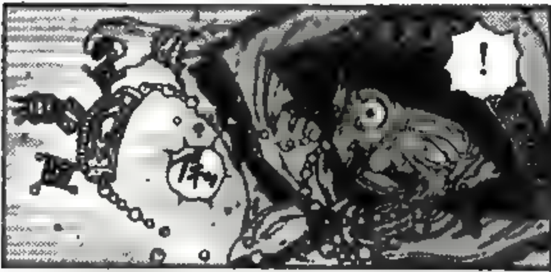
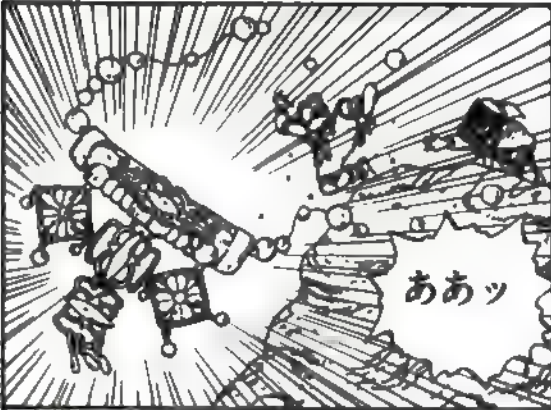
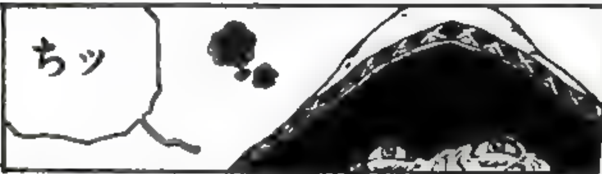


うォほほほほッ
あやつらめ
仲々やりおるわ!!



婆ちゃん
どいてくれェ



これかッ!!

!

ああッ

ちッ

さあ…
来いッ!



食らえェ!!

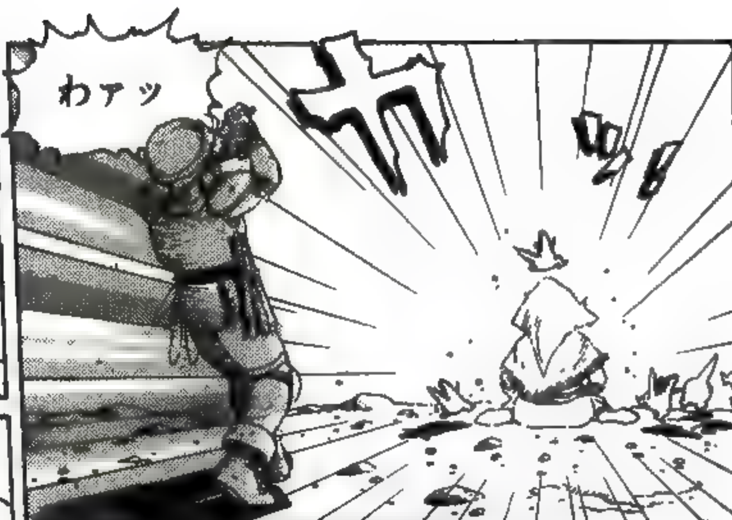
こッ……この儂としたことが
……!
今まで奴等を
死者の霊などと…
うかつであったか…!!

おおおお……
おお……

あ……
あれは…

どういう事なんだよ 婆ちゃん！ え!?

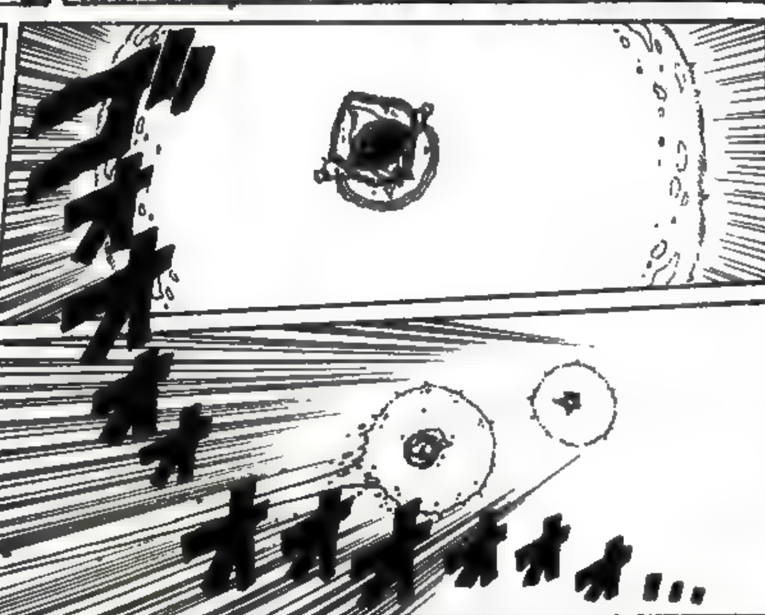
白魔術も老いぼれたもんよ…

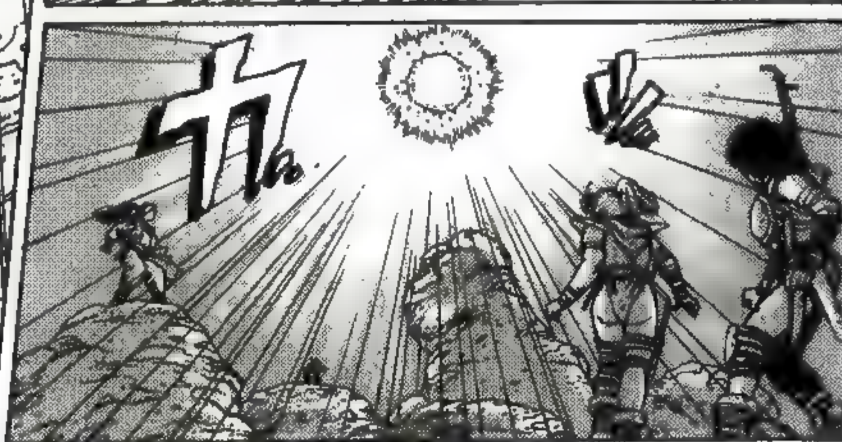














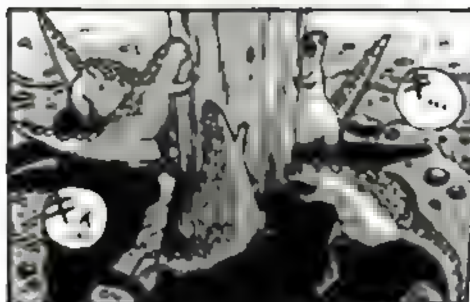
心して…聞けよ…
おそらくは…
〈風〉のくれた
贈りものじゃろうて
……
風の……
クリスタルが…
ス…
娘よ…
そなたの力は…
まだ我が身を
救うことができる
程度のものじゃ…
おッ…
お婆さん!?


命がけで
この世に引き戻したのが
こんな爺さんで
すまんかったな……
婆さんや
…………



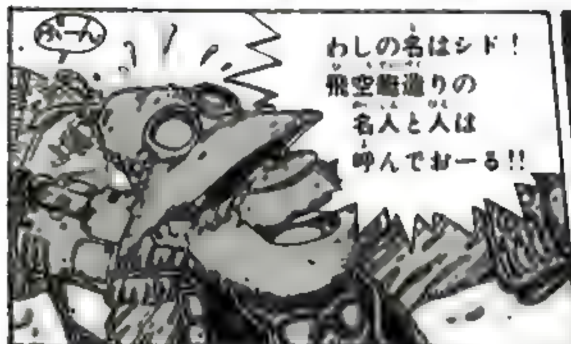

ふん！


話を
聞かせてくれないか
爺さん…


キ…
キィ


ちゅ…
グス…


シド爺さんは
これまでのいきさつを
なかなかの名調子で
語り始めた……


わしの名はシド！
飛空艇造りの
名人と人は
呼んでおーる!!



シドの話によれば この辺り一帯では
魔人ジンの黒魔術によって全ての人間を霊体に変え
自分の思うがままに暮らしているらしい…



しかも古代人の末えいである
サスーン城のサラ姫を幽閉しているというのだ




かつてサスーン城は
周辺の数か国を治める程の
力を持っていた
つまり　サラ姫を幽閉して
隣国へにらみをきかせ
食料などを運び込ませていたのだ


魔人ジン……
やつもまた
大地震で復活した
妖魔であったのだ！


は…
はは…
……
ぱち
ぱち
ぱち…




ヘッ！
なかなか青っぽいこと
言うじゃねーか！
気に入ったぜ！


まっとにかく
古代人の末えいと聞いちゃ
そのサスーン城へ
行くっきゃねえなァ!!

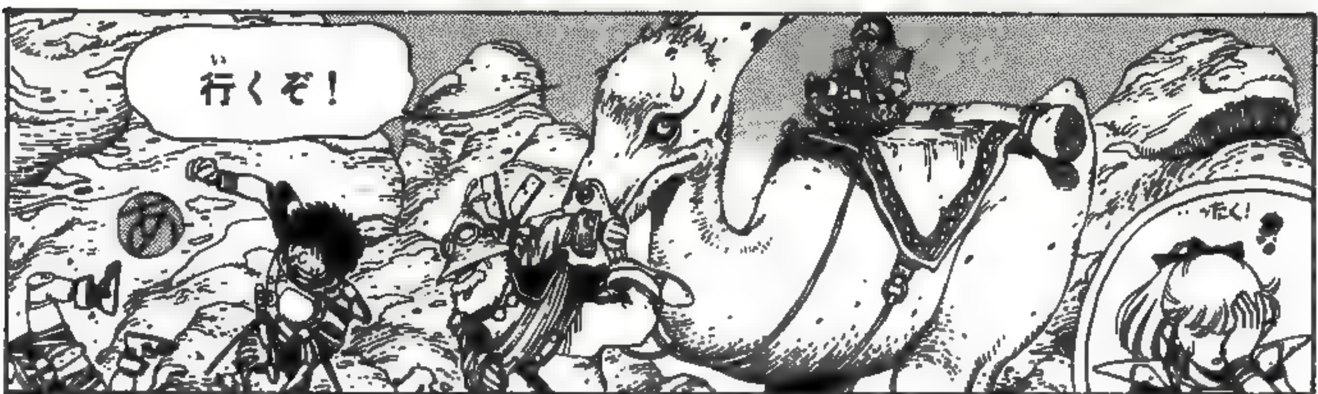

よっしゃ　こうしよう！
あのジンの野郎を倒してくれたら
俺様の飛空艇に乗せてってやる！
何処へだって連れてってやるぞォ!!


よォジイさん
その飛空艇ってのは
どこにあんだよ？


決まってんじゃねーか
ジンの野郎に
盗られちまったんだ
よォ!!


ケッ…
ちゃっかりしてやがるぜ
このジイさん！


ここだけの話じゃが
サラ姫ってのがこれがもう
えらくベッぴんでなァ

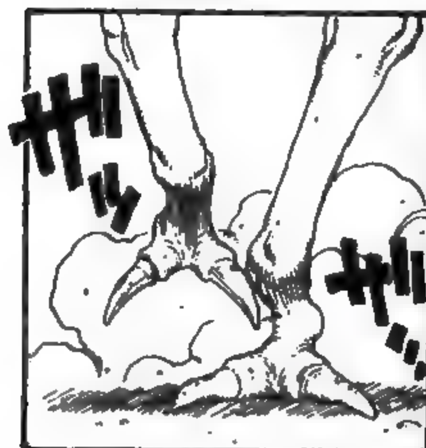

行くぞ！
あ
…ったく！











ザリッ
ザリ…





ええい
忌ま忌ましいったら
ないわい
あのジンの奴!!
JUMP!



世界を股にかけた
このシド様を　よくも
あんなバケモンに
変えてくれたもんだ
ぜェ!!　ヘッ！
さて…わしの
飛空艇は
……と
ザリッ

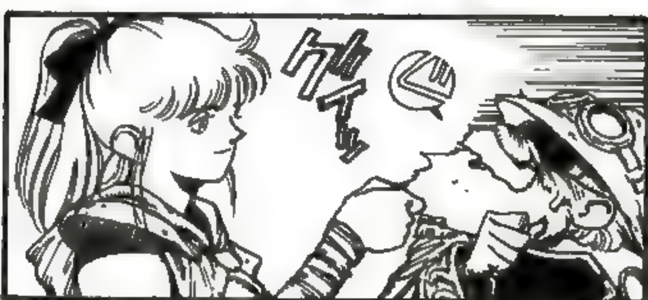

クイッ


サラ姫
だよォ!!


そのベッぴんさん
……てのは
どこなんだ？
なッ……
何を……!?


その娘が
古代人の末えいだ
つーから来たんだぜェ
俺たちァよォ!!


わァーッとる
わァーッとるがな！
じゃがその前に
わしの飛空艇を
じゃな……

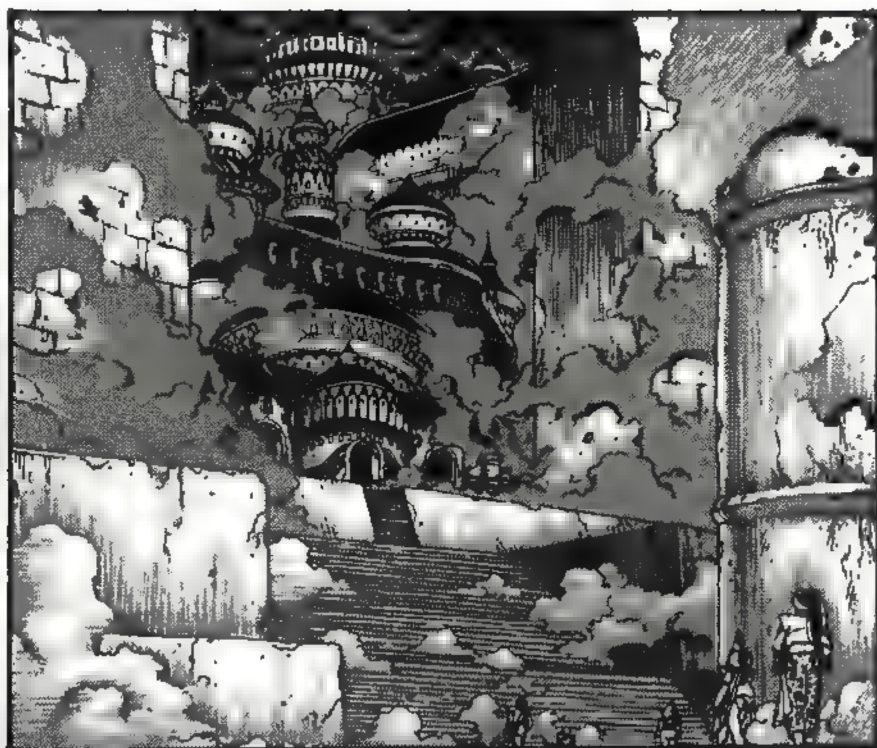

グイッ


王女様が
……先！
ね？


わ…わかった！
わかったから白魔術なんぞ
使わんでくれよォ えェ？


白魔術
──!?


さあ！ はりきって
入城といくかァ!!




ギャア
ギャア
ヒョォォォオオオオオオオ…ヒョウウウ
ウウウオオオ


なーんか
魔物の巣って感じ
だよね ホント…
ヒョウ！
オオオ
飛空艇は
……と
オオオ
ジャカ
ジャカ

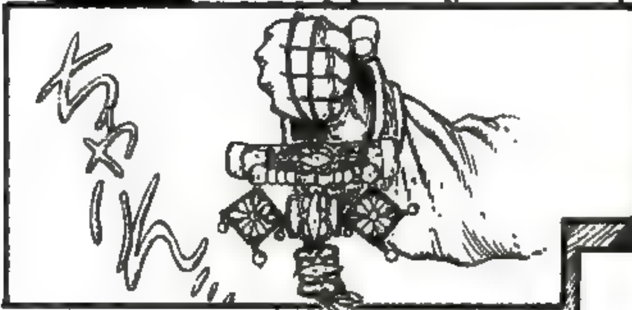

わたしの……
わたしの身体に
…何故!?
白魔術
……
白魔術…！

この体……
この体のどこに……

風……
風がお前に……

心して磨け……
「風」のくれた贈りものじゃろうて……

新しい「力」が芽生えているのだろうか!?







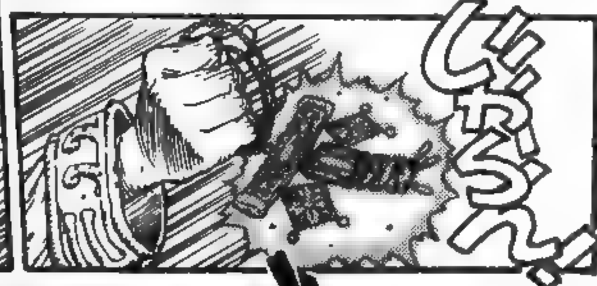
わしは…
前に立ち寄った港でこんなことを聞いたことがある


ミスリルは黒魔術に強い……とな！
じゃがその金属のありかは……誰も知ってはおらんかったが…


わぁッ！


ダグ!!
BNYOOOO!


いッ……岩が…ッ！
うそだろォ!?


じゃらん!








白魔術…
黒魔術…
いったい何のことなの……!?


確かに…その首飾りのおかげで あの婆さんバケモンにされずにすんでいたようだな
はっ
ひぃ

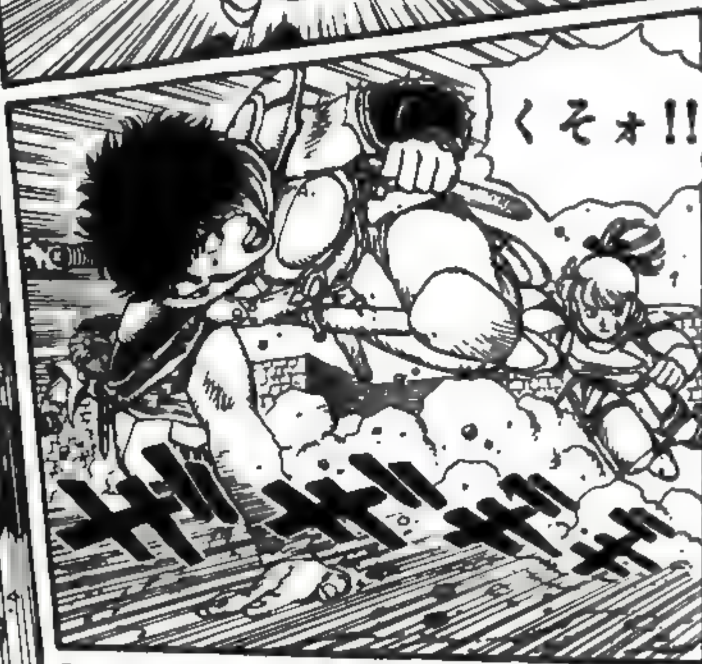

バカッ

ドド

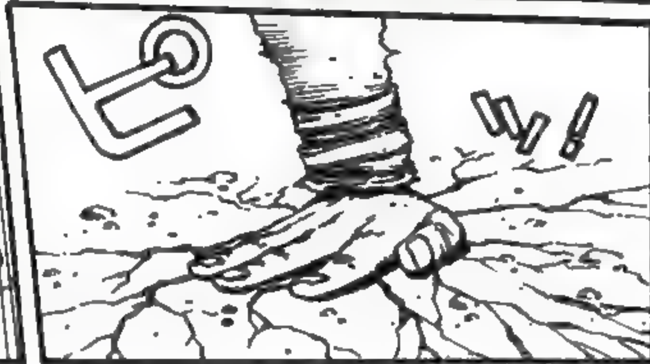
うわあッ






くそォ!!


にッ…
逃げろッ!!


ピッ!

い？

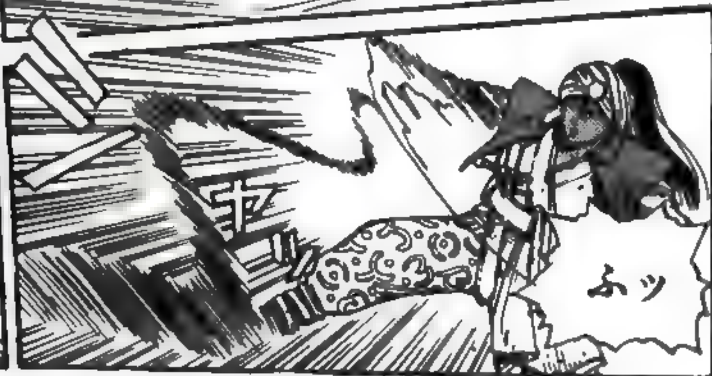
うわあああ
ああッ

きゃあああああ

ムウチ!!

メルフィ!!




ふッ


スッ


カン違いするな…
白魔術を使えるお前を今失うわけにはゆかんのだ!!
ギリリリッ!!


!

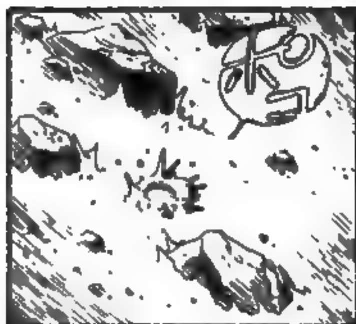

ゴオオオオオオオオ…
ボウイ!


……!!


あ……
あなたなんかに……


ミッ……
ミスリルがッ!?






ミスリル
が……
あ……
あれがないと
……




出たあッ!!

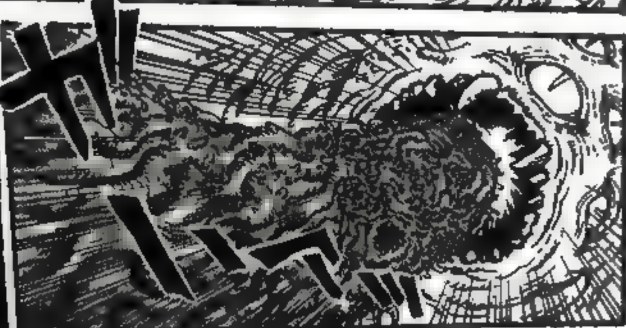

待ってた
ぜえ!!


いッ……
いいかお前たち
こいつらはただ
ジンの野郎に
操られているだけだ!
むやみに殺すなよォ!!


そーゆーのが
いっちゃん
嫌しいんだぜ
ッたくよォ!!




ジンに操られて
……
まさかパパとママは
ここに…!?




きゃああ
あッ!!






オレは
オレは
忘れない！
この場に及んで
まァだお嬢さま気分が
抜けねーんなら
とっとと
ウルに帰んな!!


ムウチ!!


ムッ…
ムウチぃ!!


わわわわ
わわッ!!


風が！

オレたちの
ために！
風が
泣いてくれたん
だ…




オレって…
育ち悪いから
さァ……
オレなんかのために
誰かが泣いてくれる
なんてこと
初めてだったんだ
おォ


ド
ッ


おああああああ!!
だから
オレ……
オレは…
風の言うことだけは
ゼッタイに
聞くことにしたんだ!!



死ぬわけにはいかないんだ!!!

うぐるるりるりるり
〜〜〜〜〜〜ッ!!
ただの人間のブンザイでェ！
よォくも俺ッチのこの城に
のこのこのこのこ
やって来れたわねェ
〜〜〜〜〜〜!!!

丁度ヒマを持て余していたとォころよ！
たっぷりぷりと
このジン様が
かわいがってあげるわよォ〜〜〜ッ!!

ぐるるりるりるり〜〜！

出やがったなこの野郎ォ!!


びひゃーッ!!
なんてェ
でかさだい
ふん！
ありゃあ黒魔術で
でかく見せかけとる
だけじゃい!!
実際は
あの３分の１くらいな
もんじゃあ！　けッ！

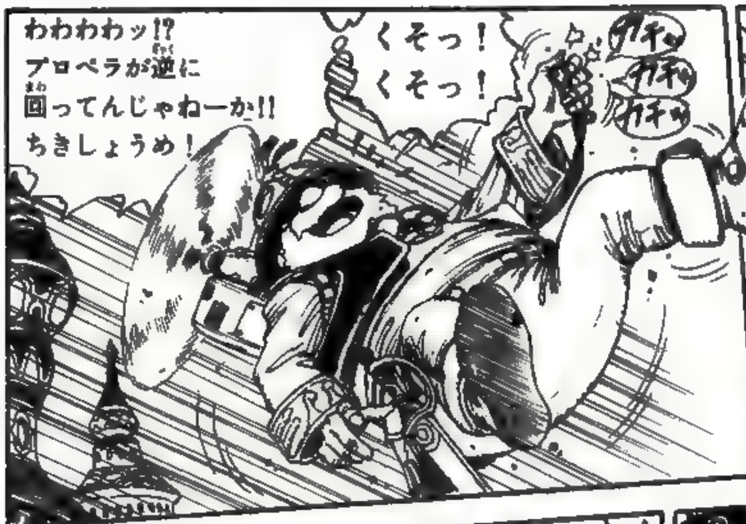

やいやいやいやい
このシド様を
忘れたわけじゃ
あるめーなァ!!


さっさと
俺の飛空艇を
出しやがれ!!
え!?
おとなしく
言うことをきいた方が
てめェの身のためって
もんだぜえ!!
聞ーてんのかオイ!!


ヘッ
そーかい　そーかい
そーゆー事なら
もうえんりょは
しねェぜい!!


その首
たたッ切って
やっから
そこ動くんじゃ
ねーぞォ!!


BOOOOON!
え

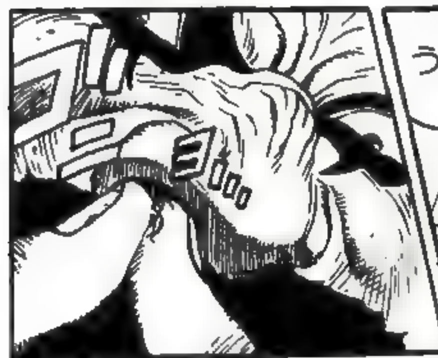

わわわわッ!?
プロペラが逆に
回ってんじゃねーか!!
ちきしょうめ!
くそっ!
くそっ!
ガチッ
ガチッ
ガチッ

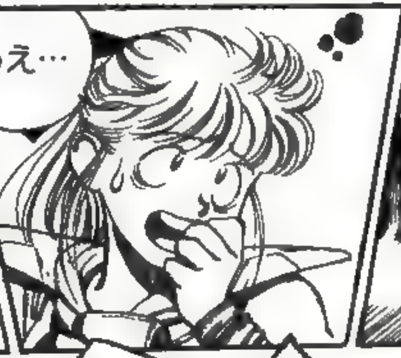

わあッ


キロッ
さーてと
……


ドッ
ャン
バカ


!!

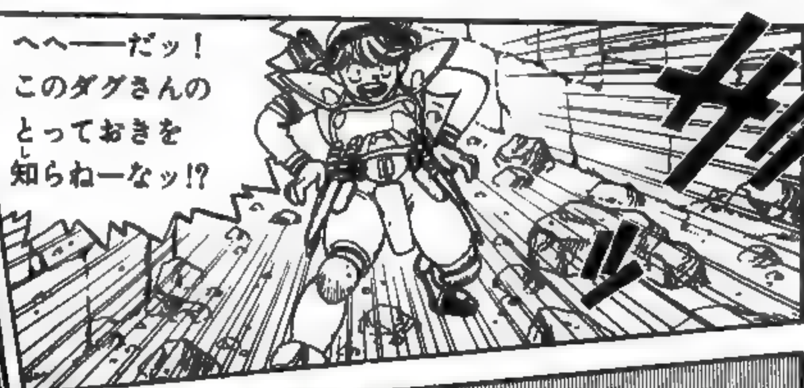

うえ…



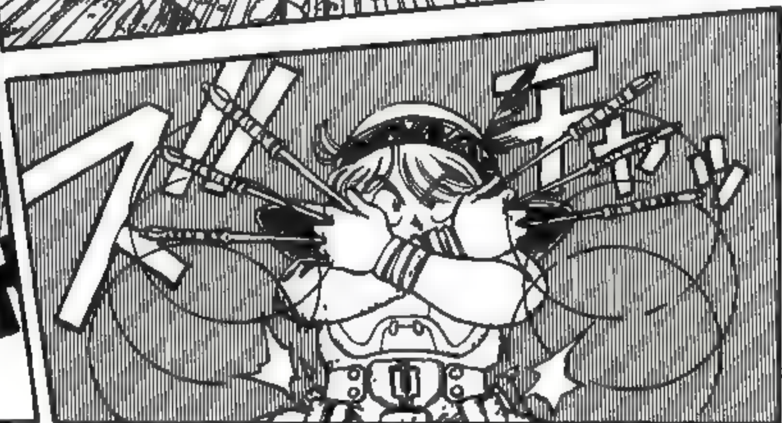

ふーっ!


ザザザザ
ガリガリ


てててててててッ！
何なんだ
こいつらは!!
きゃあ


へへ──だッ！
このダグさんの
とっておきを
知らねーなッ!?





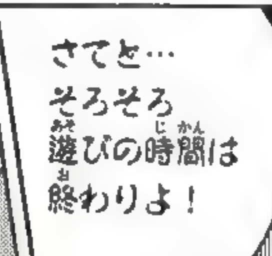

あひょッ
カッ…
数が合わん


男なら堂々と
剣で勝負
しやがれッ!!
このォ!


けっこう
やるわね!
見直したわよ!!
ぐるりりるり
——ッ!
ほーッ
ほッほッほ
てめェ
汚ねェぞ
この野郎!!


無理を言うな
相手はおカマだ
あ


キラリ


さてと…
そろそろ
遊びの時間は
終わりよ!


ふん…これは
まわりに女ばかり
はべらしてたら
何となくうつっちゃった
だけよ!
ま、
そんな事は
どうでも
いいわ


!

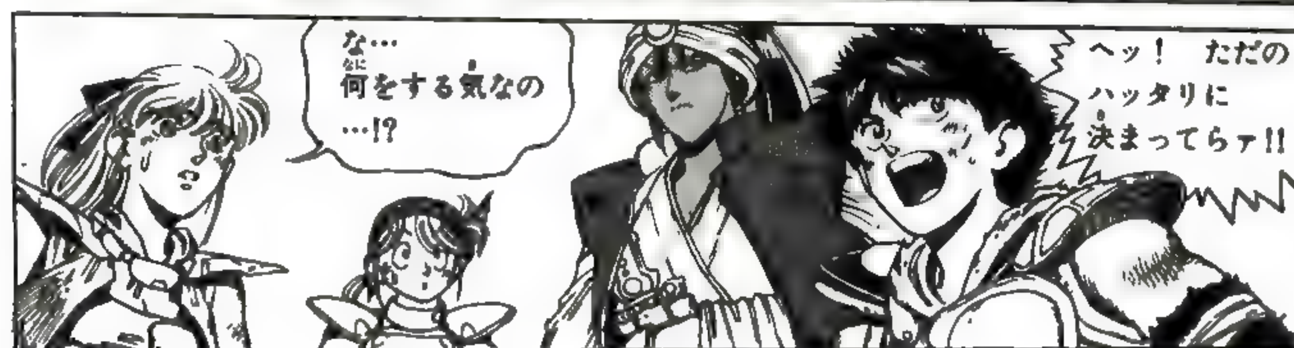

まさか…
ホントに剣で
やりあおうなんて
言わねーよな…

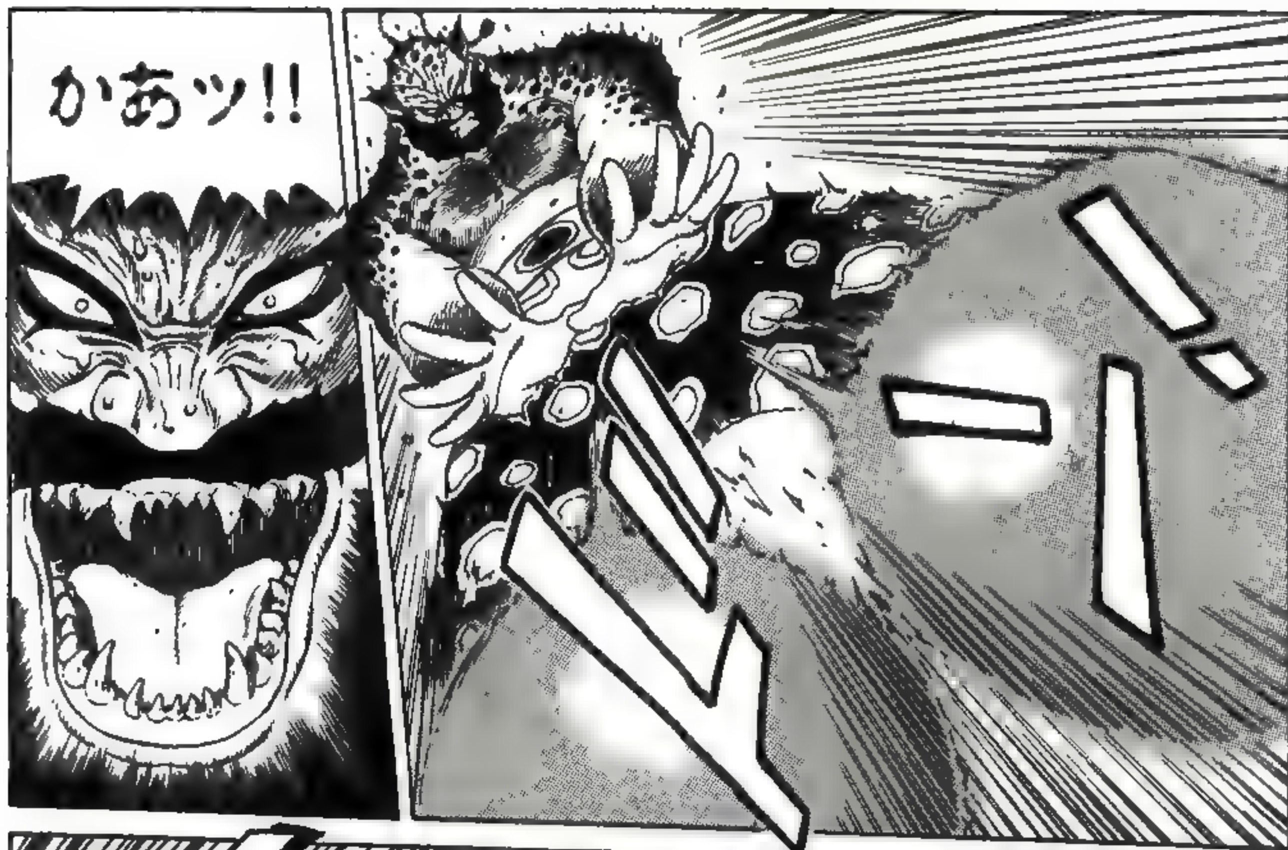
うぐ…
ぐるるりる…

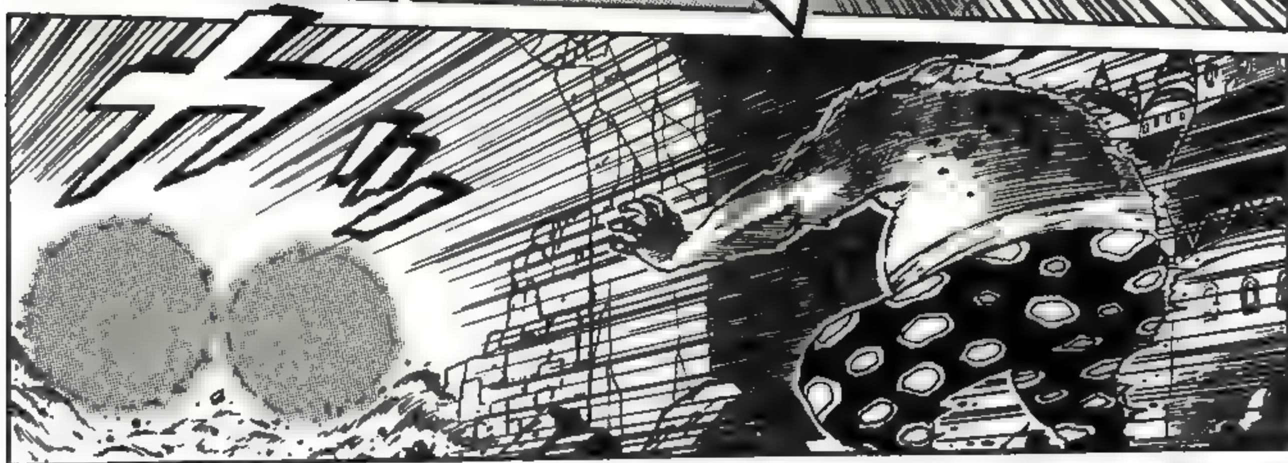
ふんッ!!

ボッ!






かあッ!!




わァッ!!
メルフィ!
ダグ!!
きゃあ

ゴオッ
ちっきしょう！
結界の中に閉じ込めやがったなァ!!
ほッほッ
ほッほッ…
ギラ
!?
どうしたムウチ!?
かッ…体が動かねェ…
ああァッ!?
かッ体が地面に溶け込んでいく!!
まだまだァ!!
かあッ！
ズビビクオオオオッ


ズオッ


うおおッ!?

ボウイ!!

わあああ
あああァッ!!


何をする気だ!?
やめろォ!!

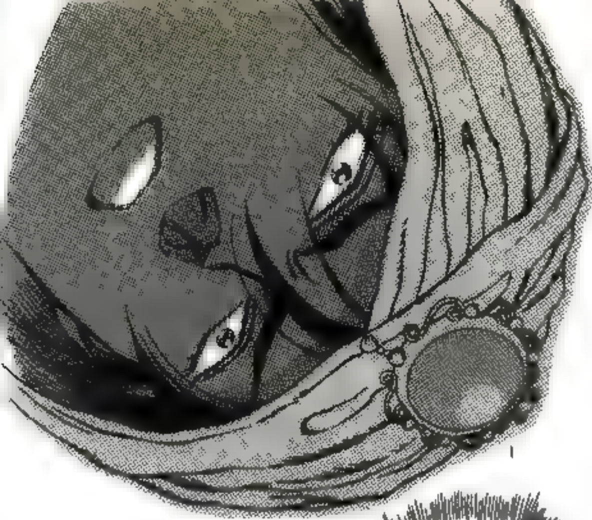

ほッほッほッ…… 仲間が
ひとりずつ死んでゆくのを
そこでじっくりと
見物することね…


うおおおおおお!!




!


ムウ…
チ……

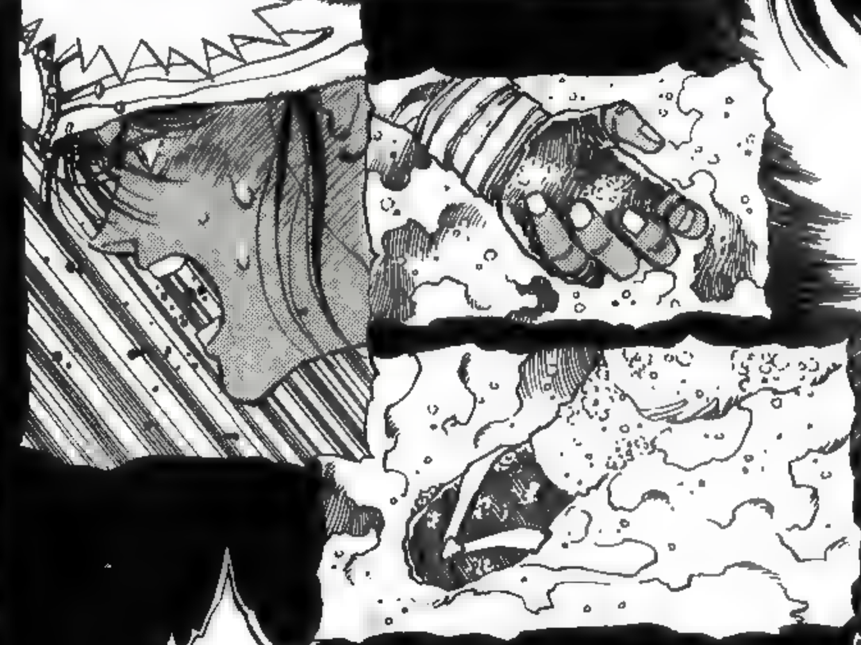



ボウイ！
ボウイ！
ボウイ
ーーッ!!!




ボウイの痛みが…
苦しみが…
伝わってくる!!
呼んでいる！
オレを!!





ぐぼっ



ボウイ！
ボウイ!?
あああ
あ
ああ…
ム…ウ
チ
ムウチ！
ムゥ…チ



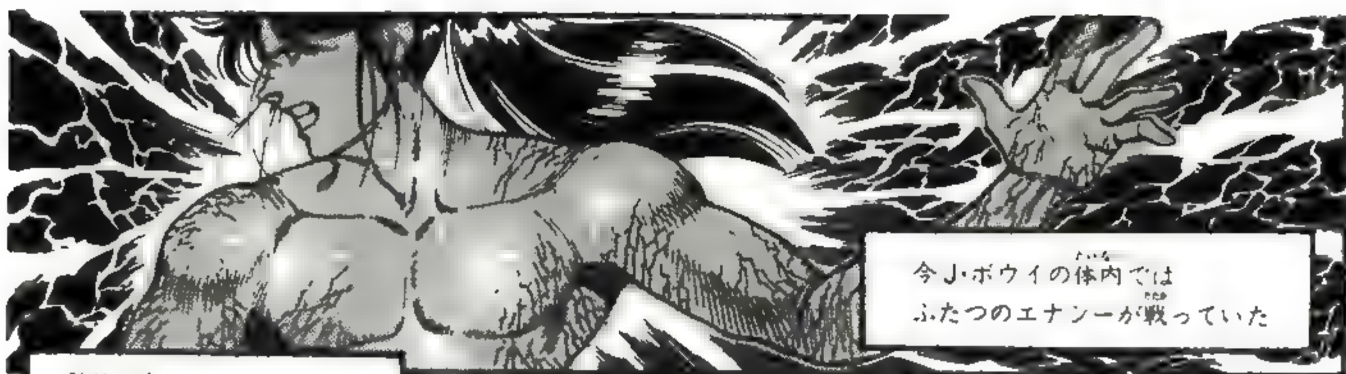
ほーッ
ほッほッほッ
俺様の作り出す
黒魔術の結界は
己れの血肉を削る
孤独の世界よォ
ぐるるり〜〜ッ!!

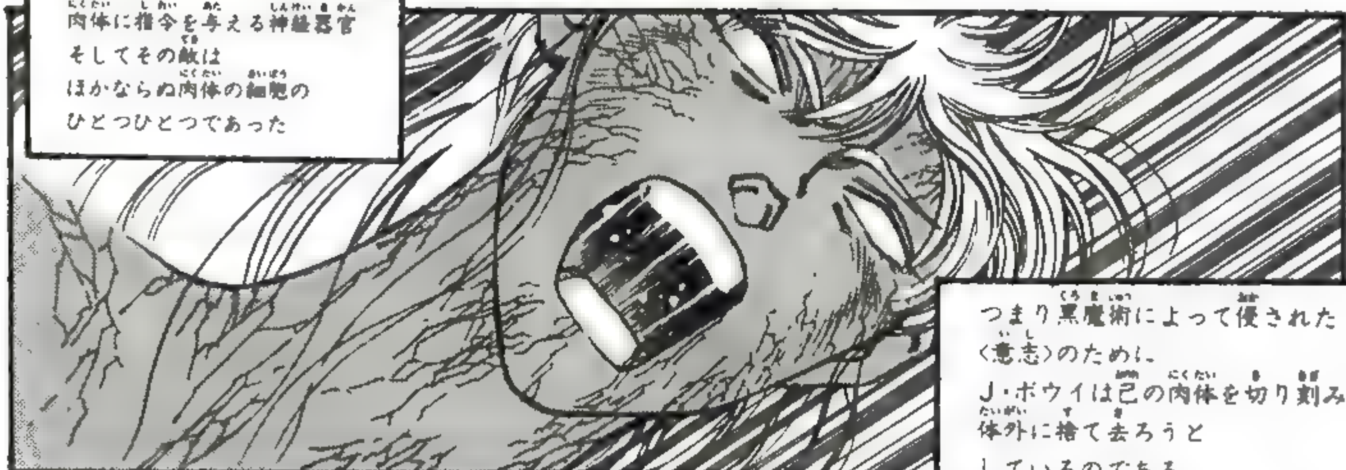


何だって!?



我が身を
むしばむものは
我が身の内に
有り…
ふぉほほほ〜〜!!
自分自身が敵！
これって何よりも
孤独よねえ
〜〜〜ッ!!

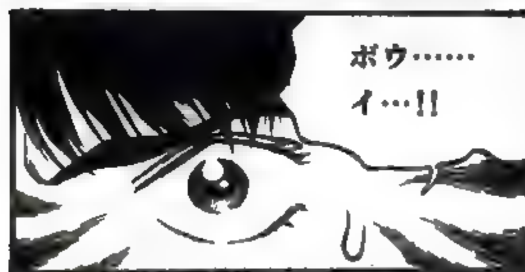

今J・ボウイの体内では
ふたつのエナンーが戦っていた

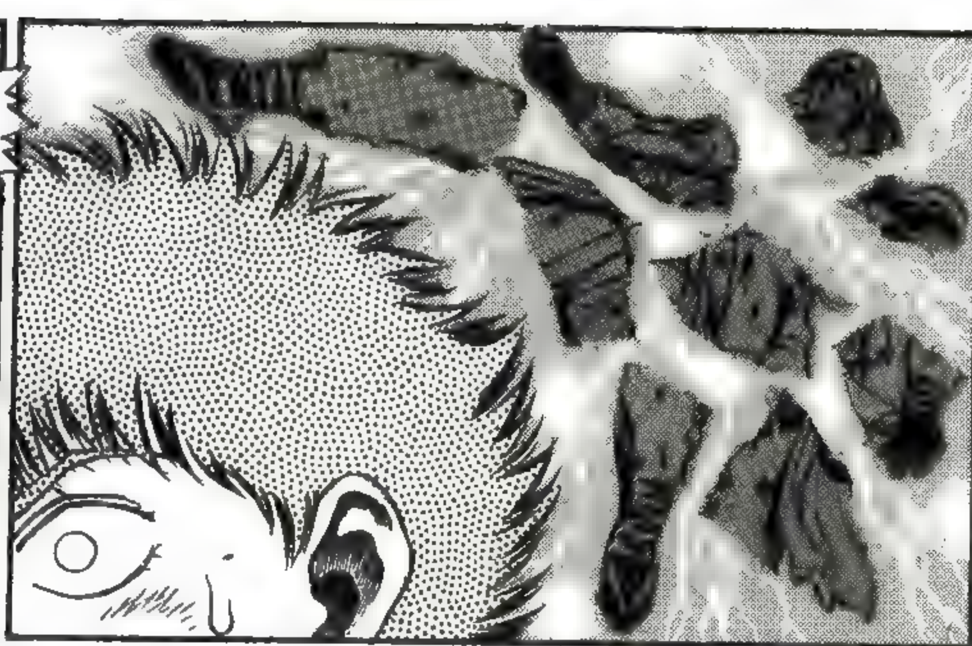

ひとつは
肉体に指令を与える神経器官
そしてその敵は
ほかならぬ肉体の細胞の
ひとつひとつであった
つまり黒魔術によって侵された
〈意志〉のために
J・ボウイは己の肉体を切り刻み
体外に捨て去ろうと
しているのである


ふおッほッほッほ…
やっとお仲間の孤独が
理解できたようねェ…
安心なさい!
すぐに結界の〈奈落〉に
叩きつけてあげる
から!! ほほッ!


手前で…
手前の体を…
メチャメチャに
する…だとォ
…!!


そうすれば
自分を最後まで
いじめ抜いた〈ご自分〉
と共に…
粉々に
砕け散って
しまう
はずだわ!!
ほほほほ!!


ボウ……
イ…!!




こッ…
粉々に…!?


その男の次は娘がいいかしら
それともこなまいきな小僧!?
なんならお前の望み通りにしてやってもいいのよォ〜〜ッ!!


ほーーッ ほほほほほ ほほほほッ!!


ダグ!! メルフィ!!
ちっきしょおォ!!
ギシッ

じわじわ攻めあげるこの感触ゥ!!
まだまだ参らないでよォ〜〜ッ!!

ダグ…メルフィも…
反応が…ねえ…!!
はぁ
はぁ
はぁ



ちきしょお!ちきしょお!
ちきしょおおおーッ!!




グググッ
グリグリグリッ

ヒュルルルル…

仲間が…
仲間が
苦しんでいるのに
オレは何にも
できやしねエ
!!!

!?

その攻撃の手…
緩むことなし
……
黒魔術は
攻撃技の魔術
なり……

〈風〉
なのか!?
かッ…
風か…？


ズオッ


?


何かを告げようとしてるんだ!!
かッ…風が…

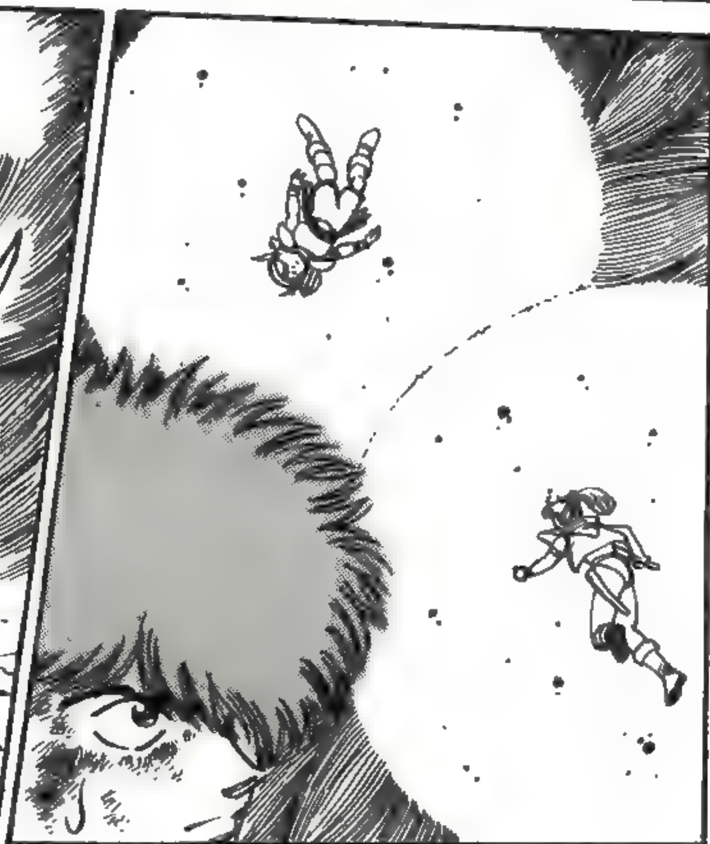

黒魔術に飛び込まんとするならば
まず己を投げ出してみることだ…


おのれ小僧!? いったい何を…!?
こッ…この風は何なの!?

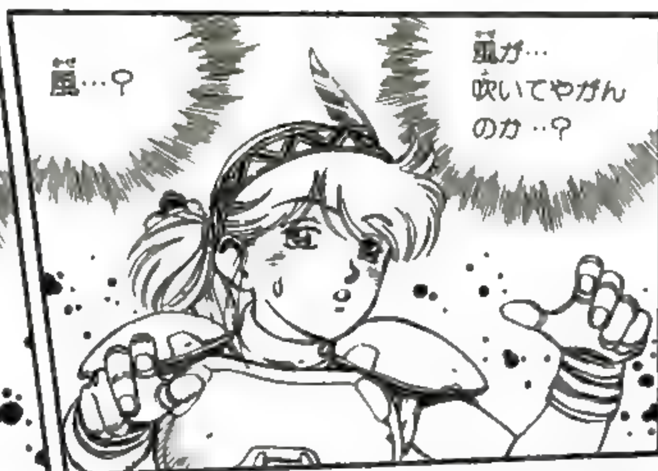

風はァ!!!


己を投げ出す
……!?
いったい
どういうこと
なんだ!?


ええい
何よこの…




ボウイ!
ダグ!
メルフィ!
届いているか!?
俺たちの
この
風の声が!!


風が…
吹いてやがんのか…？
風…？


なんだかとても…なつかしくて…
何だろう…？


なんて優しい…


風だわ！
ああ…!!


私たちの──風！

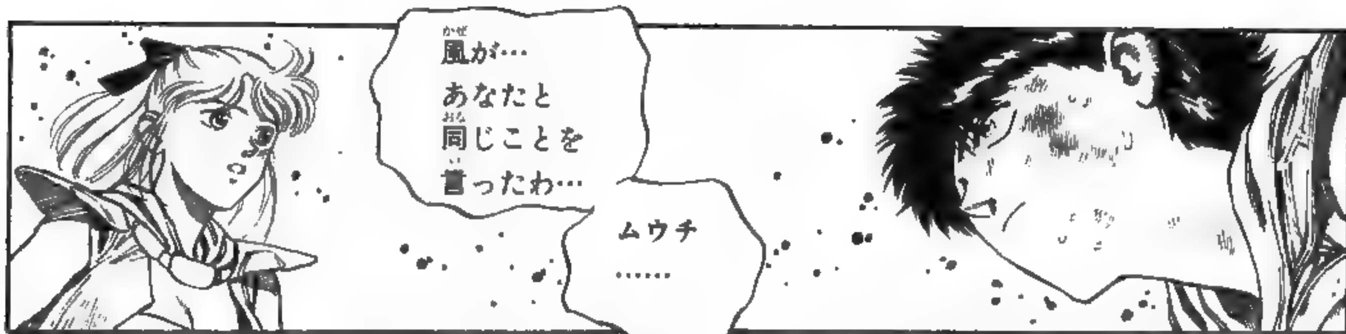
その時風の声は
白魔術が芽生え始めているメルフィの体内にも
届いていた…

白魔術は攻撃の黒魔術に対して
防衛、または病気・怪我などの治ゆを
その最大の〈力〉としているため
メルフィの体内では激しい自浄作用が
進んでいたのだった…

白魔術に
目覚めしものよ…

過去に
ひきずられることなく
……友を…
友を求めよ…

しからば
…………


風が…
あなたと
同じことを
言ったわ…
ムウチ
……


過去に…
引きずられてちゃ
いけないって…
そして…
そし…
て…


さあて
い！く！わ！
よおオオオオッ!!


そうさオレたちは
……
仲間
なんだ!!

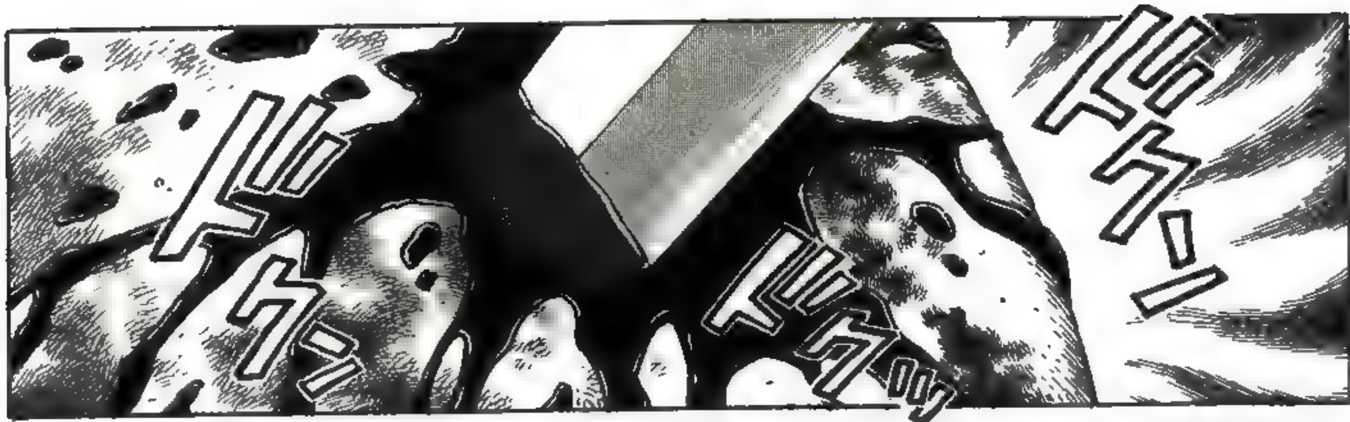

投げ出せ
!!
己を
投げ出せ!!







うわあああ
あああッ!!!


ドクン
ドクッッ
ドクン


自分で自分の足を……
狂ったわねッ!!


痛ェ……
痛ェよやっぱ…
ははは
……


カッ!!!


ズルッ


しッ…
しまったア!!!

ひゃッほーい!!

燃えろ
燃えろォ!!

超ギンギン
だぜッ!!!

なッ…
生意気なァ!!





ドッ
!
足を切ったわね
え〜〜〜ッ!!
どォだあ!!
あ…
あ…

ぶたれたことも
なかったのにイ
イイイ〜〜〜ッ
!!!










ッてェ!!
ドン


ザッ


脚の痛みで結界がゆるんだんだ!!
そうか!
ててて……


ダグ!!
メルフィ!!


ズオッ
うひッ!!
きゃッ


す…
するとボウイも
…




何だァ!?



ボウイ!?

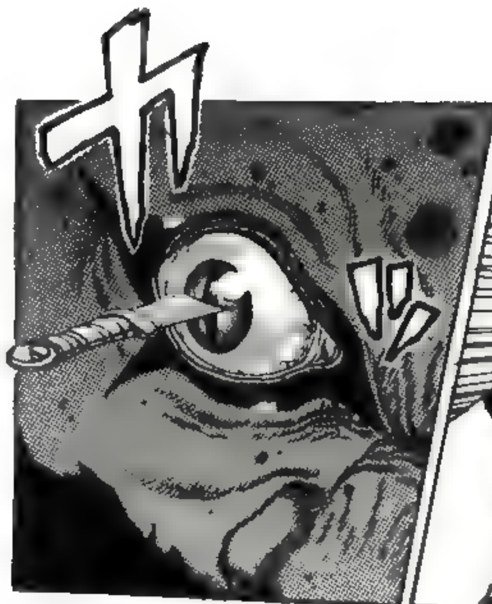
ムウ…チ……!!

結界が解けたからって安心するんじゃないわよォ〜〜ッ!! ぐるるるりりーッ!!

お前たちはボウイを避難させろ! 急げッ!!

こうなったらもうぎったぎたにしちゃうんだからねえェッ! ぐるるりりーッ!!

どォした
どォした
それだけかァ!!
そりゃあッ!!
かあッ


ドカ
ッ!!


ぐぎゃあああ!!!


ぐォ
ぐるるッ
でやあああッ


よくもォ!!
ぐあァッ!!

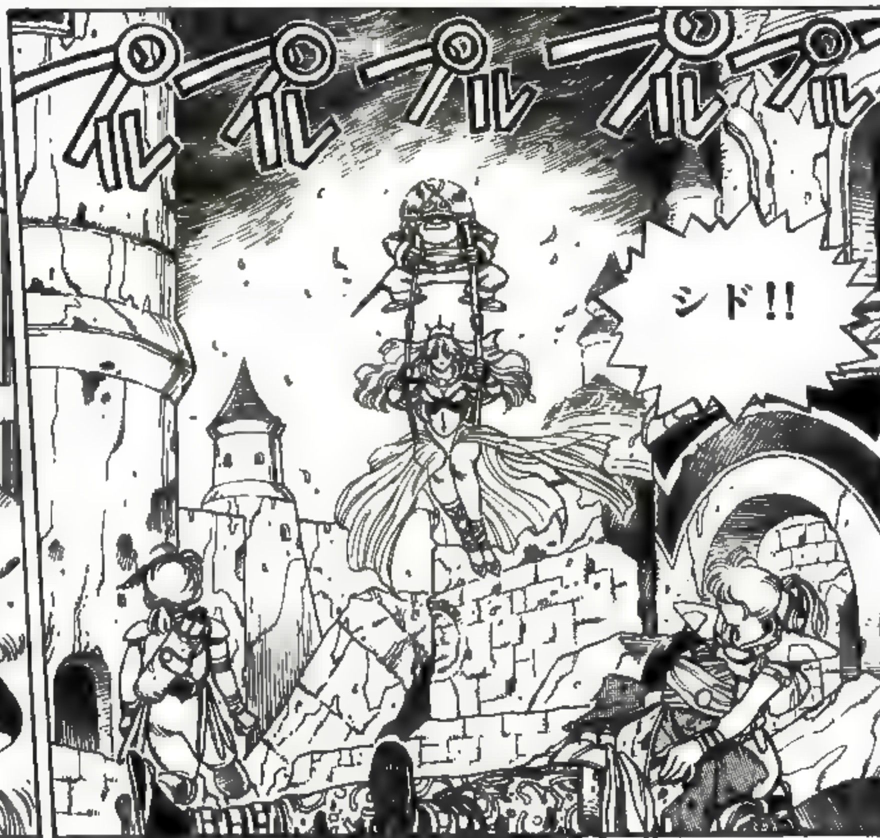

ズキッ
!!

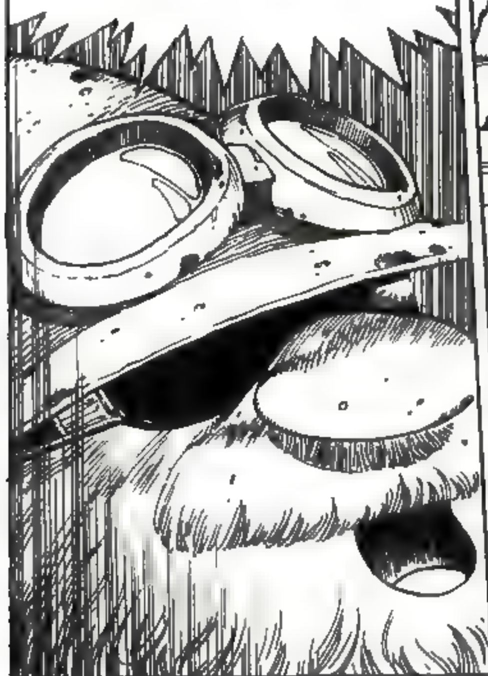

メルフィは白魔術が
使えるんだろォ!?
何とかしてくれよ!!

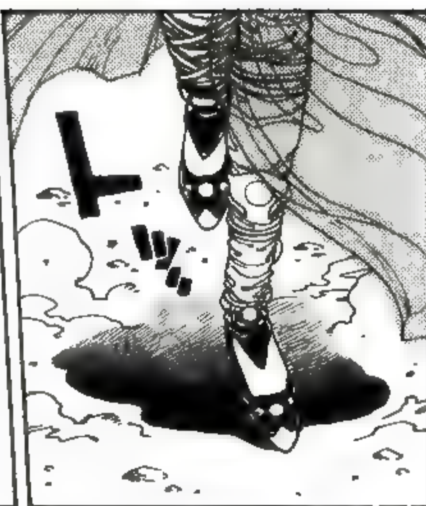

ボウイ!
しっかり
してくれよォ
ボウイ!!

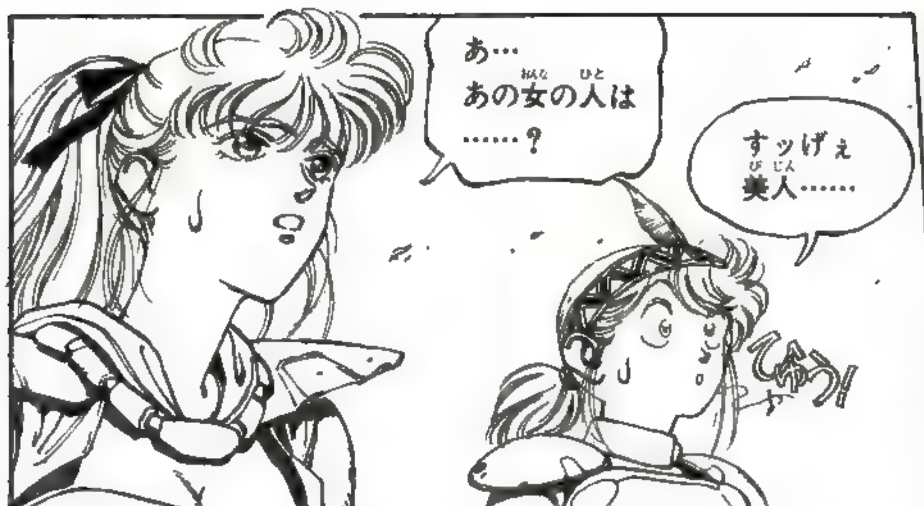

ちきしょお!!


そッ……そんなこと
言われたって……
どうすれば…


プルプルプルプル
シド!!


ひゃほほーい!!


トッ


あ…
あの女の人は
……？
すッげぇ
美人……
ひゅう!

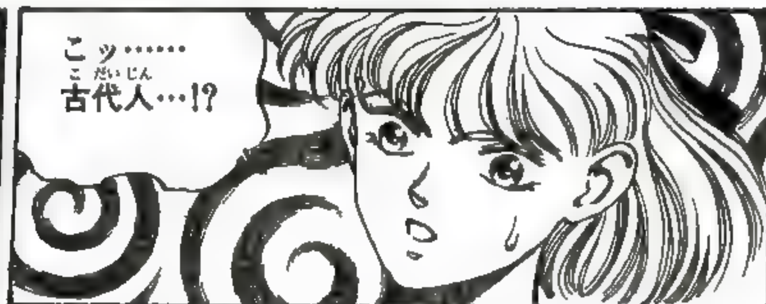

で…では
貴女が……
サラ…姫
……!?


うッひひひ
〜〜〜ッ!!
どォんな
もんじゃァい!!
わしが
助けたんじゃ
このわしが!!


祈るのです！
あなたの祈りこそが
肉体を
黒魔術で侵された
この方を救う
唯一の
方法なのです!!


い…祈ってって
言ったって…
あたし……


「古代人」の言い伝えに
こういう一節があります
……

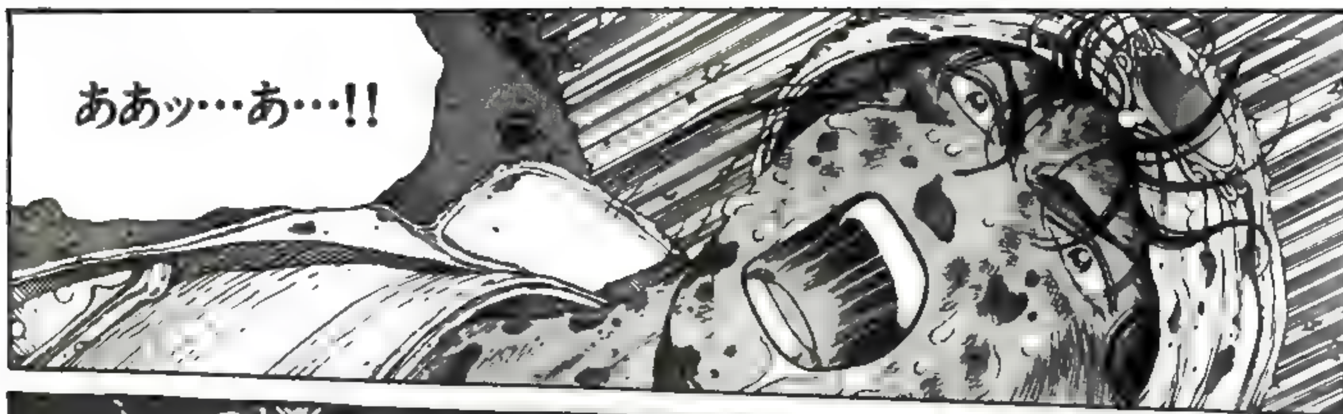

こッ……
古代人…!?


白魔術授かりし者
心限りなく開き…
夢のごとき安らぎを
願えと……

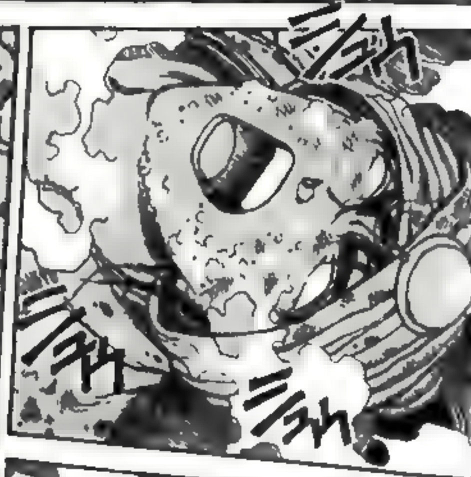

うわああ
あああッ!!


ほ――ッほッほ
ほッほ!!
今度こそ
お終いね!!
はッ…離せ
この野郎ォ!!


ボウイ!?


ああッ…あ…!!






ジュウ
ジュウ


ぐおああああああ

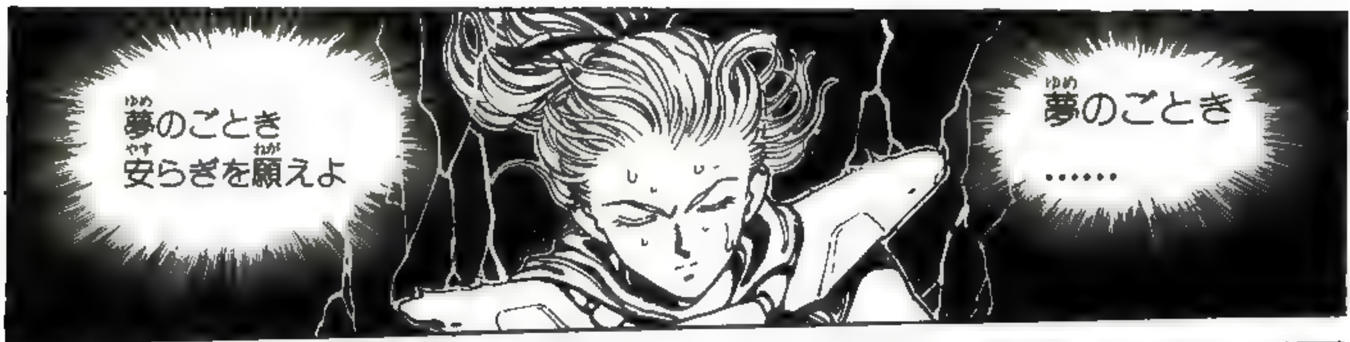

あッひょ〜〜〜ォ！
すげェぞメルフィ！
ボウイの皮膚が
少しずつ直ってくぜッ!!
バッ!


どわッはッはッはーッ！
見ろ見ろ見ろ！
サラ姫の言うたとおりじゃ
このシド様が
姫を助けたおかげじゃ
おかげじゃおかけじゃ
おかげじゃーーッ!!
なーははは
はははは
ははは!!
やったじゃねェか
くそじじい!!
このこのこのッ
ガッ
ガッ
バキッ
ゴッ


ヒュイイイイ
くッ
………


がんばって!!

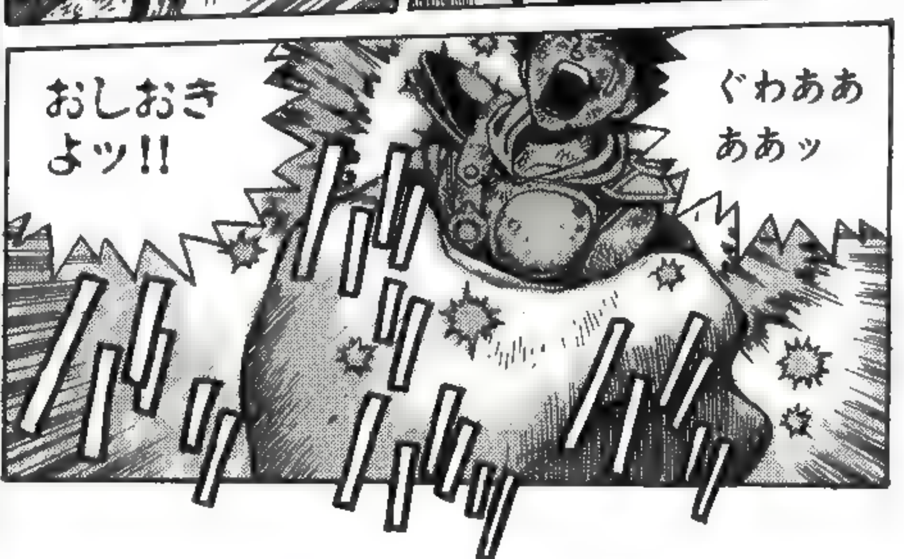

白魔術
授かりし者…
心限りなく
開き……

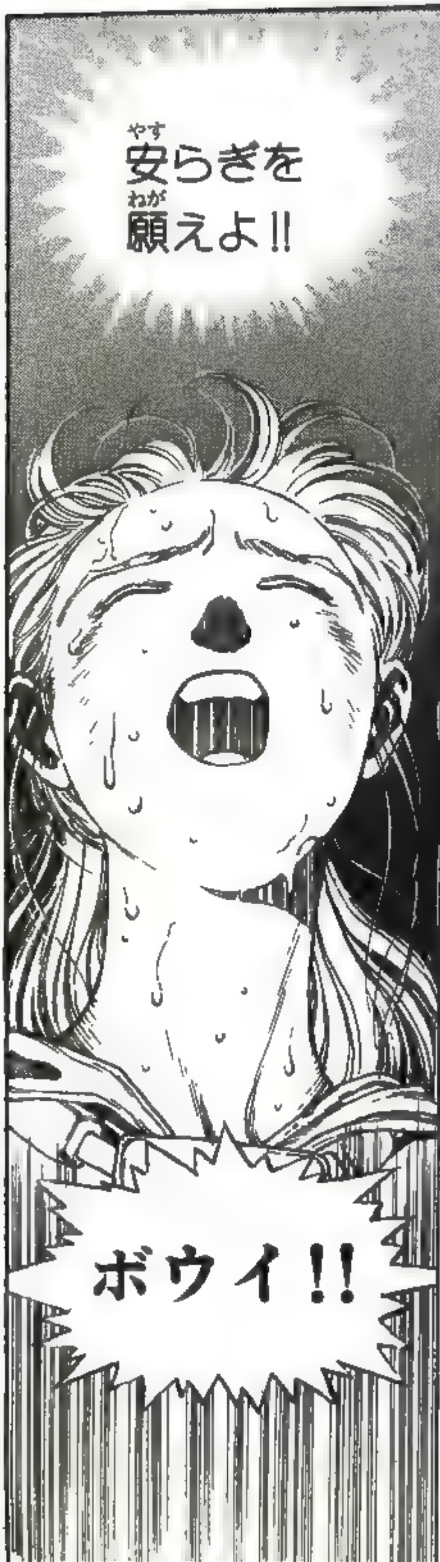

夢のごとき
……
夢のごとき
安らぎを願えよ


ぐふふ…
はッ…離せってんだ
ちきしょお
このオカマ野郎ォ!!


汚いわね
もう……


離せッ離しやがれ!!
このッペッペッペッペッペッ


ぐわああ
ああッ
おしおき
よッ!!


安らぎを
願えよ!!
ボウイ!!


くるふふふ
どオ？
少オ〜しは
態度を改める気に
なったかしらア？


お…
おあ…
ニュウ
ニュウ
ニュウ


なアーに？
謝る気になった？


よお
……
よ…


そしたら
……ヘヘッ
今までのこたァ
許してやっても
いーんだぜェ
……
ニヤッ


て…てめェ
なかなか
やるからさ…
オレの……
子分に
ならねーか？


ヘッ…へらず口は
おやめエッ!!!
うぎゃああ
あああぁッ!!











ふんッ!!

うわああッ!!


!
きゃあッ!?

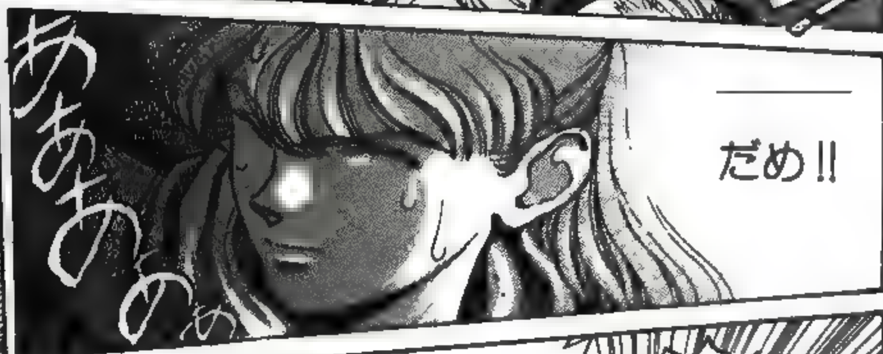

ぐあッ
ボウイ!!


ボ…
ボウイ……
しっかりしろ
ボウイ!!
ぐッ…
あああッ…


その通りじゃ！
こんな若くてかわいくて
そりゃもうピッチピチの
女の子に宿った白魔術が
あんな腹黒い野郎に
負けるわけないぞい
ヘッ！ あんなフグデブの
言うことなんか
気にすんじゃねーぞ
メルフィ!!


いたずらに
白魔術なんぞ
送りだして
ごらんなさい!?
拒絶反応で
よけい苦しむ
だけよ!!
ふおッほッほ！
そいつの体は
わたしの黒魔術に
支配される寸前
だったのよォ!!

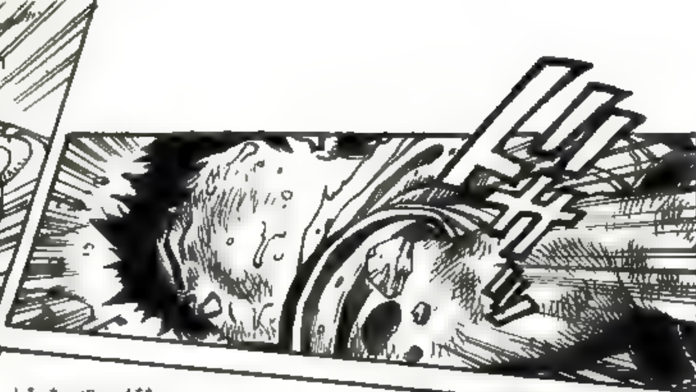

──許して
ボウイ!!
うが


──
だめ!!
あああめめ


黒魔術に
勝つなんてこと…
私なんかに
できるわけない
私には
できない！
はあッ
はあッ







白魔術の娘さん！
ぐずぐずしている間に
仲間がひとり
死にかけているわよォ
うう…ッ













かッ…貸すよ！貸すからちょっと…オイてててててて！
おっさんこのプロペラ貸してくれ!!早く！貸せったらオイ!!
ムッ…ムウチ!!

黒竜巻!!!

ほ〜〜ッほッほッほ!
いくらタフだと言っても
この黒竜巻から
抜け出せる奴なんか
いるはずはないわ!!

ぬッ!?

ぶ〜ん

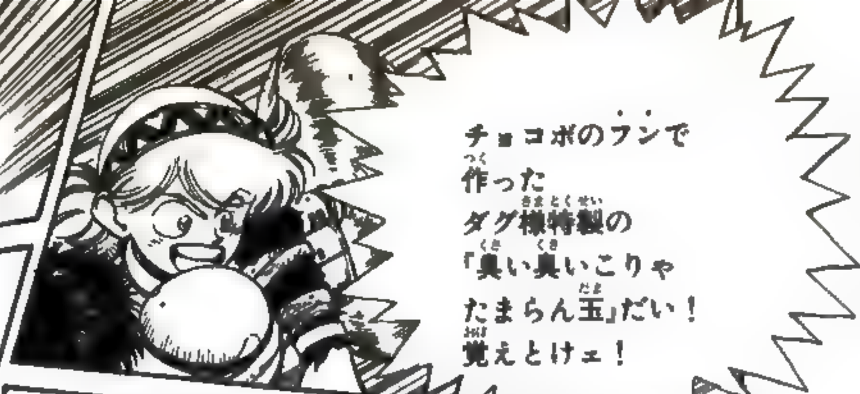
あ……
あれは…!?

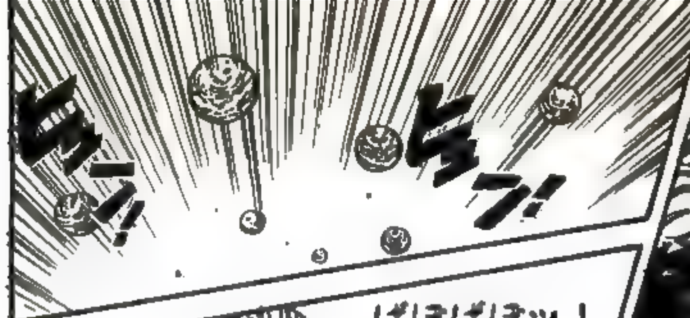
あ…あの
どチビめがア!!

このダグ様を
忘れてもらっちゃ
困るぜェ!!

ゴッ

くらえェ!!


チョコボのフンで
作った
ダグ様特製の
「臭い臭いこりゃ
たまらん玉」だい！
覚えとけェ！

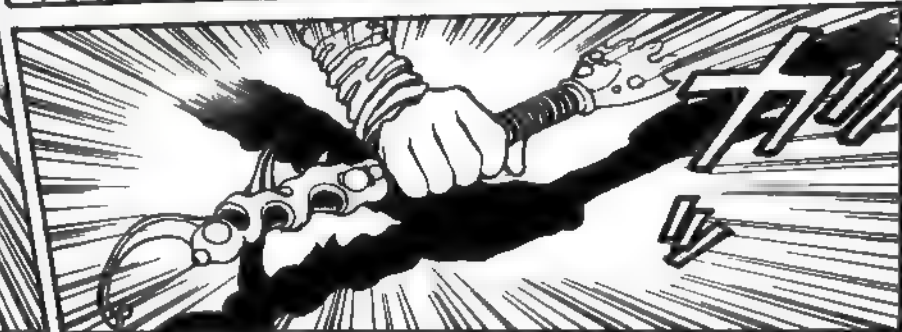

ヒュー!!
ヒュッ!


なめんじゃ
ないわよォッ!!


げほげほッ！
何なの
これはァ!?
くッ…
臭いッ!!


ダグ！ムウチ!!
でえッ


けッ！ ててて…
情けねえリーダー持つと
苦労すんぜ…ッたく…
よッ……
よけいなこと
すっからだぜ
バーカ…




ぎゃあああ
ああああッ

サッ…
サラ姫
何を!?

私とて
一国の王女

たったひとり
何もしないで…
おめおめと生き延びる
わけには
参りませぬ!!

でッ…ですが姫!!

ひとつだけ……
言っておきたいことが
あります……

ザッ

あなたは
もう……

白魔術を
授かった運命
から
逃れることは
できないの
ですよ!

!

これはおもしろい
今度は姫が
お相手って
わけ!?

ふぉ〜〜ほッ
ほッほッほッ!!


!
やれやれ…
おてんばな
お姫様も
いたもんだ…


けへへッ…
お姫様に逆に
助けられたなんて
ウルのみんなにゃ
言えねーもんなァ
……
チビは
すっこんでろ
チビは!


みんなが
……
みんなが
……

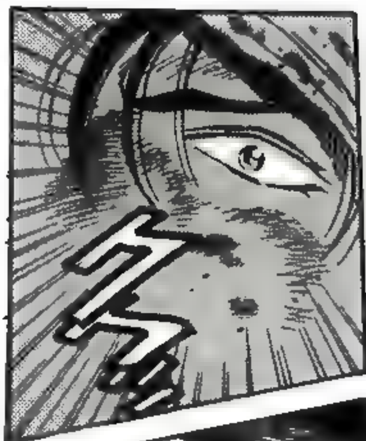

必死になって
戦っている!
なのに
私だけ
――


私だけ
逃げるわけにはいかない!!


今は
この苦痛を
こらえて
ボウイ!!
けっしてあなただけ
死なせはしない
から!!
うがああ
あああああッ









きゃあああぁッ

なッ…
何をするの
ボウイ!?


なッ……!?


ボウイ!?


くッ…
狂ったかあッ!?


な…
何を…

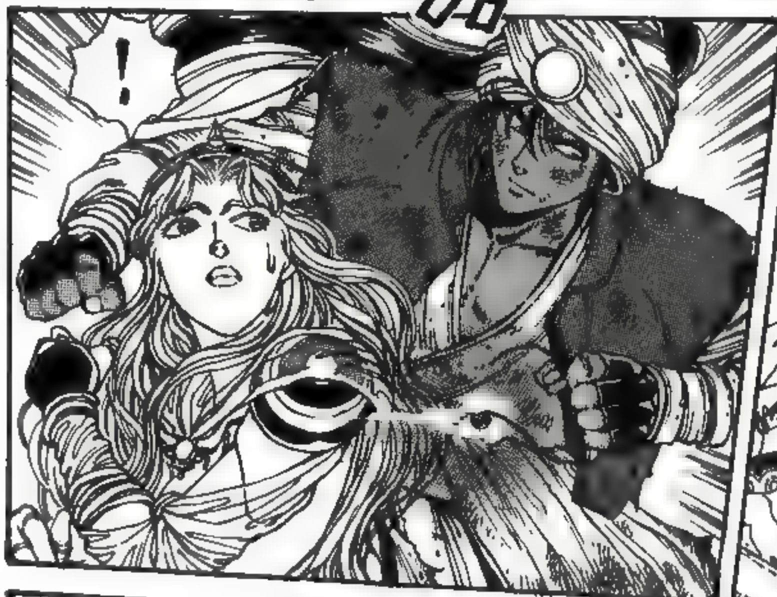

ホーーッ
ホッホッホッ
ホッホッ!!
ご覧なさい！
なまじ覚えたての
白魔術なんぞ
使うから
こういう事に
なるのよーーッ


こいつは私の黒魔術に
負けたのよ！
私の配下に
なったんだわ!!

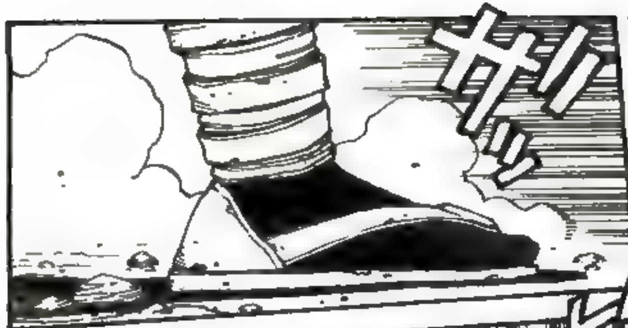

さあ！ ひと思いに
殺ッておしまい!!
さあ!!


誰が配下だ
この大バカ者めが
……
なーんちゃって

へ？


きッ…貴様
それは…!!
しッ…知って
いたのかッ!!

！

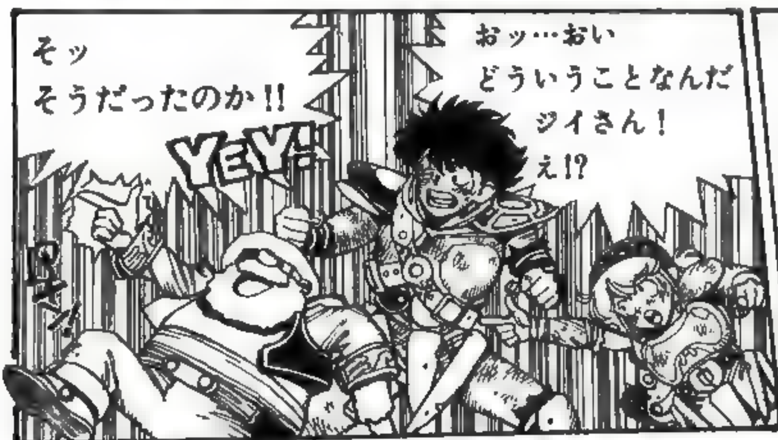
俺は
この首飾りが
欲しかったのさ！


ザッ


お前がサラ姫に
手を出せなかったのは
この首飾りを
恐れてのこと
だったのだ
やはりな！
バッ


よッ…寄るなア
それを
近づけるんじゃ
ないーーーッ!!


姫のネックレスは
あの婆さんのと同じ
「ミスリル」で
できておるに
違いないて！
ほれ！
わしをバケモンから
もとの美しいこの姿に
戻してくれた
婆さんを覚えとる
じゃろ！


おッ…おい
どういうことなんだ
ジイさん！
え!?
そッ
そうだったのか!!
YEY!


ジンの弱点!?


ひょっとして
ミスリルは
……
…って
ことは…

ぐるるるるる
りりり〜〜ッ

行くぞォ
ジン!!

ズザザザッ

ドバッ

くッ…
来るなア!!

ボウイ!!

にッ…
逃げろォ!!

キュオオオオオォ

つああ
あああ
ああッ!!



フィオッ







…この時すでにJ・ボウイの肉体の奥にはある種子が芽生えていた…

ぬおおおおおおッ!!

それは体がジンの黒魔術に支配されたために起こったことではあったが……当の本人がその事実を知っているはずもなかった…

なッ

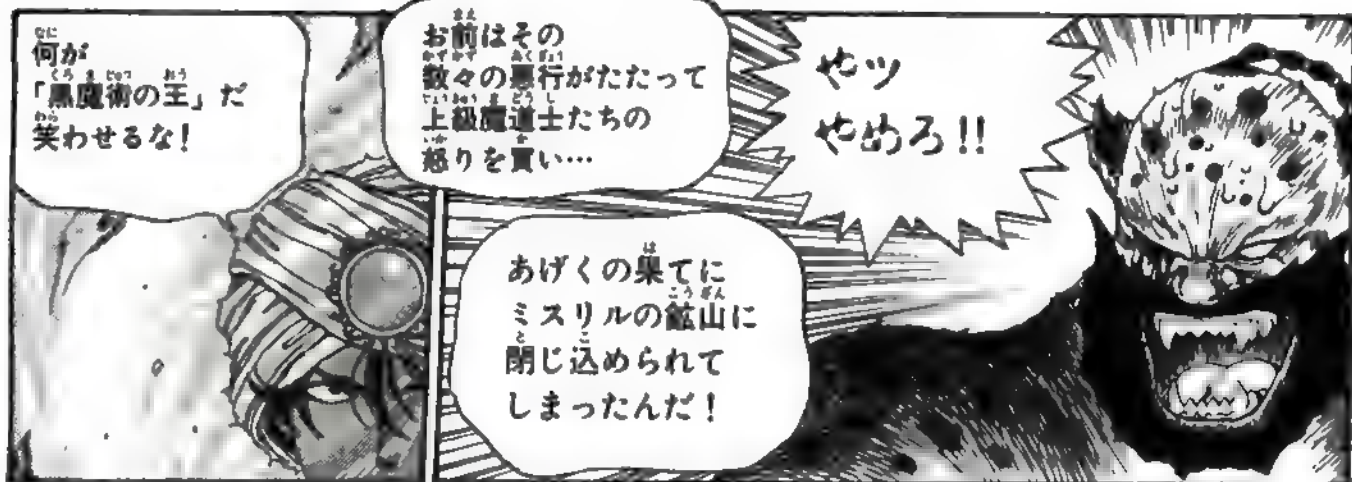
なによォ!?

ふふふ……

なるほど そういうこと だったのか

ジンよ… 貴様のその小汚い黒魔術にやられたおかげで…

誰も知らなかったお前の過去を知ることができたぜ!!



さっきまでの礼だ!!

黙れぇェ——ッ!!

下級魔道士の鼻つまみモンとしてな！



私は
鼻つまみモン
なんかじゃないわ!

私は
黒魔術の王よ!

私が一番
強いのよ!

私が

私が!!

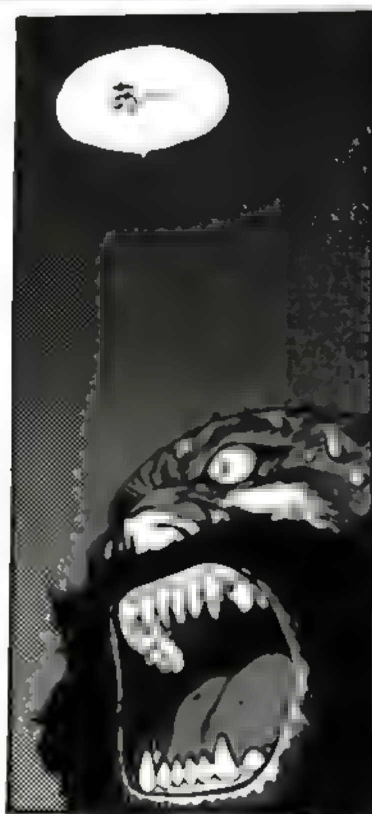
受け取れェ!!

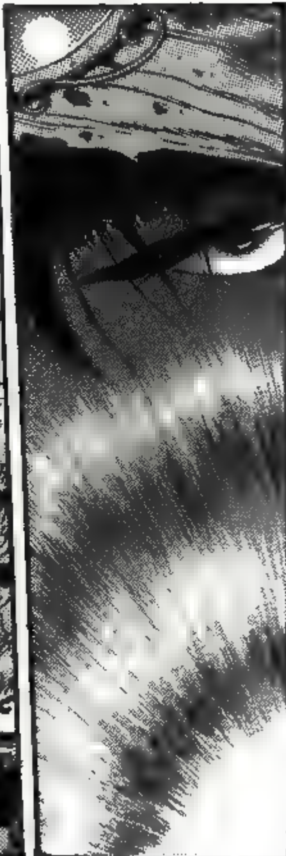
ドン!!

あがア!!









ぐるるるる
おのれ
ガキどもォ
オオオオッ!!

ぐおおッ！

必ず……
必ずやザンデ様のお怒りを受けるぞ…

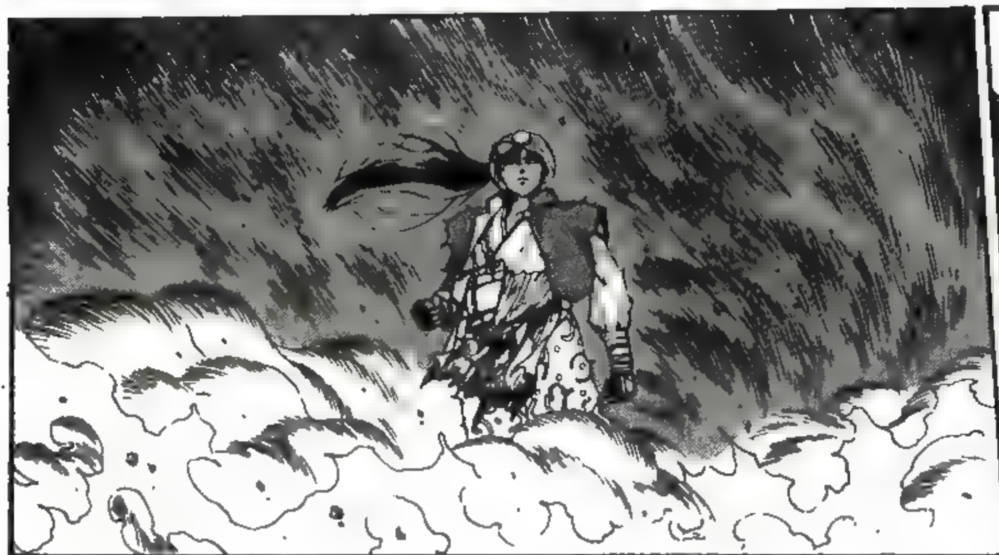
きッ…
貴様ら
このままで…
済むと
思うなよォ
……ッ!!

必(かなら)ずだ!!










魔人ジンが封印された事によって
妖魔に変えられていた城の人々は


次々と本来の姿を取り戻し
再会を喜びあった…


城は破壊されてはいたものの
サラ姫の無事を知って
人々の顔はみな明るく希望に満ちていた
そして…

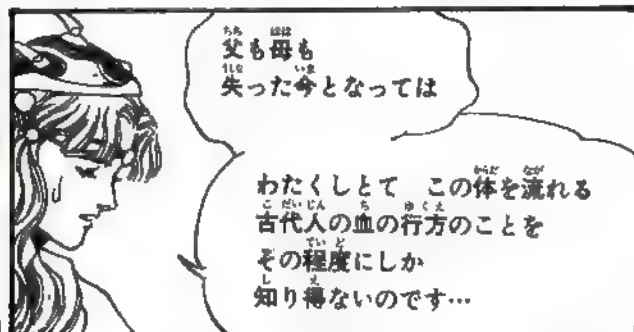

この戦いを通して
ムウチたち4人の結束は
いつの間にかより強いものと
なっていた…




マヒルヒの
方角……？


ええ…
そこに我ら古代人の
愛した森があると聞きます
…〈生きている森〉と
言われているとか…


生きている……森
だって……!?

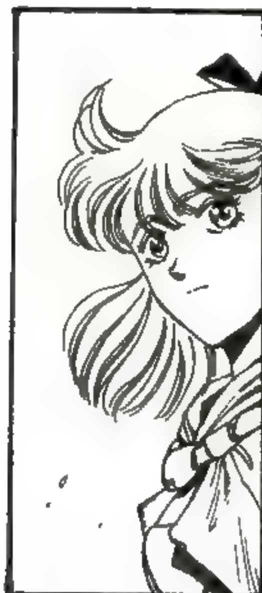

父も母も
失った今となっては
わたくしとて　この体を流れる
古代人の血の行方のことを
その程度にしか
知り得ないのです…


うッひょひょーい!!
さあ乗った乗ったァ
――い!!
ああッ!
シド!?


さあ
小僧ども!
約束どおり
このシド様が
どこへだって
連れてって
やるぞォい!!
わはははははは!!


あッひょーッ!
最高じゃん!?
やってくれる
じゃねェか
くそジジイ!!

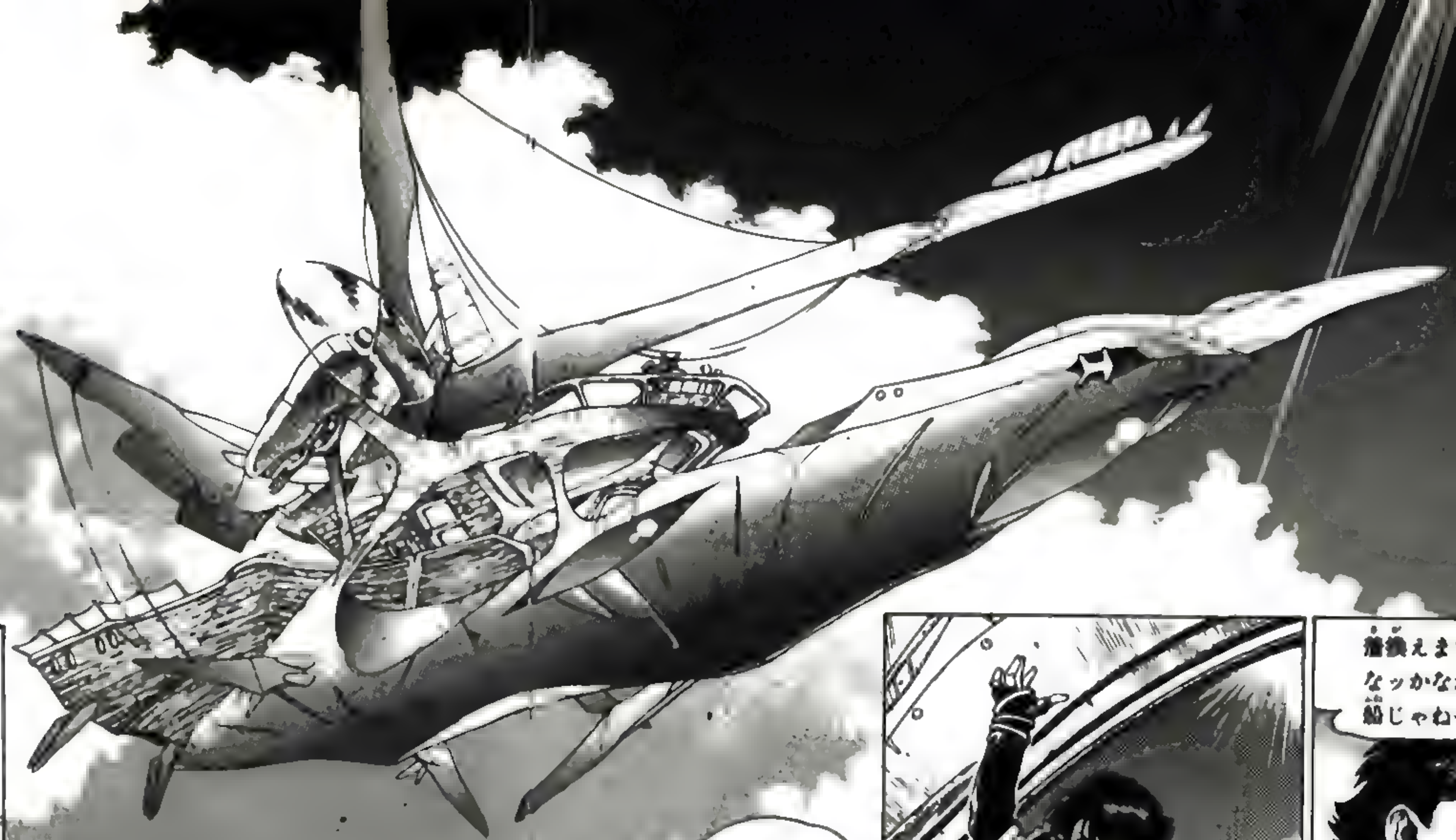


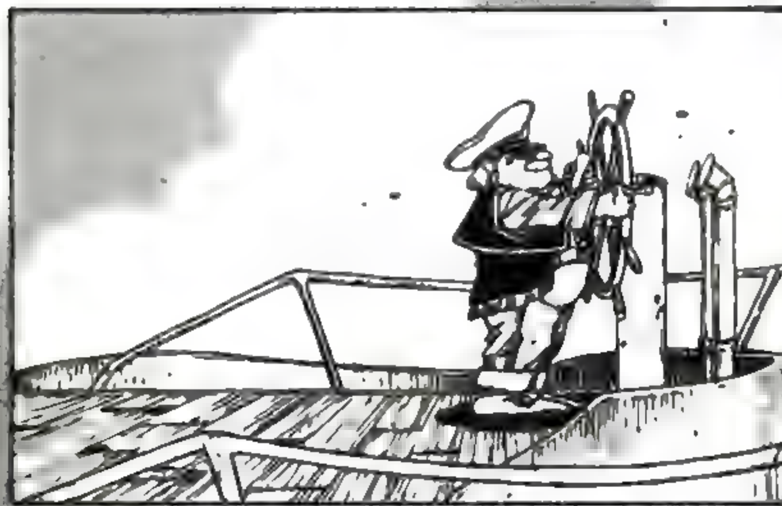
サラ姫
あなたは…？


サラ姫…
──ありがとう……

私には
この国の人々が
います……
私を必要とする人が
ひとりでもいるならば
私は王女として
ここを離れるわけには
まいりません

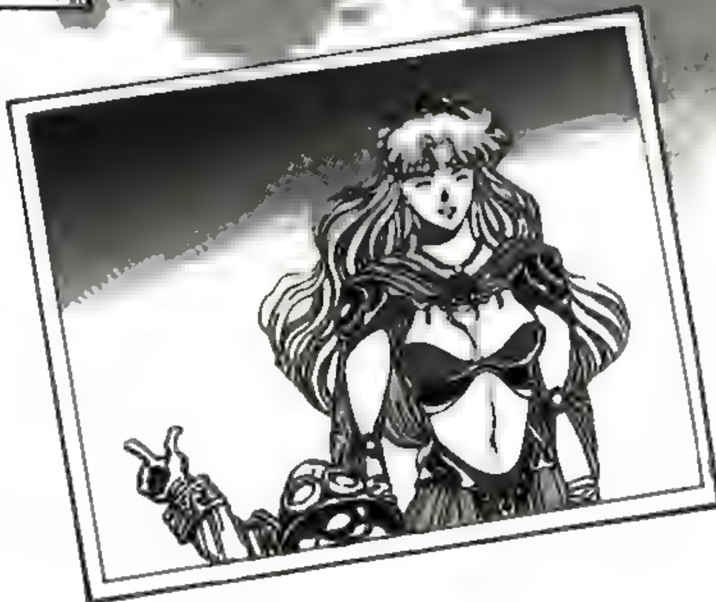

くッくッくッ
くッ……
奇獣エキドナ







イッヒヒヒヒ





ヘッヘヘーー！



着換えまであるなんて
なッかなか気のきいた
船じゃねーか！



シャワーも浴びて
すっきりしたしね！
なんせ 旅に出てから
一度も体を洗った事なんか
なかったかんねー！

……

まーた一段と
カッコよく
なっちまったって
ワケだ!!

そーゆー
ワケだ!!

あははははは!

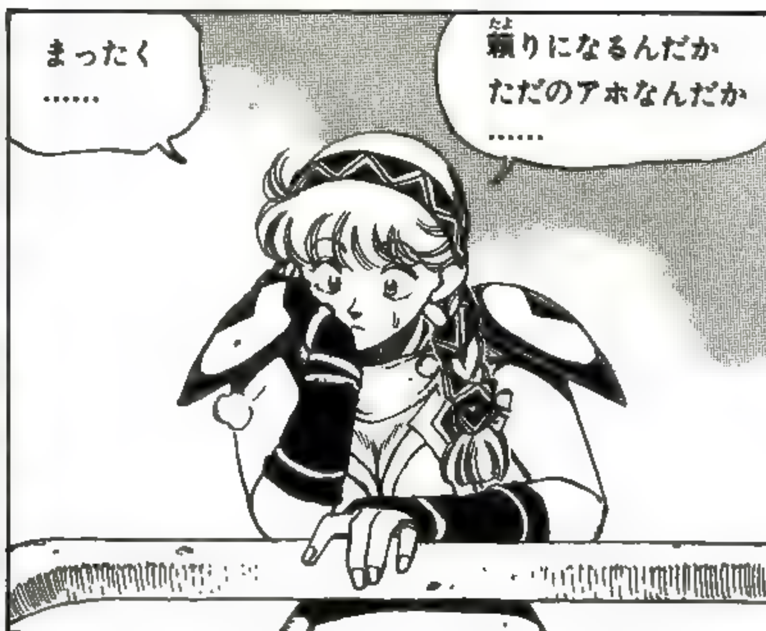
ふん…

BOM!

なんせ俺には
黒魔術がある

今後の活躍が
楽しみというものだ
……

ふふふふふふふふ…



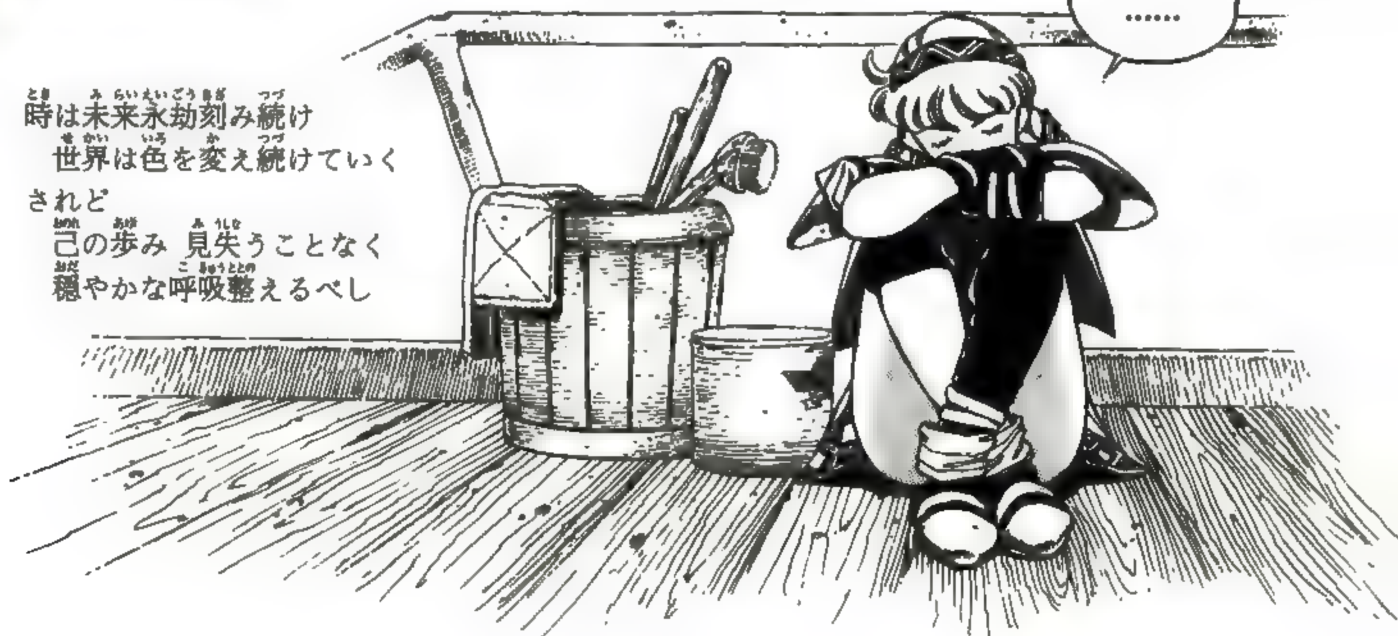


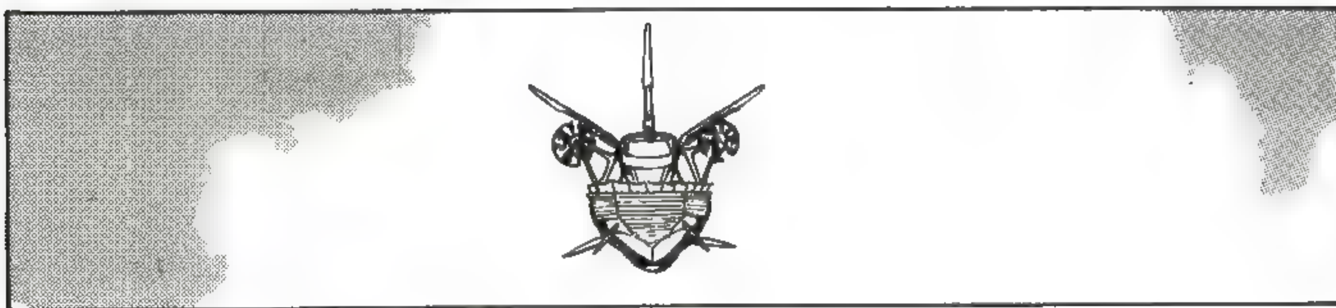


彷徨えし者たちよ…
天が 怒り狂い 遥か道を閉ざした時
〈風〉に耳を澄まし
〈大地〉の懐で息むがいい

人を求めし者たちよ…
求めることに 疲れ果て
いたずらな眠りに その身託すならば
まず〈水〉に浸り
〈火〉で暖を取るがいい

時は未来永劫刻み続け
世界は色を変え続けていく
されど
己の歩み 見失うことなく
穏やかな呼吸整えるべし




彷徨えし…彷徨えし者たちよ
その彷徨えし〈我〉を
限りなく
慈しむことだ――――
こんなに
ゆっくりした気分
……
久しぶり
……





ザンデ…
ザンデか…
あのジンが言い残したんだもの…かなりの使い手よね！
ヘッ！どうだか!?
だってジンの野郎は結局セコイ下級魔道士だったんだろ!?
だがそのセコイ野郎に殺されそうになったのも確かだ
あ
それにしても遅いなシドじいさん…
新しい磁石を手に入れるなんつってたけど……
なんだいなんだい自分は黒魔術を使えるからって…
よしよし

いょほ——い！おそろいかね諸君！
プルプル プルプル
偉大なるシド船長のお帰りでございます…ッと！
シド！
何か…酔っぱらってない？













女だ

女のにおいがする…

くんくん

なぃ なははは…

い…色っぽい踊り子がおってのォ〜〜〜

ワシから離れようとせんのじゃよ

まいったなこりゃ

その店にオレも連れてけ

ずいっ

う

つれてけ！つれてけ！

俺たちも行くぜ！

もちろん！

船長のおごりでね！

たはは

ケニーズ











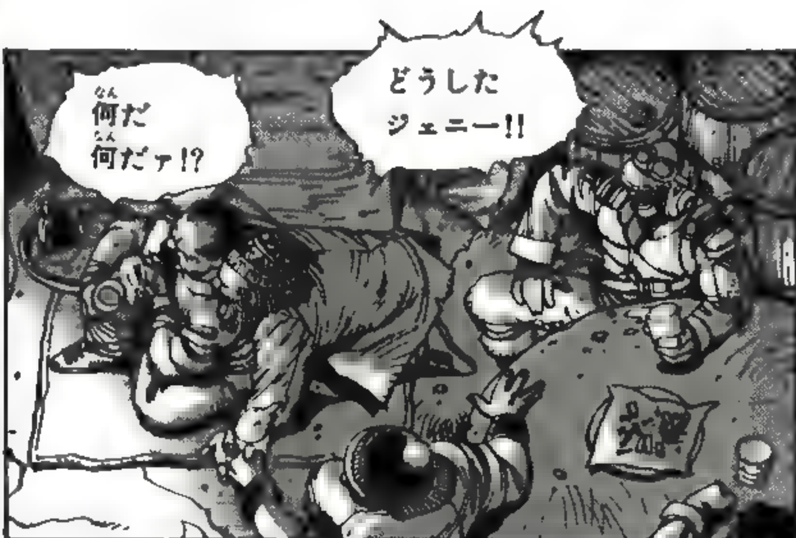
あなたを もう一度見ることは
　とっくに締めたはずなのに…
古びたランプシェード
　買い替えられないのは困りもの

Love…Love You…

いつか
　あたしに男ができても
あたしは
　そのラクガキを
消せそうにない…




消せそうに…ない…


どうした
ジェニー!!
何だ
何だァ!?


泣いて
……
!
てめっ
オレの肉食ったな
食ったろ オイ
出せっ
はき出せっ


さあ！
全員に１パイずつ
おごるぜ!!


オイオイ！
だからこの曲は
かんべんしてくれって
言ったろう！
ピューー
ピューー


陽気に
やってく…
ぐあッ
ドゴッ
ガッ


ごめんよ
ケニー
もういいぜ
ジェニー
うらへ
行ってな

さっさと出て来ねェか!!
こらァ ジェニー!!










切れたな…
しーらないっと
てめーら!!


うわあ!!
ガッシャン!


なんだい
ぼーや?


くッ…
食いもの…
オレの…


まだ
食ってねーのが
いっぱいいっぱい
いっぱいいっぱい
ちきしょお!!
……
はちょッ


なんだじゃ
ねー!!
ドギャ
げ!!

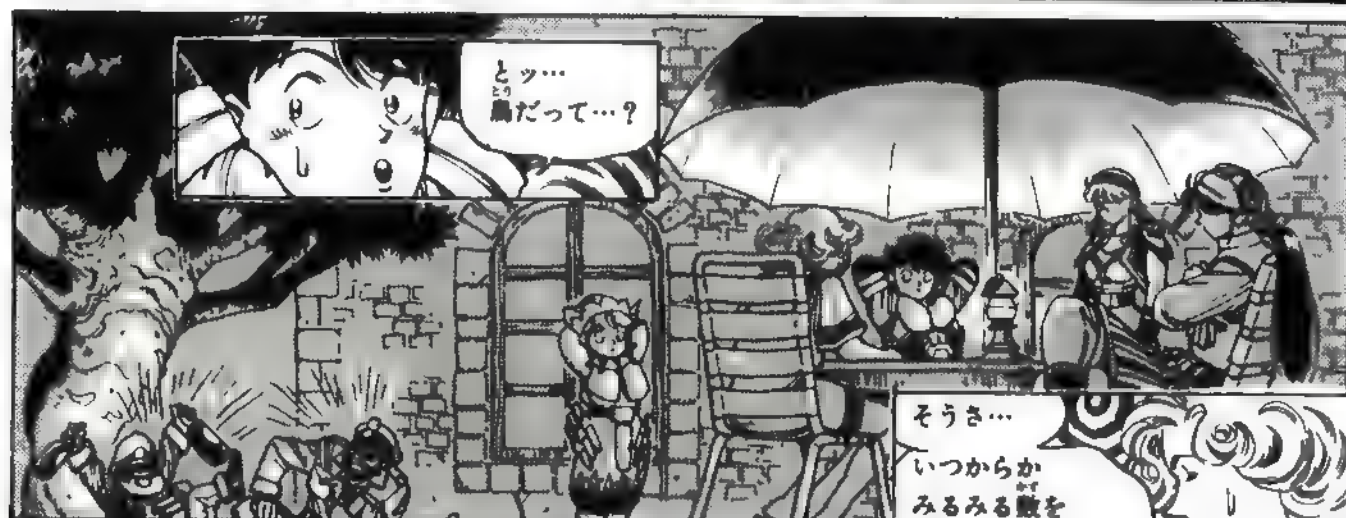

何すんの
よッ!!
踊り子
まだかな
……

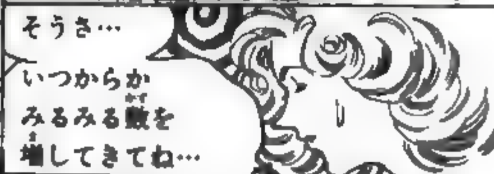

きゃあッ
た…
助け…


えれェ子どもたちだわ…
ひゃ〜〜〜


見ろい ケニー！
うちの若いモンは
相変わらずの
腕じゃろォ!!
い いたい




とッ…
鳥だって…？


そうさ…
いつからか
みるみる数を
増してきてね…


ジェニーさん…


忘れた頃になると
この町に
降りて来るんだ…
そして
……


あたしの…
カレも…
なぜ鳥たちが
ああなってしまった
のかは
わからない…
連れてかれた人を
追って捜索隊が
出たけれど
その人たちも結局
……


ジェニー…
あなたのカレが捜索隊の1人としてこの町を出て行ったというのが…


ああ…
エヂの暦でいけばちょうど今日で半年がたったことになるよ…


そっか…
何もそんな日にあんな歌をリクエストしなくたってねェ！


ありがとね ぼうや
ぼっ…


わぁッ
きゃあ


なッ…
何だぁ!?


うひゃあッ！
なんじゃいこの振動はァ!!


きッ…来たんだ
…〈生きてる森〉の
番人たちが……

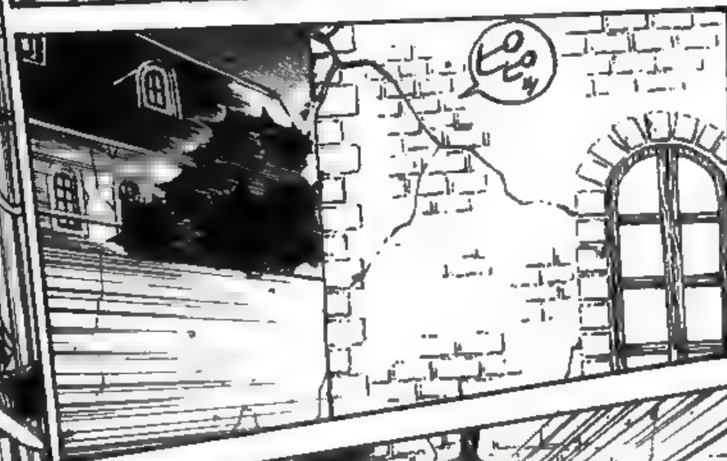

みっ
みんな！
あれ!!


ああッ!?




ゴッ


バサササササササッ!


体を低くして何かにつかまれッ!!
ふッ…伏せろッ
うわあッ
ピピッ
わああああああッ

いくぜェ!!

ちっくしょーーッ
反撃開始ィ!!






――昔は
このバスクの港町の
男たちっていったら
海賊も逃げ出すくらい
勇敢だったさ……
だけどあの大地震で
港の半分がやられると
誰もかれも
借りてきたネコみたく
なっちまった


なッ
なんじゃとォ!!
それじゃ
"いけにえ"じゃ
ないかッ
町の被害を最小限に
くいとめるためだ!
やむを得ん!!


毎晩
酒の力を借りて
ほえてみせるのが
精一杯……
そうでもしなきゃ
親兄弟…友だちや恋人を
連れて行かれちまった
連中の……
気持ちが休まらないのさ

逃げてばっかじゃ
どうしようも
ねェじゃんか
よォッ
ちっき
しょお!!
ギャッ


………


キッ


ボウイ!?




えッ


何ッ!?


ズッ


ギャッ


どわァ〜〜ッ
やめろ
やめろッ!!


バッカヤロ――！
そんなもん使って
ハデに暴れてみろ
町中の人間相手に……
はッ…離せッ
黒魔術を使って
一気に
蹴散らしてくれるッ!!
ちょっと！


もう……
遅いみたい……




マジかよ……
たッははは……
みなさん おそろいで どーも…


うわァ






ちっきしょお
もォ……

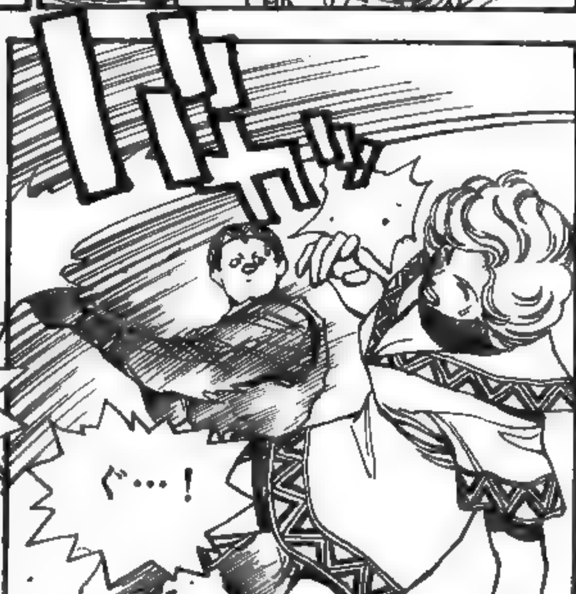

ガマン
できねェ


あ…あのガキ
抵抗するつもり
だぜ！
しかたねェ
動けなく
するんだ!!
ガチャ
ガチャ


ちょッ…
ちょっと
通して！
何だァ？
てッ


ザリッ


あの子たちは
旅の人だよ！
この町とは
何の関わりも
ないんだ!!
通して
おやりよ！
だまれ
ジェニー!!
この町が
どうなっても
いいのか！


ドガッ
ぐ…！


悪く思うなよ
ジェニー…
お前だって
連れてかれた恋人を
忘れたわけじゃ
あるまい……


だけど
……
！

はちゃあ!!

こうなっちゃ仕方ねェ！やっちまえボウイ!!

はあああ……ッ!!

かァッ!!


行ッけェ!!

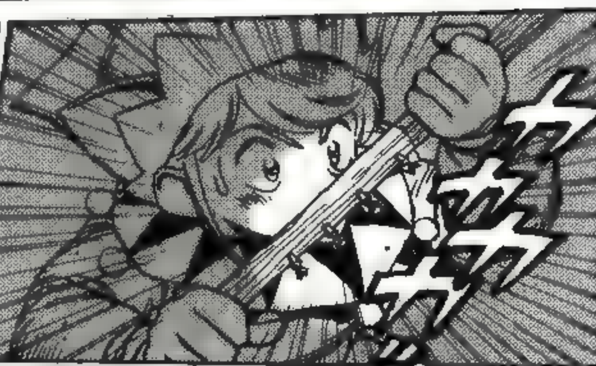

な…
何者だ
あの小僧ども
……!?




いったい
……!?
あの子たち
……


!?






ふッ…
吹き矢
だとォ!?


あぶない
ムウチ!!


鳥が吹き矢を
……
バカな!?


どこかにいる！
鳥を……
操ってるヤツが!!






でッ…
でけェ!!
——！
人が乗っているぞ！
ああッ!?


〈生きてる森〉の番人に
魂を盗られた男
デッシュ
……!!
デッシュ!?
何じゃい
そいつはァ!?


へっ!!
たかが吹き矢じゃ
ねーか!!
油断するな
ムウチ!!




ふッ

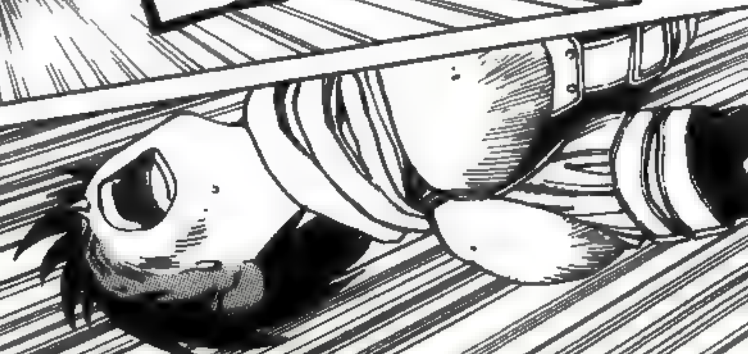

来やがれ
トリ野郎!!




吹き矢の
1本や2本
平気だぜ
カッ
カッ

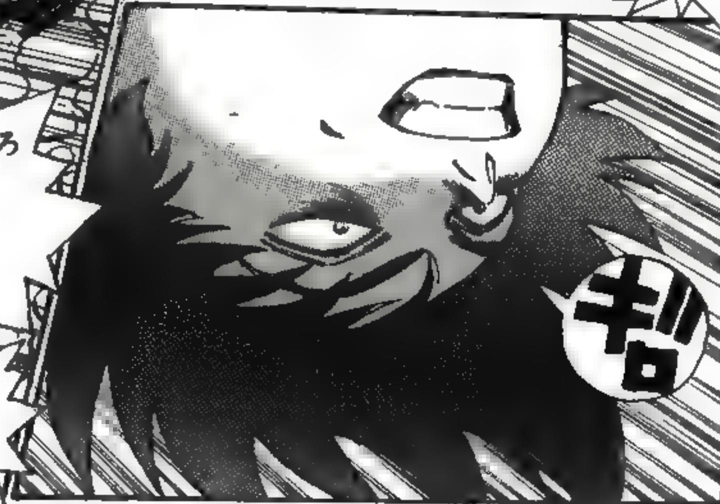



うわあッ


たッ……ただの吹き矢じゃ
……ねェ…!!


ガッ
ッ


ナナナ
ムウチ!!


ムウ
……
ひッ

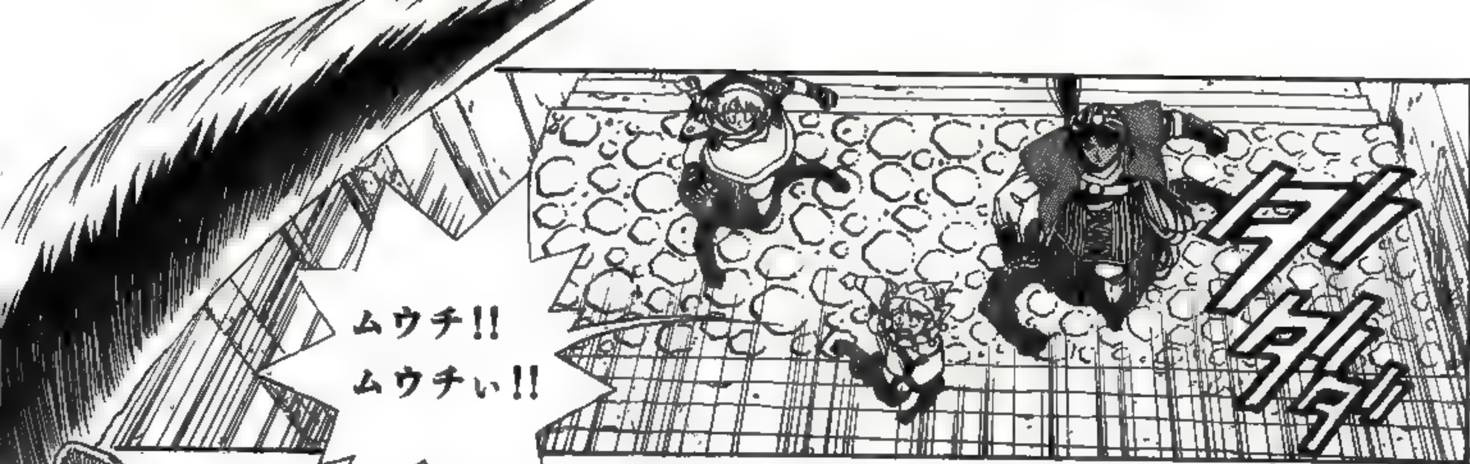

しっかりしろ
ムウチ!!
目を
覚ませ!!
◇
ムウチ!!

ギロ


あ……
あの目……
ムウチじゃ
……
ない…!?


あ…
あッ…
どうした!?
追いかけろ
ダグ!!



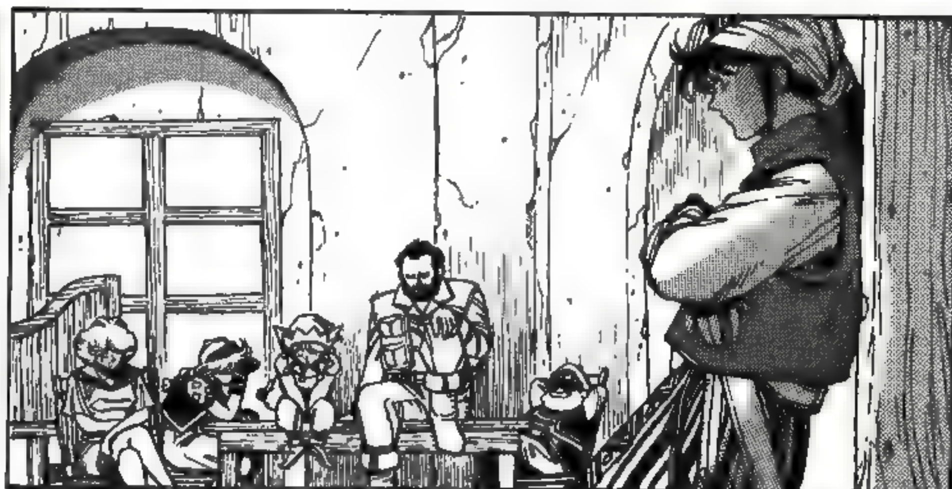

ムウチ!!
ムウチぃ!!


ザッ


ムウチが……
ムウチがッ
……
はぁ
はぁ
はぁ


「生きてる森の番人」
……!!
ちきしょオ……ッ
ギッ


ケニーズ




とにかく！


「生きてる森」……か
でもサラ姫の話では「生きてる森」はまだずっと先…


——捜索隊に加わって帰ってきた男が……そう言って死んだ…


あの時のムウチの目…ありゃ絶対まともじゃねェ!!


————ン！
行こうぜJ・ボウイ！


おッ…おい！話を聞いてたのか？鳥を追っかけてって帰って来れた奴ァ…
ケニー！
ガタッ


ムウチを捜しに!!









大切な仲間を
失っちまうこと！

それだけさ
……










伏せてェッ!!


うひッ


ズキューン
ズキューン
わあッ
ズキューーン!






街の連中に
囲まれちまってんぞォ!!
なッ…
何だってんだよォ!!


鳥を怒らせた俺たちを処刑しようってわけか……ちッ!
きゃッ

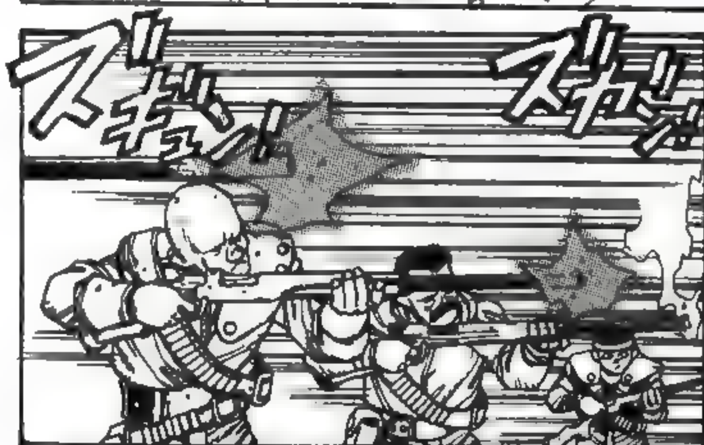

おッ…おいボウイ
まさか道中に
黒魔術…


はあァッ!!


うひゃッ
きゃッ

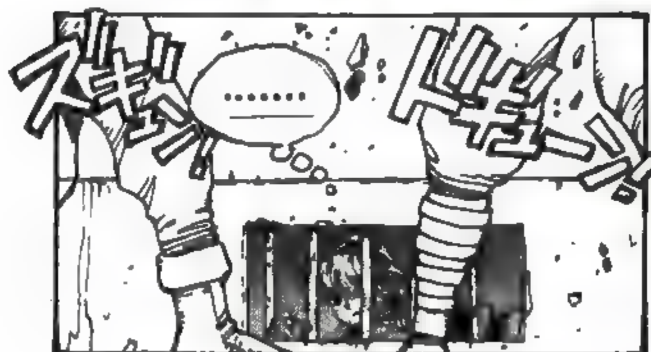

シュウ…
シュウ…
シュウ…


ズギュンッ
床と地面との間に
すきまがある！
ここから逃げよう！
ギューン！
サッ


ズギュン！
ズギュン！


ドン
ドギュン！




………
ドギューン！


くッ…
狂ってるわ…
みんな…!!


みんなあの大地震で
………みんな
変わっちまったんだ
仕方ないの
さ…


妖魔どもが
甦ったように…
人間たちのなかに
眠っていた〈悪魔〉
ってやつが
一斉に甦って
しまったのさ！
ザ"


！


裏切り者はひとり残さず
撃ち殺せぇ!!

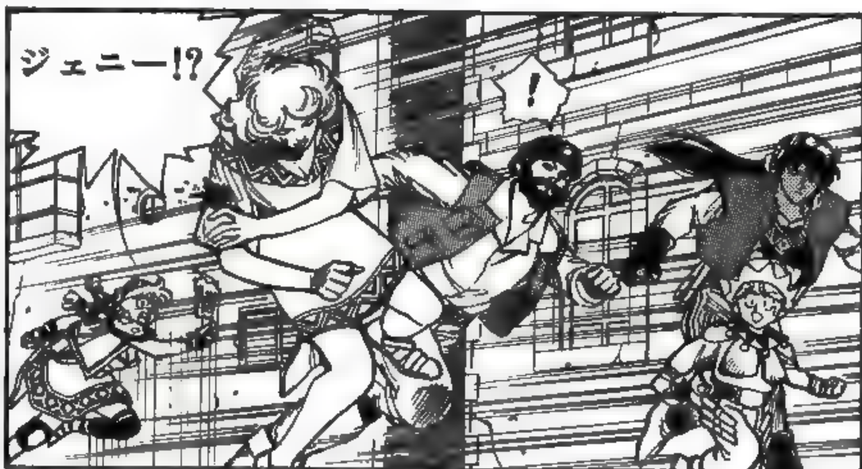

急げっ！
走るぞぉ
げほっ
げほほッ
ああっ




やつらだ！
逃がすなァ!!
ダ"


ズギューン!
ズギューーン!


ぐッ!


ジェニー!?
!


大丈夫
かすり傷さ ケニー…
走れるよ!
ジェニー

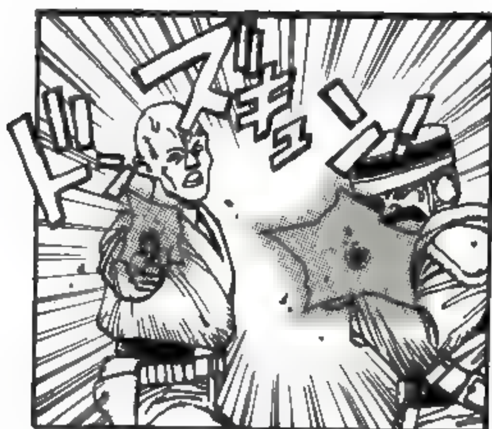

しっかりしろ
ジェニー!!


撃て撃て撃てェ!!
キャーッホォ!!


やい船長!!
プロペラだ!
オレをかかえて
飛んでくれッ!!
ちっきしょう
あいつら!!
よっしゃ

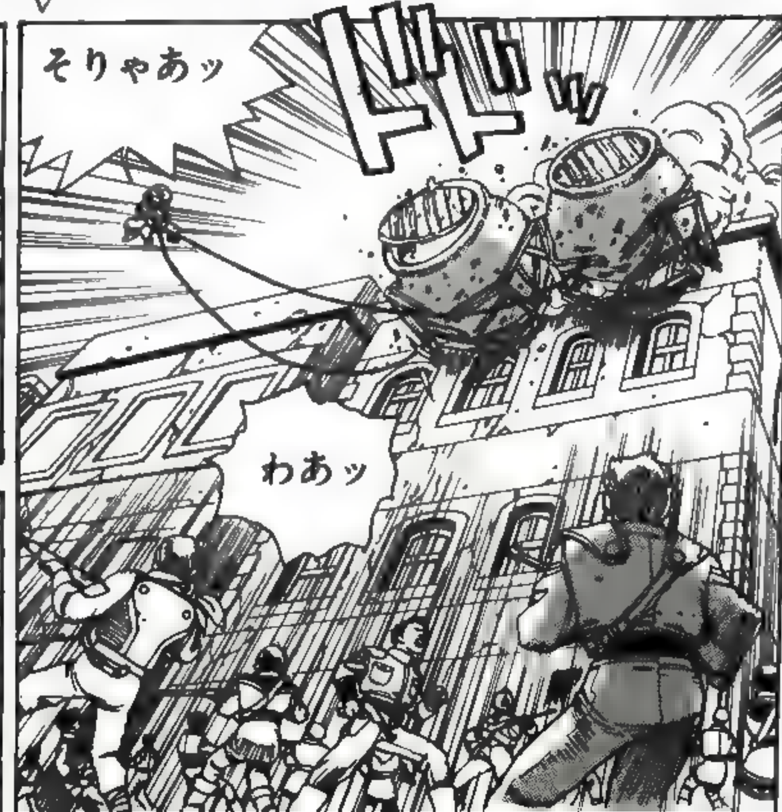

ぶぃーん!

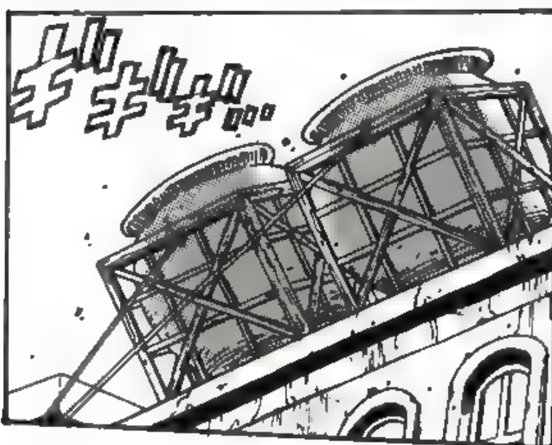

上に飛んでるやつが
いるぞォ!!


ドッ
ズギュン!




グイーン!!
ズギューン!
うッひょお
シド!!
全速力で
たのむぜッ!!
おうよ!!
ズギュン!


ドドドッ
そりゃあッ
わあッ


ギギギ


あッ…
あいつら
油ツボを!!

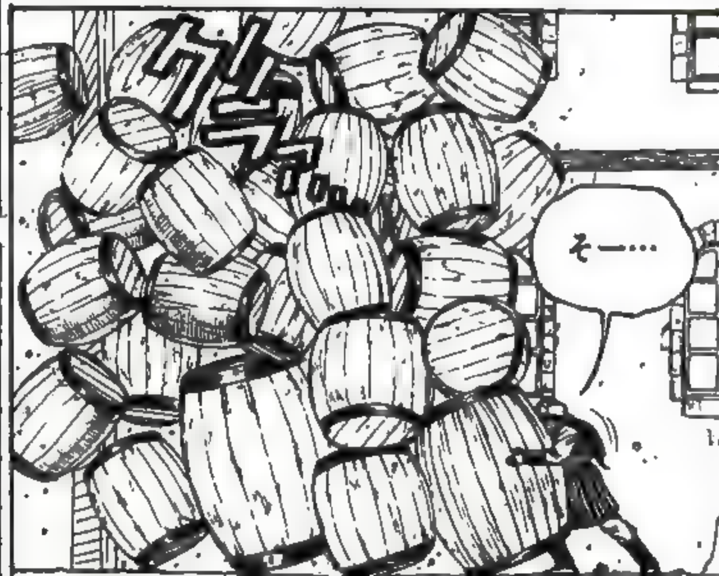

ドガガガガガガガガ
ドドッ


ドッカーン
うわあッ!!
ザザッ


ざまぁみろ！
危なくって
鉄砲は
もう
使えないぜ!!


ガッ
ッ


いいわよ
ボウイ!!


そー…


サッ

りゃあッ!!
ドガッカッカッカッ
わあッ
SKRACK!!
ひッ
KRUMP!
BONK!
こ…こりゃランじゃないかッ
くッくさいッ！
ジュニーたちは先に行かせた！
俺たちも急ぐぞ!!


マヒニの埠頭




ジェニー…ここで「デラ」を飼ってるって本当なのか？

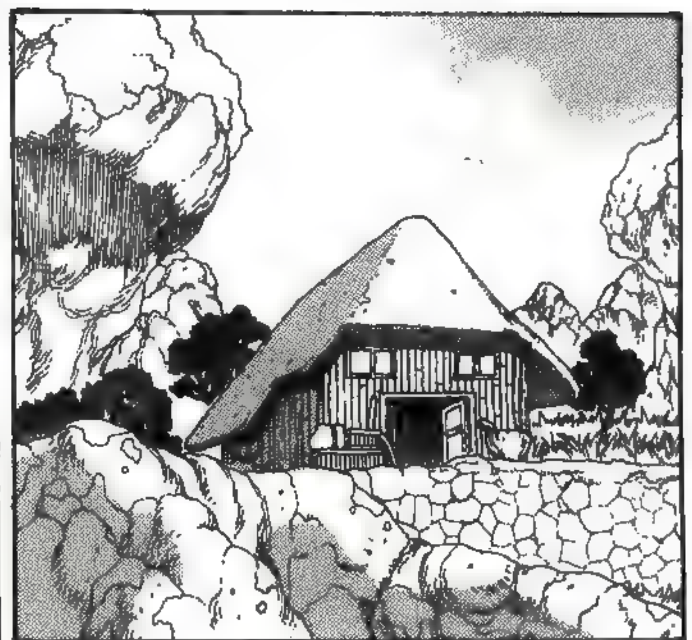

——その先にある小屋の中で２匹…
隠しててごめんよ…


デラって…？


この地方じゃどこのウチでも飼ってたペットさ…
鼻がきくんでな…鳥どもを刺激しちゃまずいってんで皆殺しにしちまったんだ


いつかデラを使って鳥どもを捜し出し…あの人を助けたくてあたし…
ううッ!!


傷が心配だわ！とにかくその小屋で落ち着きましょう!!



ギギッ







〔悠久の風伝説／第２巻に続く〕



原作 ———— 寺田憲史 KENJI TERADA
作画 ———— 衣谷 遊 YŪ KINUTANI
設定協力 ———— 藤田一己 KAZUMI FUJITA
スタッフ ———— 保谷野隆 TAKASI HOYANO
松浦まさふみ MASAFUMI MATSUURA
宇都宮伸幸 NOBUYUKI UTSUNOMIYA
大野旨郎 SHIRŌ ŌNO
松岡英樹 HIDEKI MATSUOKA
編集 ———— 甲田秀昭 HIDEAKI KOUDA
羽根正人 MASAHITO HANE



悠久の風伝説 1
ファイナルファンタジーIIIより

悠久の風伝説 ファイナルファンタジーIIIより

原作——寺田憲史
作画——衣谷遊

1991年10月21日 初版発行
1993年4月20日 8版発行

発行者——角川春樹
発行所——株式会社角川書店



〒102 東京都千代田区富士見2-13-3
電話03-3817-8521(営業) 03-5228-1731(編集)
振替口座 東京③-195208

装幀——朝倉哲也+design CREST
印刷・製本——大日本印刷株式会社

初出/(勝)ファミコン1990年第9号~1991年第1号

ISBN4-04-926028-X C0379
Printed in Japan